

## 第6章 子育てと各種制度・サービス

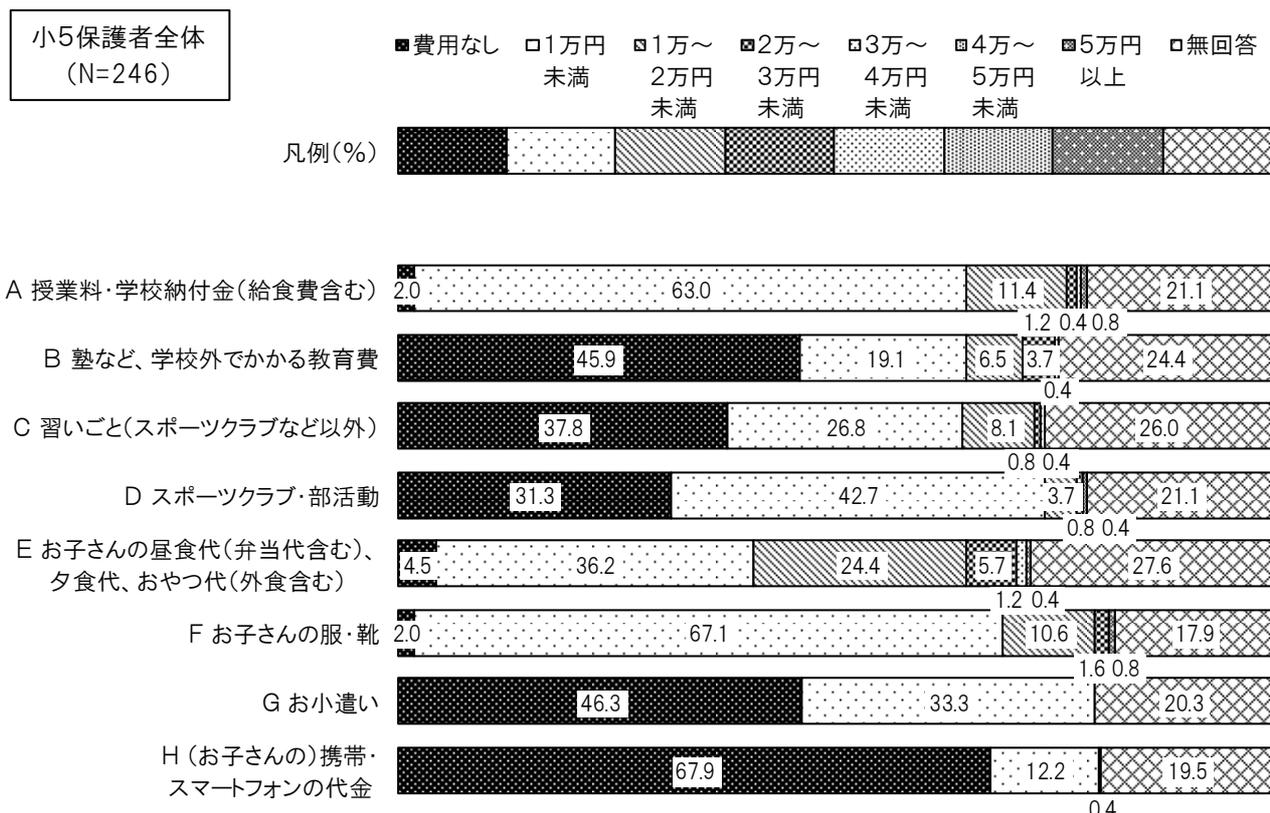
### 【1】子育てにかかる費用

保／問 19 この調査票を持ち帰ったお子さんの生活費や学費について、おうかがいします。次のA～Hの費用は、毎月いくらかかっていますか。平均的な金額を教えてください。（枠内に数字で回答してください）

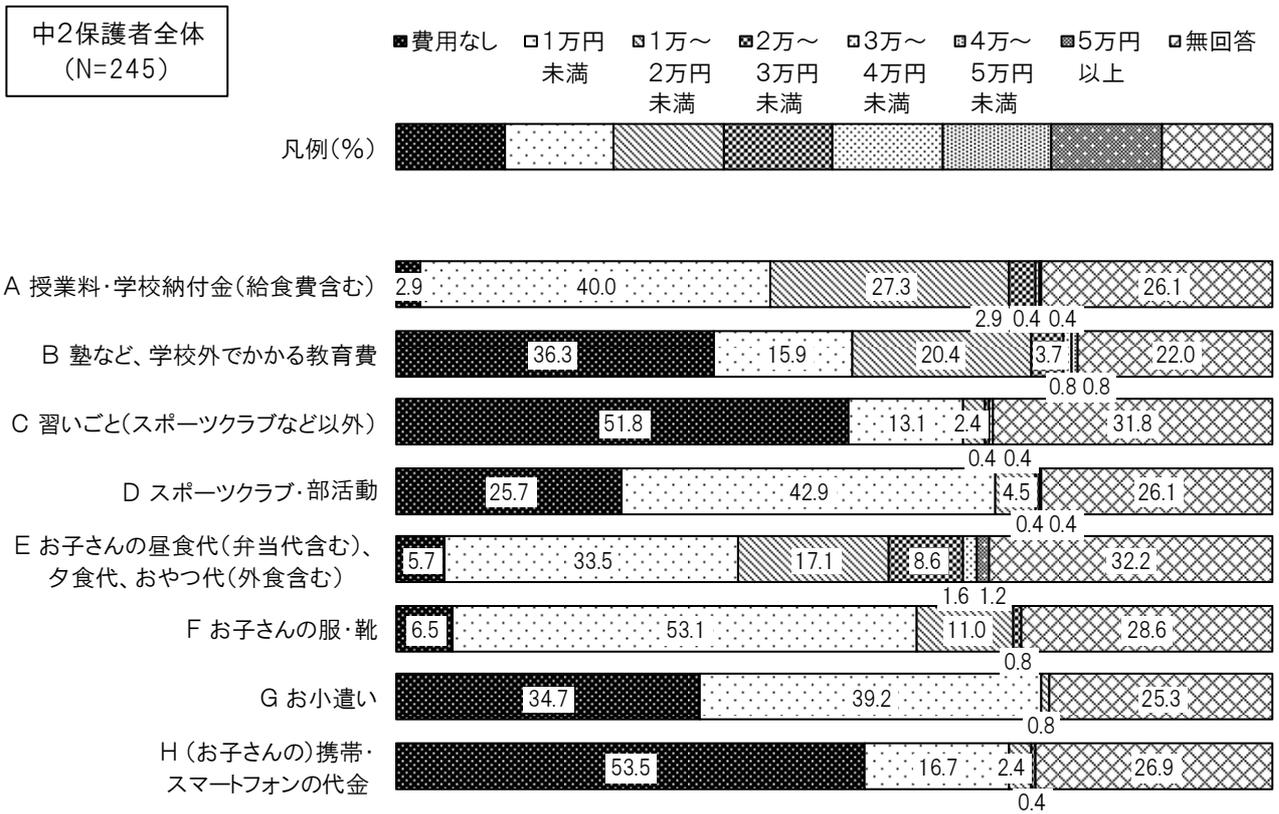
※費用がかからない場合は、0とご記入ください。

※お子さんの学校がある日の昼食が、給食の場合、給食費はAに含めてください。お子さんの学校がある日の昼食が弁当などの場合、弁当などの代金はEに含めてください。

子育てにかかる費用については、小学5年保護者全体では「1万円未満」「1万～2万円未満」を合計した割合が高い順に「F お子さんの服・靴」(77.7%)、「A 授業料・学校納付金(給食費含む)」(74.4%)、「E お子さんの昼食代(弁当代含む)、夕食代、おやつ代(外食含む)」(60.6%)となっている。一方、「費用なし」では、「H (お子さんの)携帯・スマートフォンの代金」(67.9%)、「G お小遣い」(46.3%)、「B 塾など、学校外でかかる教育費」(45.9%)などがあげられる。



中学2年保護者全体では、「1万円未満」「1万～2万円未満」を合計した割合が高い順に「A 授業料・学校納付金（給食費含む）」(67.3%)、「F お子さんの服・靴」(64.1%)、「E お子さんの昼食代（弁当代含む）、夕食代、おやつ代（外食含む）」(50.6%)となっている。一方、「費用なし」では「H（お子さんの）携帯・スマートフォンの代金」(53.5%)、「C 習いごと（スポーツクラブなど以外）」(51.8%)などがあげられる。

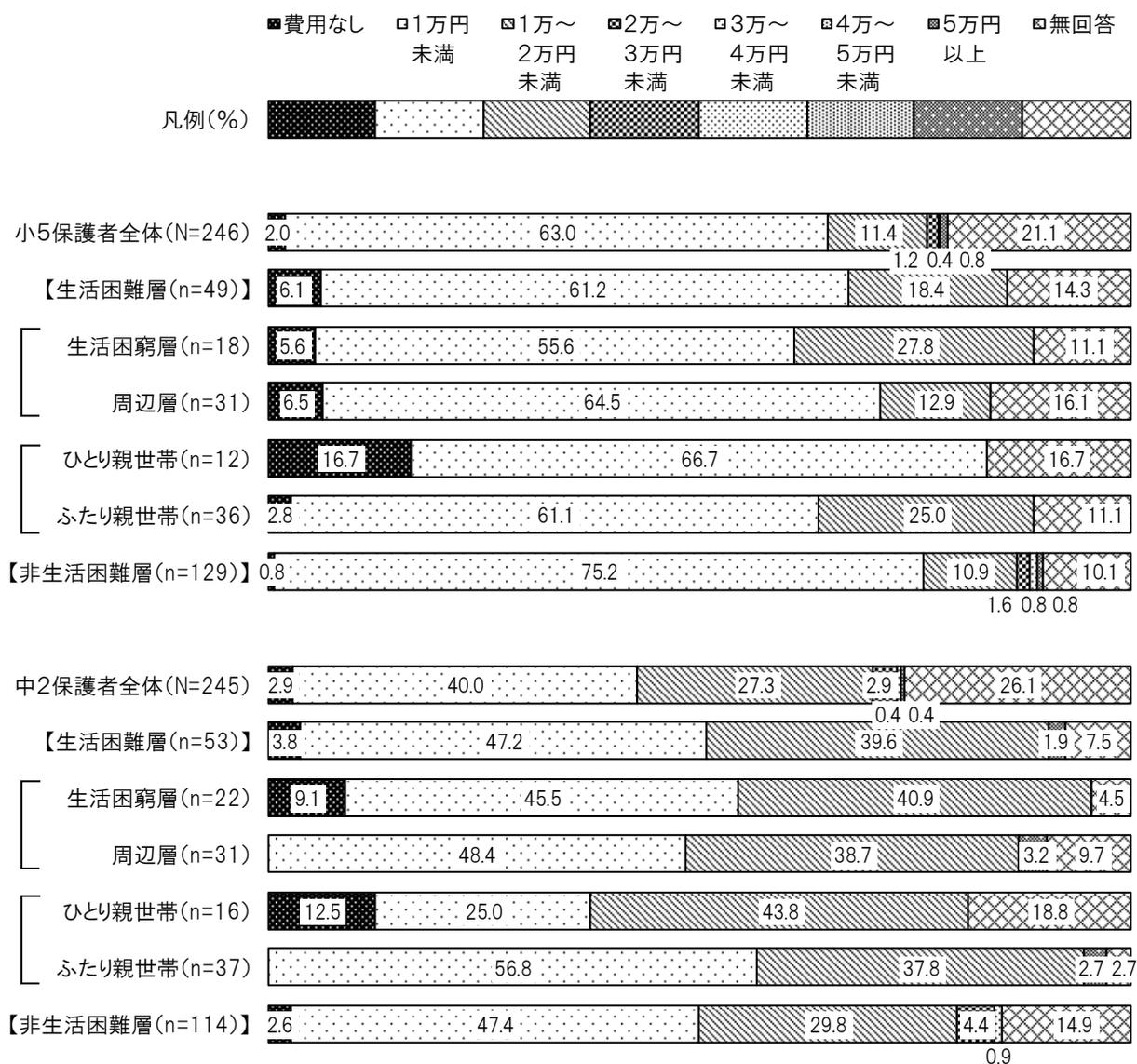


## A 授業料・学校納付金（給食費含む）

授業料・学校納付金について、小学5年保護者全体では「1万円未満」が63.0%、「1万～2万円未満」が11.4%となっている。中学2年保護者全体では「1万円未満」が40.0%、「1万～2万円未満」が27.3%となっている。

生活困難度別にみた「費用なし」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で5.6%、中学2年保護者で9.1%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「費用なし」の割合が高くなっている。

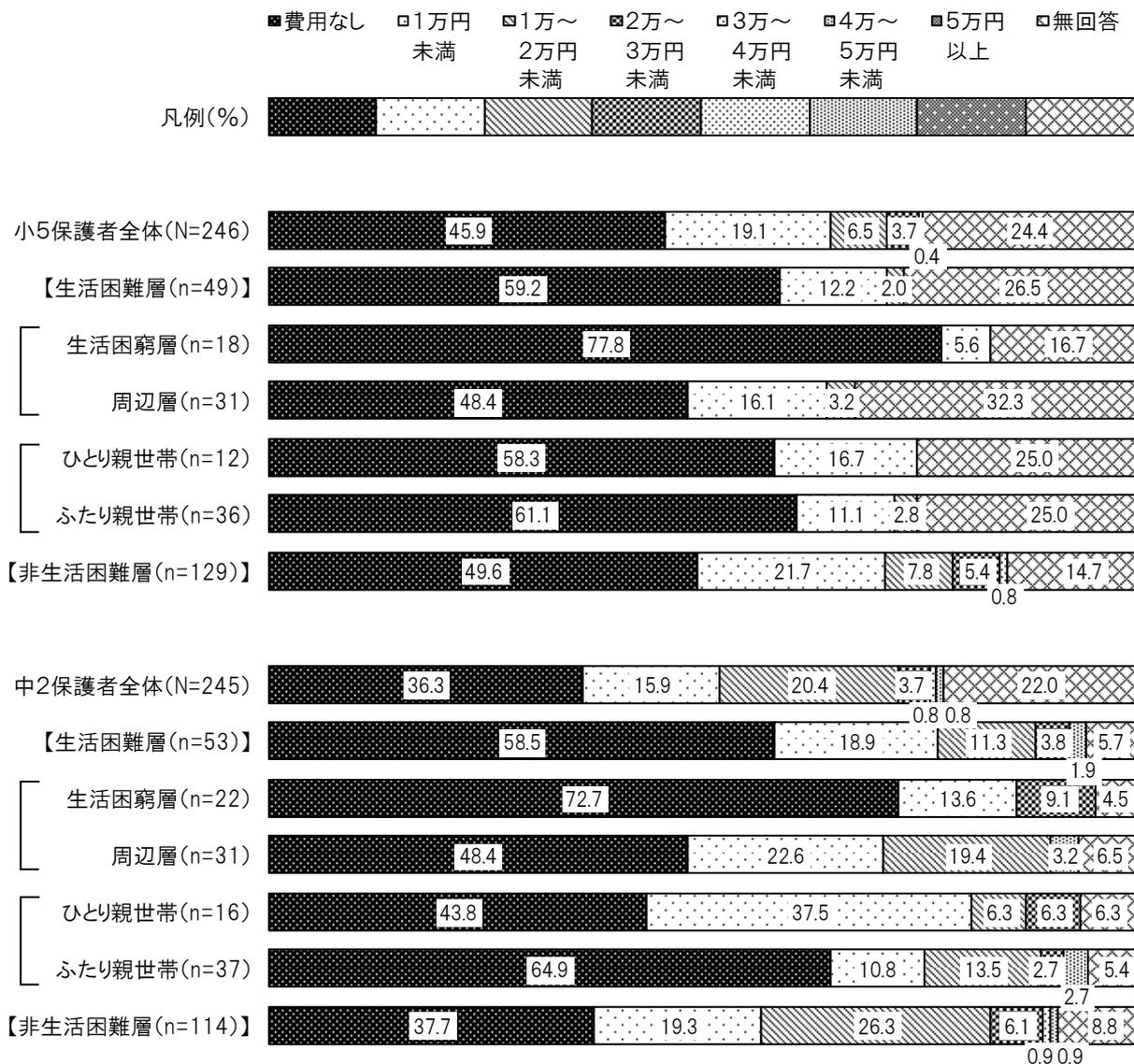


## B 塾など、学校外でかかる教育費

塾など、学校外でかかる教育費について、小学5年保護者全体では「費用なし」が45.9%と最も高く、次いで「1万円未満」(19.1%)となっている。中学2年保護者全体では「費用なし」が36.3%と最も高く、次いで「1万～2万円未満」(20.4%)、「1万円未満」(15.9%)となっている。

生活困難度別にみた「費用なし」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で77.8%、中学2年保護者で72.7%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のふたり親世帯で「費用なし」の割合がひとり親世帯を大きく上回っている。

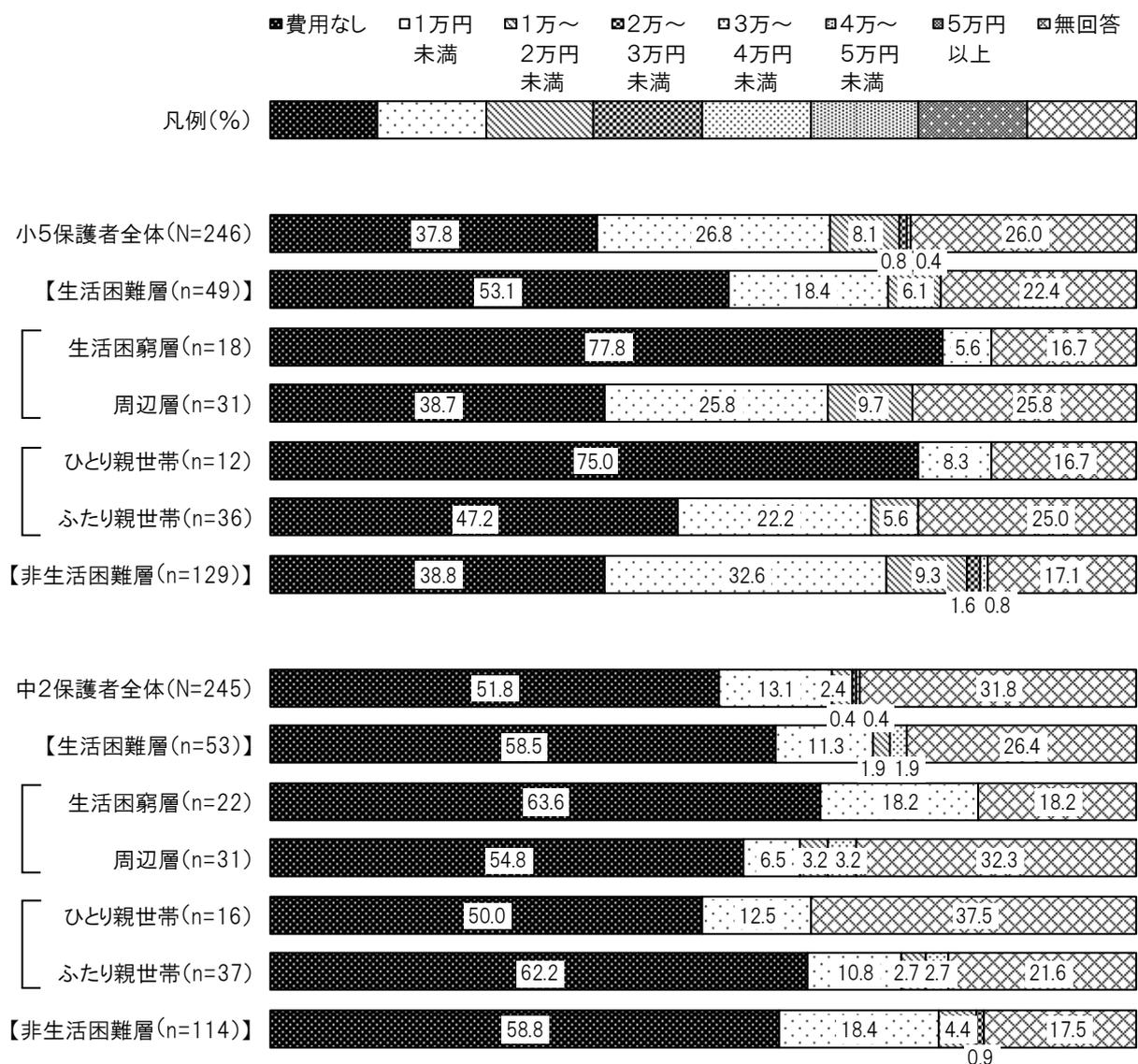


### C 習いごと（スポーツクラブなど以外）

習いごとについて、小学5年保護者全体では「費用なし」が37.8%と最も高く、次いで「1万円未満」（26.8%）が続いている。中学2年保護者全体では「費用なし」が51.8%と最も高く、次いで「1万円未満」（13.1%）となっている。

生活困難度別にみた「費用なし」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で77.8%、中学2年保護者で63.6%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「費用なし」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。

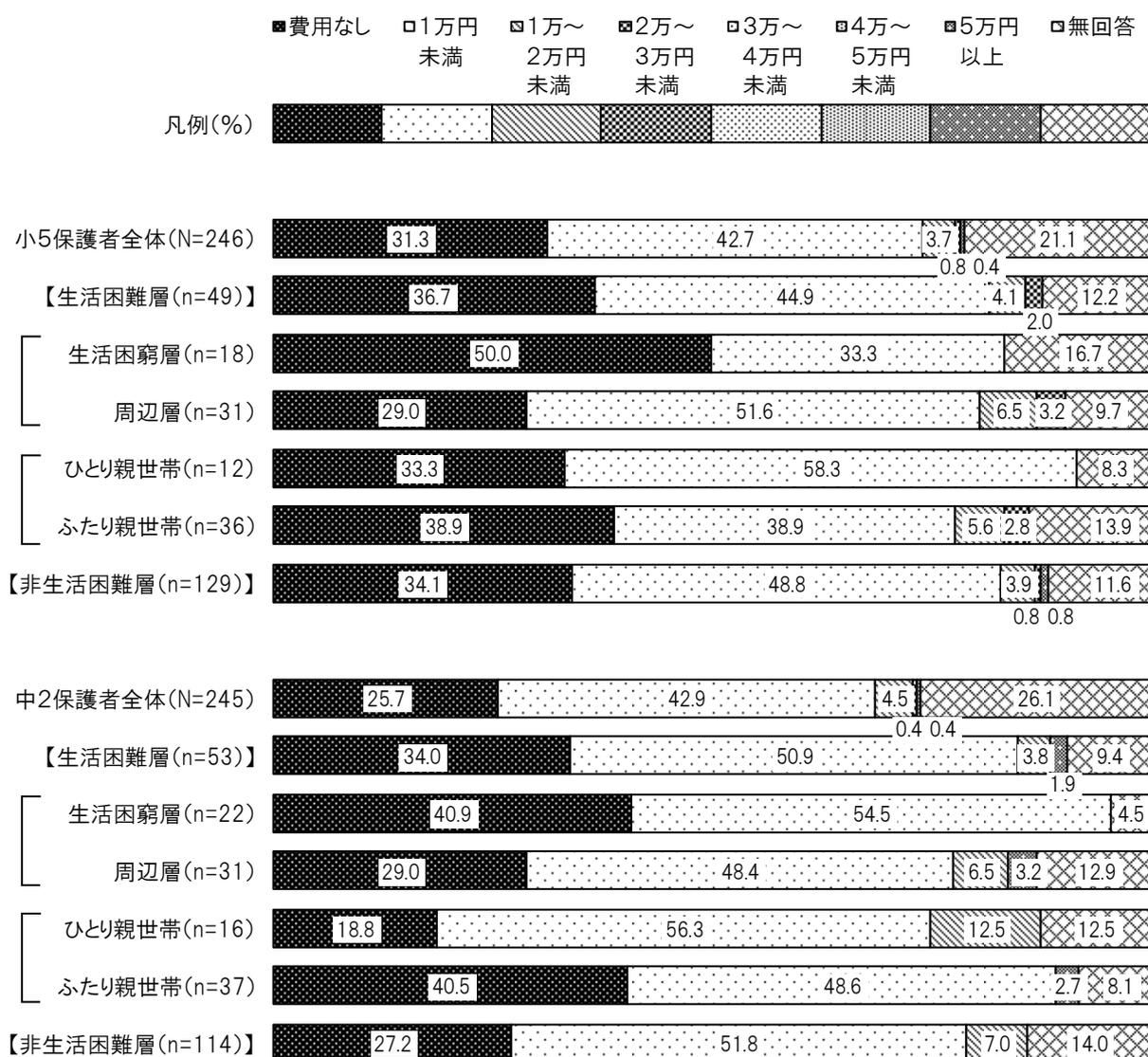


## D スポーツクラブ・部活動

スポーツクラブ・部活動について、小学5年保護者全体では「1万円未満」が42.7%と最も高く、次いで「費用なし」(31.3%)が続いている。中学2年保護者全体では「1万円未満」が42.9%と最も高く、次いで「費用なし」(25.7%)となっている。

生活困難度別にみた「費用なし」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で50.0%、中学2年保護者で40.9%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

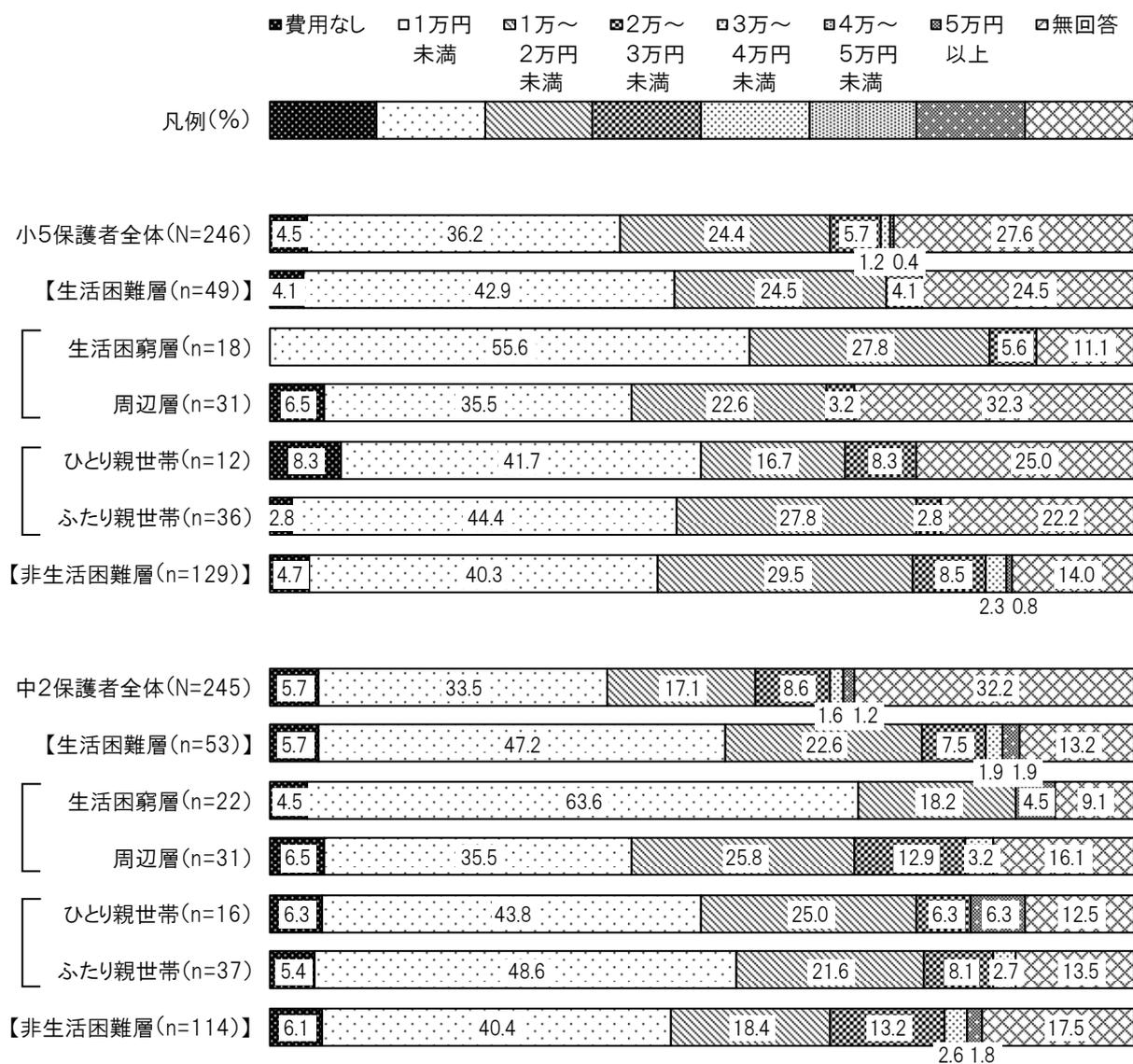
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のふたり親世帯で「費用なし」の割合がひとり親世帯を大きく上回っている。



## E お子さんの昼食代（弁当代含む）、夕食代、おやつ代（外食含む）

お子さんの昼食代、夕食代、おやつ代について、小学5年保護者全体では「1万円未満」が36.2%と最も高く、次いで「1万～2万円未満」(24.4%)が続いている。中学2年保護者全体では「1万円未満」が33.5%、「1万～2万円未満」が17.1%となっている。

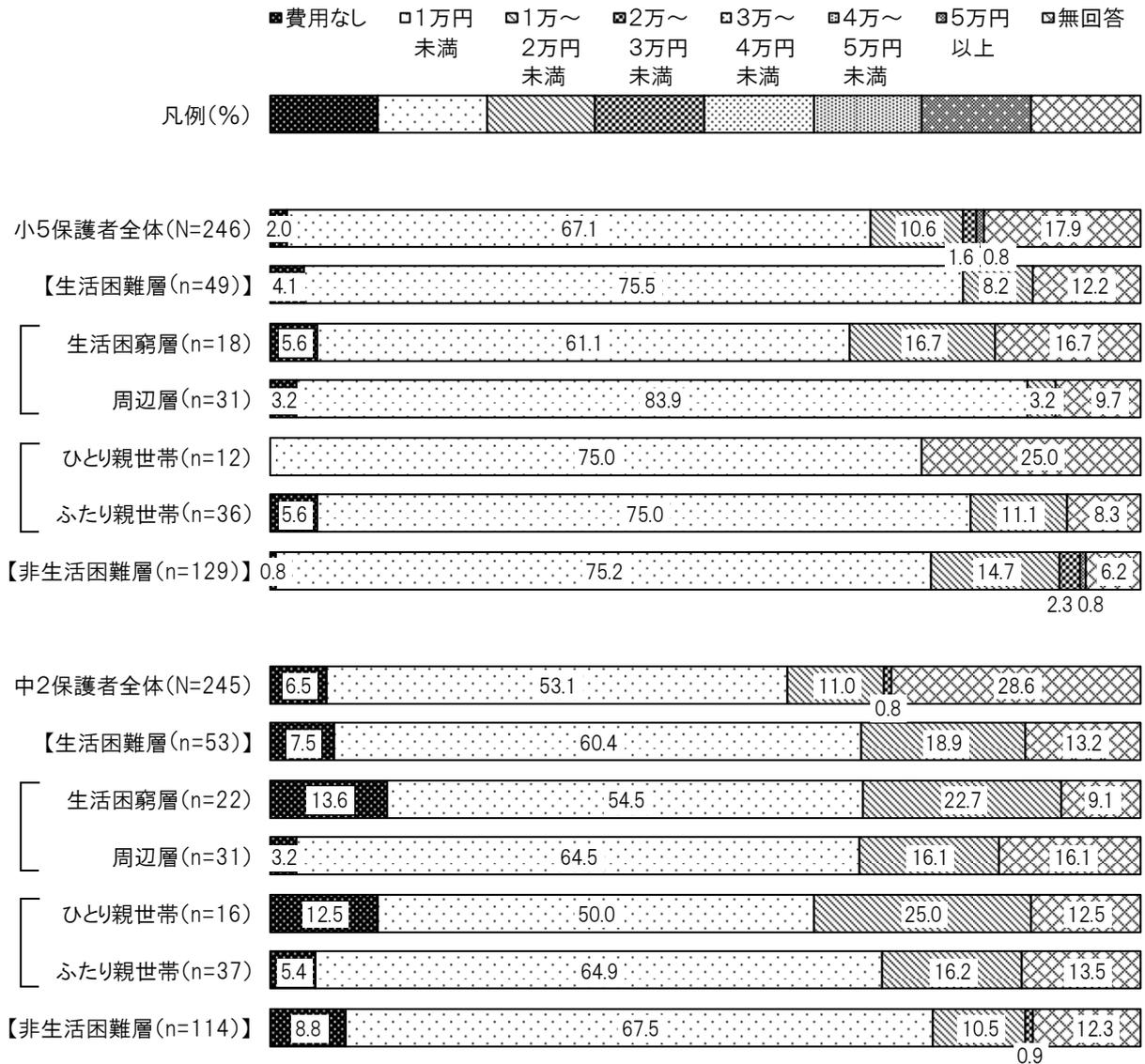
生活困難度別にみた「1万円未満」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で55.6%、中学2年保護者で63.6%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



## F お子さんの服・靴

お子さんの服・靴について、小学5年保護者全体では「1万円未満」が67.1%と最も高く、次いで「1万～2万円未満」(10.6%)が続いている。中学2年保護者全体では「1万円未満」が53.1%と最も高く、次いで「1万～2万円未満」(11.0%)となっている。

生活困難度別にみた「費用なし」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で5.6%、中学2年保護者で13.6%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

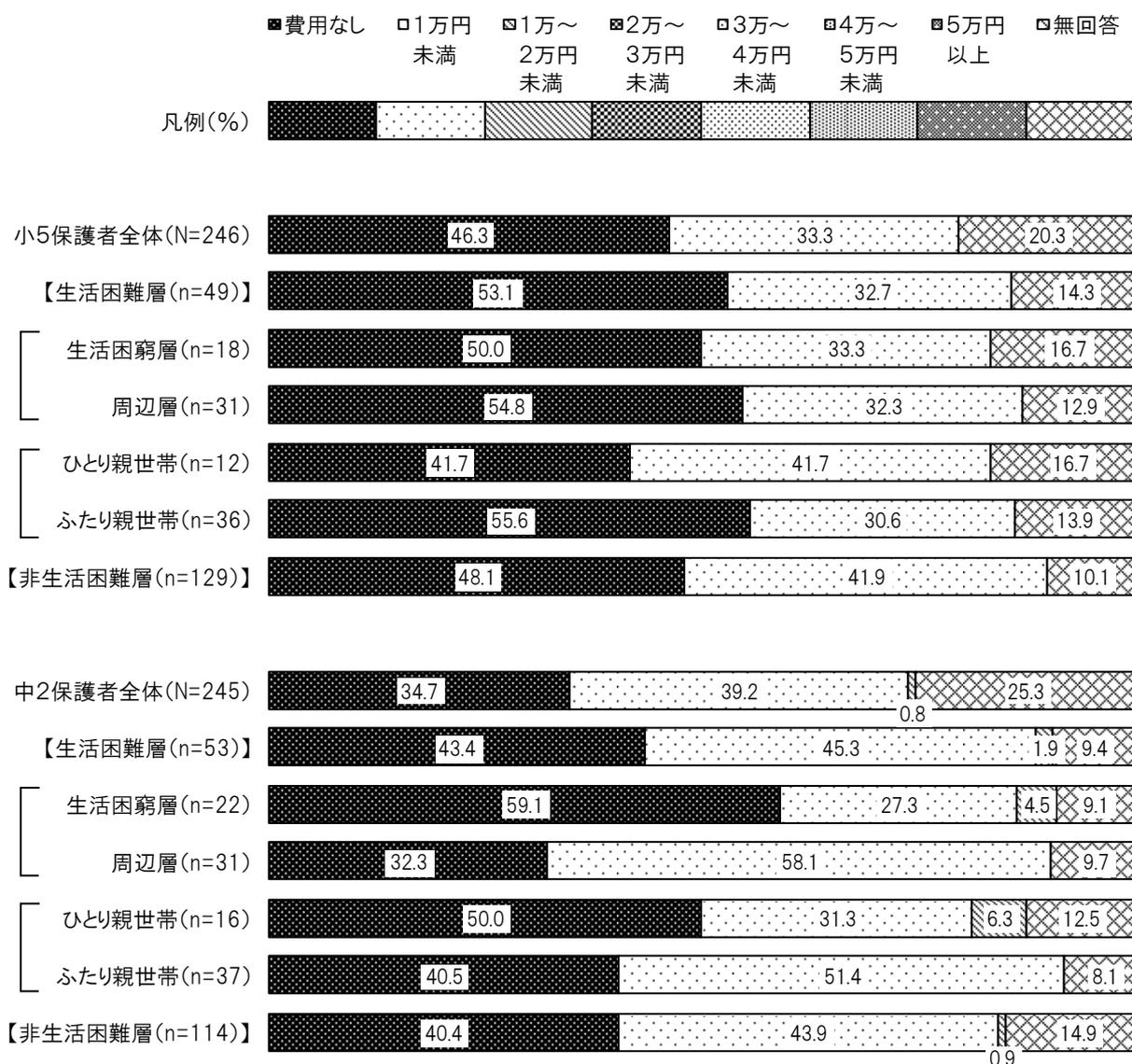


## G お小遣い

お小遣いについて、小学5年保護者全体では「費用なし」が46.3%と最も高く、次いで「1万円未満」(33.3%)が続いている。中学2年保護者全体では「1万円未満」が39.2%と最も高く、次いで「費用なし」(34.7%)となっている。

生活困難度別にみた「費用なし」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で50.0%、中学2年保護者で59.1%となっており、中学2年保護者の生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では小学5年保護者のふたり親世帯で「費用なし」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。

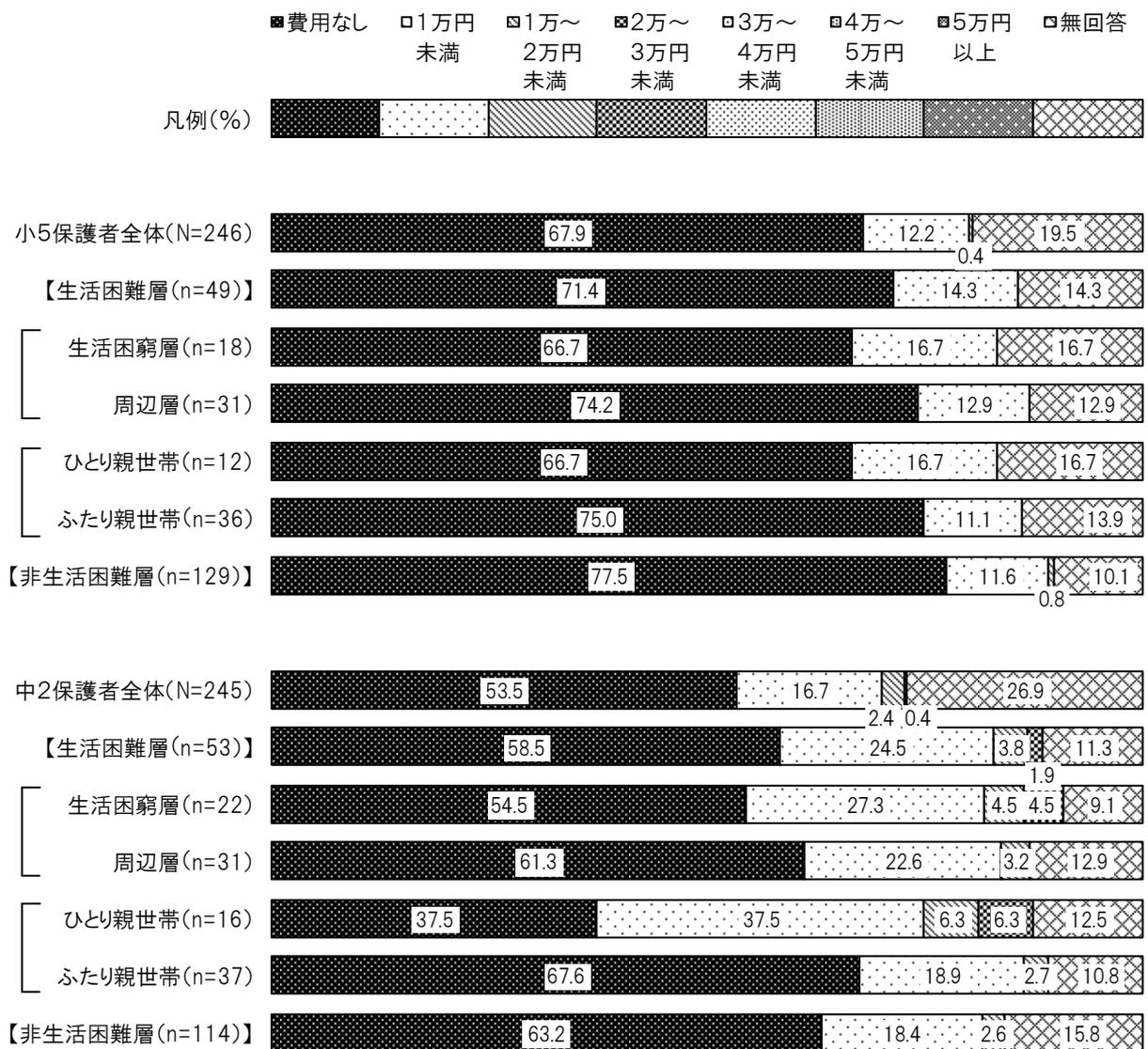


## H (お子さんの) 携帯・スマートフォンの代金

(お子さんの) 携帯・スマートフォンの代金について、小学5年保護者全体では「費用なし」が67.9%と最も高く、次いで「1万円未満」(12.2%)が続いている。中学2年保護者全体では「費用なし」が53.5%と最も高く、次いで「1万円未満」(16.7%)となっている。

生活困難度別にみた「費用なし」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で66.7%、中学2年保護者で54.5%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「費用なし」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



## 【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「費用なし」の割合が高い順に、「C 習いごと」「D スポーツクラブ・部活動」「H 携帯電話・スマートフォンの代金」「B 塾など学校外でかかる教育費」などとなっている。

問18 子育てにかかる費用(円)／A 授業料・学校納付金・給食費	回答割合(%)	回答件数
費用なし	24.5	12
1万円未満	36.7	18

問18 子育てにかかる費用(円)／B 塾など学校外でかかる教育費	回答割合(%)	回答件数
費用なし	53.1	26
1万円未満	14.3	7

問18 子育てにかかる費用(円)／C 習いごと	回答割合(%)	回答件数
費用なし	67.3	33
1万円未満	8.2	4

問18 子育てにかかる費用(円)／D スポーツクラブ・部活動	回答割合(%)	回答件数
費用なし	55.1	27
1万円未満	14.3	7

問18 子育てにかかる費用(円)／E 昼食代、お弁当代、夕食代、おやつ代	回答割合(%)	回答件数
費用なし	0.0	0
1万円未満	36.7	18

問18 子育てにかかる費用(円)／F 服・靴	回答割合(%)	回答件数
費用なし	6.1	3
1万円未満	57.1	28

問18 子育てにかかる費用(円)／G お小遣い	回答割合(%)	回答件数
費用なし	49.0	24
1万円未満	28.6	14

問18 子育てにかかる費用(円)／H 携帯電話・スマートフォンの代金	回答割合(%)	回答件数
費用なし	55.1	27
1万円未満	16.3	8

## 【2】 就学援助

### (1) 就学援助受給状況と受給していない理由

保／問 20 あなたのご家庭では、この調査票を持ち帰ったお子さんのために就学援助を受けていますか。（あてはまる番号1つに○）

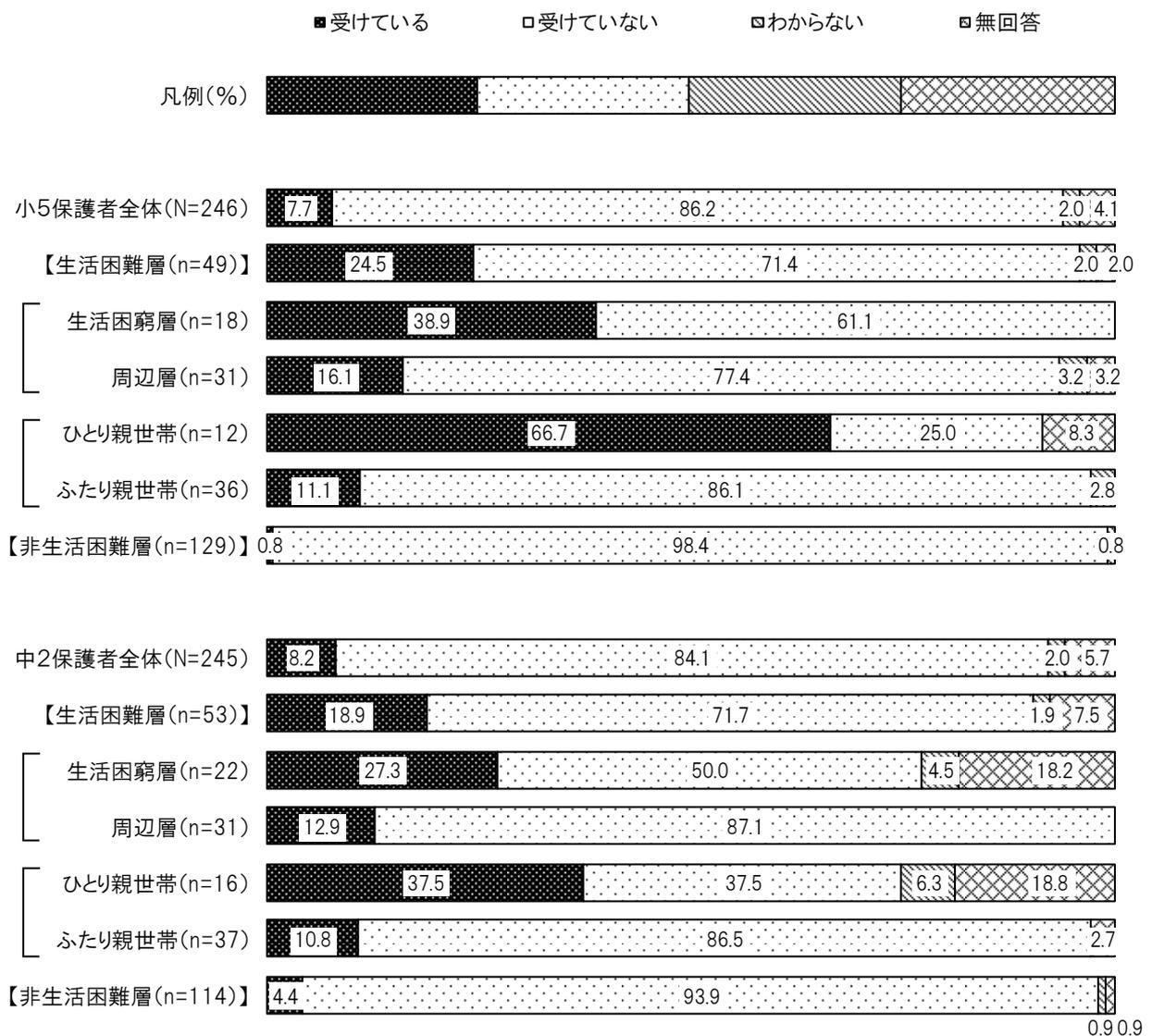
※「就学援助」制度は、経済的な理由により就学が困難な子供たちの保護者に対して、援助を行い、子供たちが等しく義務教育を受けることができるようにするための制度です。

※特別支援教育就学奨励費は除きます。

就学援助受給状況については、小学5年保護者全体では「受けている」が7.7%、中学2年保護者全体では8.2%となっている。一方、「受けていない」の割合は、小学5年保護者全体では86.2%、中学2年保護者全体では84.1%となっている。

生活困難度別にみた「受けている」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で38.9%、中学2年保護者で27.3%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「受けている」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



### 【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

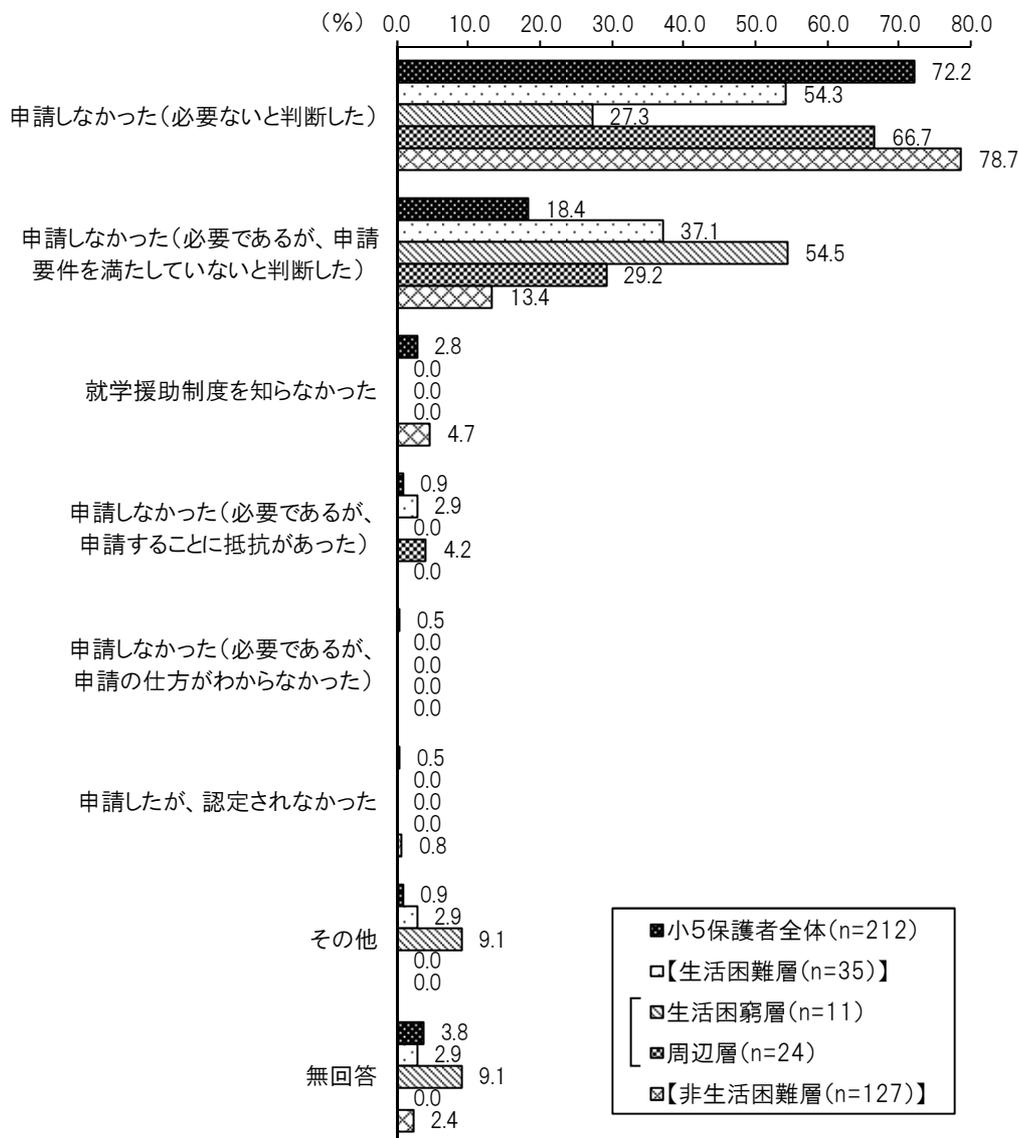
児童扶養手当受給者においては、「受けている」が過半数を占めている。

問19 就学援助費の受給の有無	回答割合(%)	回答件数
受けている	55.1	27
受けていない	32.7	16
わからない	4.1	2
無回答	8.2	4
全体	100.0	49

【問 20 で「2 受けていない」を選んだ方におうかがいします。】  
 保／問 20-2 受けてない理由は、何ですか。次のうち最も近いものに○をつけてください。  
 （あてはまる番号1つに○）

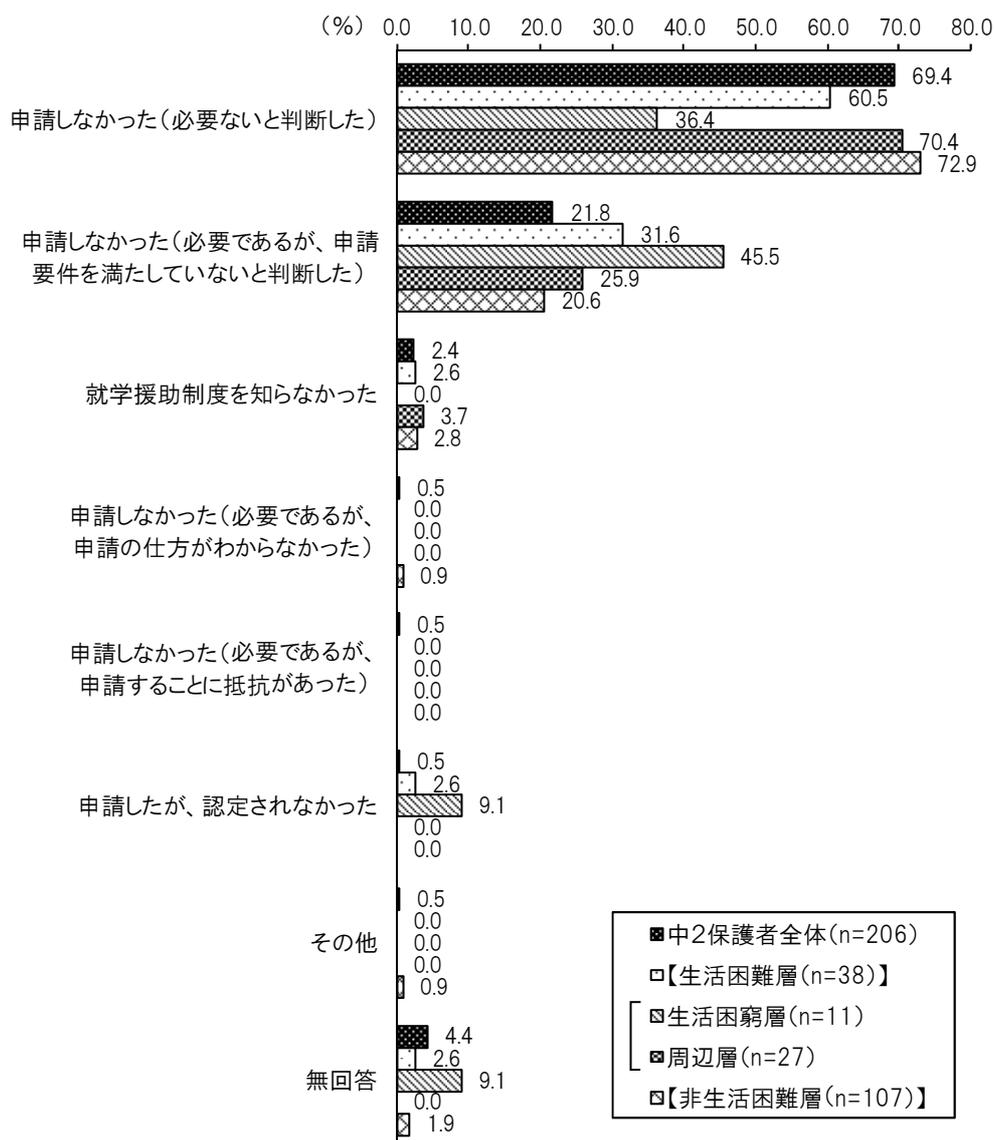
就学援助を受給していない理由について、小学5年保護者全体では「申請しなかった（必要ないと判断した）」が72.2%と最も高く、次いで「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていないと判断した）」（18.4%）が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「申請しなかった（必要ないと判断した）」の割合が低く、「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていないと判断した）」の割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「申請しなかった(必要ないと判断した)」が69.4%と最も高く、次いで「申請しなかった(必要であるが、申請要件を満たしていないと判断した)」(21.8%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「申請しなかった(必要ないと判断した)」の割合が低く、「申請しなかった(必要であるが、申請要件を満たしていないと判断した)」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



### 【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

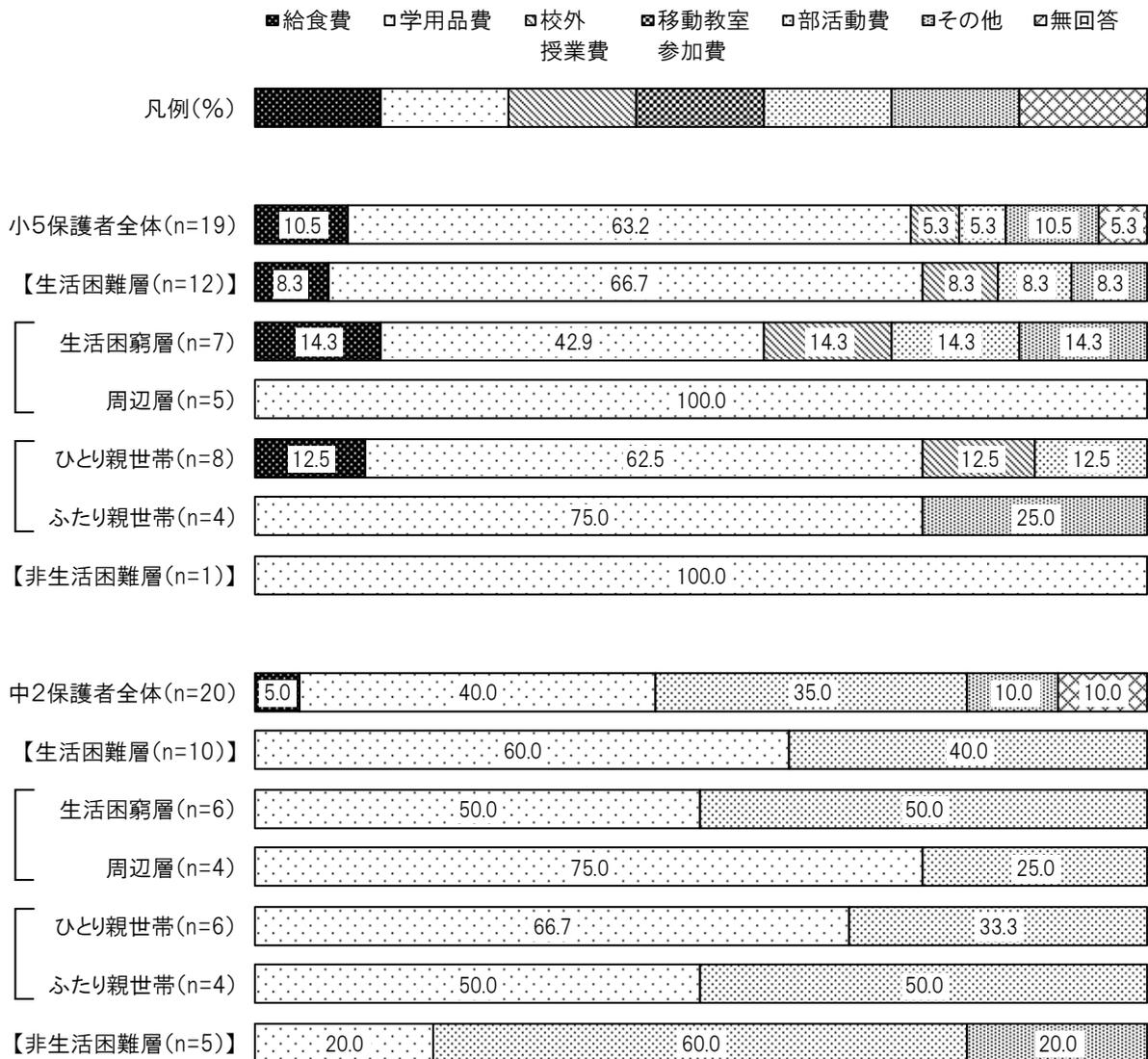
児童扶養手当受給者においては、「申請しなかった（必要ないと判断した）」が約3割、「申請したが、認定されなかった」が約2割となっている。

問19-2 就学援助費を受けていない理由	回答割合(%)	回答件数
申請しなかった(必要であるが、申請要件を満たしていないと判断した)	12.5	2
申請しなかった(必要であるが、申請の仕方がわからなかった)	0.0	0
申請しなかった(必要であるが、申請することに抵抗があった)	0.0	0
申請しなかった(必要ないと判断した)	31.3	5
申請したが、認定されなかった	18.8	3
就学援助制度を知らなかった	12.5	2
その他	25.0	4
無回答	0.0	0
全体	100.0	16

## (2) 支給額と実費との差が大きい経費

【問 20 で「1 受けている」を選んだ方におうかがいします。】  
 保／問 20-1 就学援助で支給されている額と実際にかかった額とで、その差が大きいものは何の経費ですか。（あてはまる番号1つに○）

支給額と実費との差が大きい経費について、小学5年保護者全体では「学用品費」が63.2%と最も高く、次いで「給食費」(10.5%)となっている。中学2年保護者全体では「学用品費」が40.0%と最も高く、次いで「部活動費」(35.0%)となっている。



注：生活困難度別、生活困難層世帯タイプ別、非生活困難層については、件数(n=)が少ないため、参考値として参照

### 【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、支給額との差が大きい順に、「学用品費」「給食費」「部活動費」となっている。

問19-1 就学援助費との差が大きい費目	回答割合(%)	回答件数
学用品費	33.3	9
給食費	14.8	4
部活動費	11.1	3
校外授業費	0.0	0
移動教室参加費	0.0	0
その他	11.1	3
無回答	29.6	8
全体	100.0	27

### 【3】 公的年金等の支給額

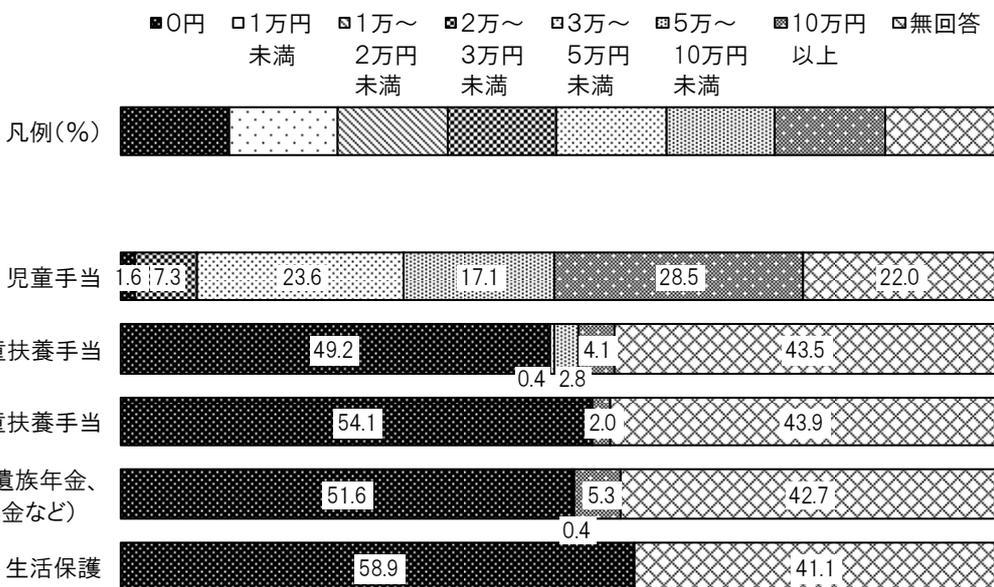
保／問 21 あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか。（枠内に数字で回答してください）

※該当する収入がない場合には、0とご記入ください。  
 ※兄弟姉妹等にかかわる手当等も含まれます。

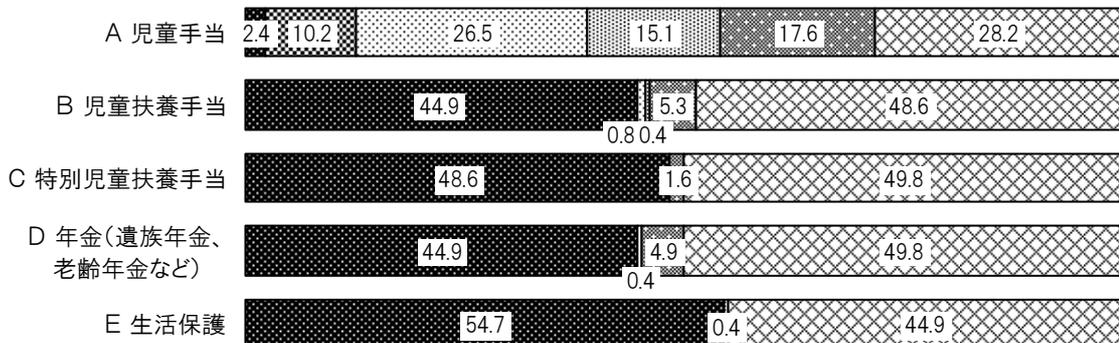
公的年金等の支給額については、小学5年保護者全体では『支給あり（0円、無回答以外の合計）』の割合が高い順に「A 児童手当」（76.4%）、「B 児童扶養手当」（7.3%）、「D 年金（遺族年金、老齢年金など）」（5.7%）となっている。

中学2年保護者全体では『支給あり（0円、無回答以外の合計）』の割合が高い順に「A 児童手当」（69.4%）、「B 児童扶養手当」（6.5%）、「D 年金（遺族年金、老齢年金など）」（5.3%）となっている。

小5保護者全体  
(N=246)



中2保護者全体  
(N=245)

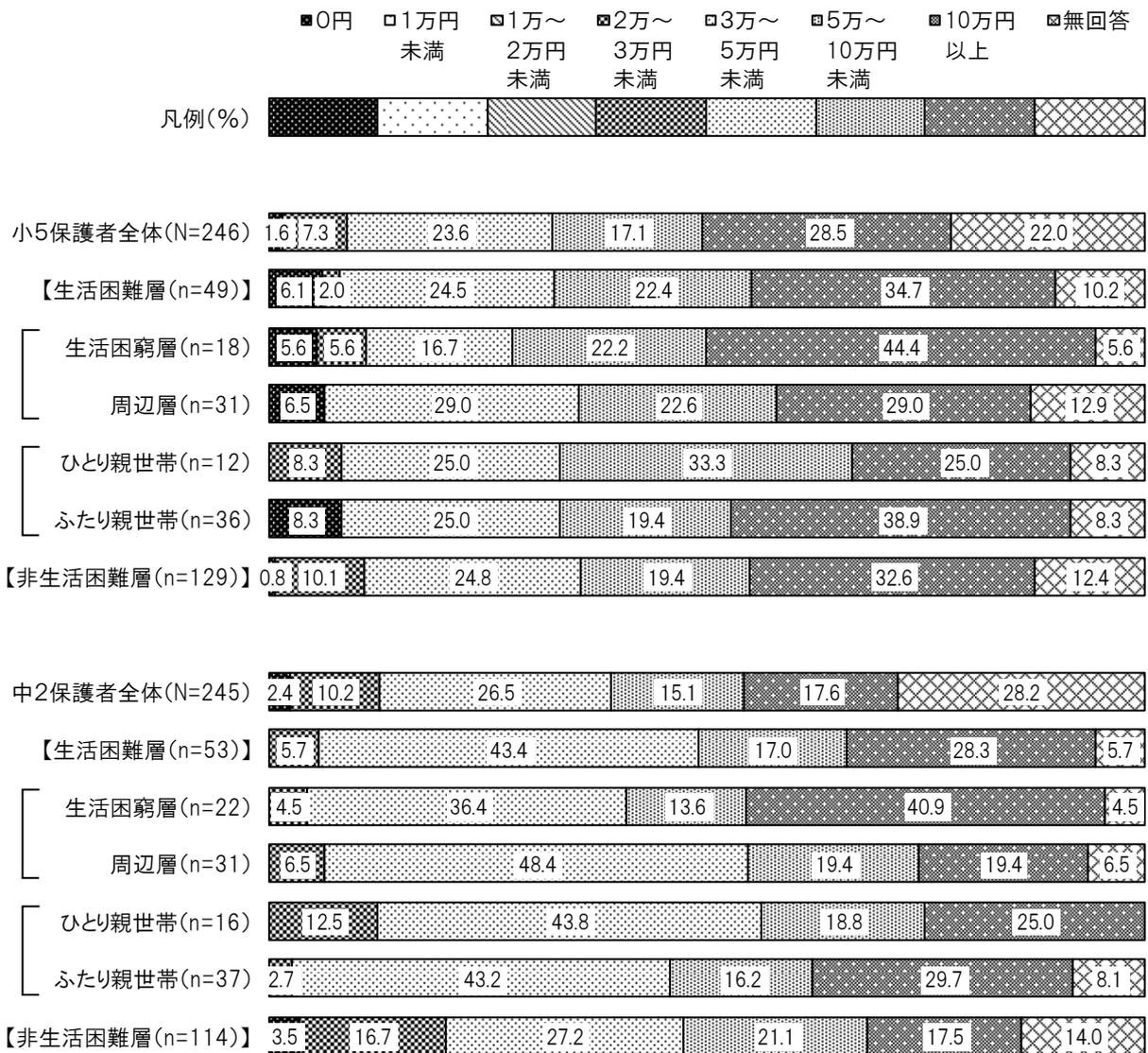


## A 児童手当

児童手当について、小学5年保護者全体では「10万円以上」が28.5%と最も高く、次いで「3万～5万円未満」(23.6%)、「5万～10万円未満」(17.1%)が続いている。中学2年保護者全体では「3万～5万円未満」が26.5%と最も高く、次いで「10万円以上」(17.6%)、「5万～10万円未満」(15.1%)となっている。

生活困難度別にみた「10万円以上」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で44.4%、中学2年保護者で40.9%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ふたり親世帯で「10万円以上」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。

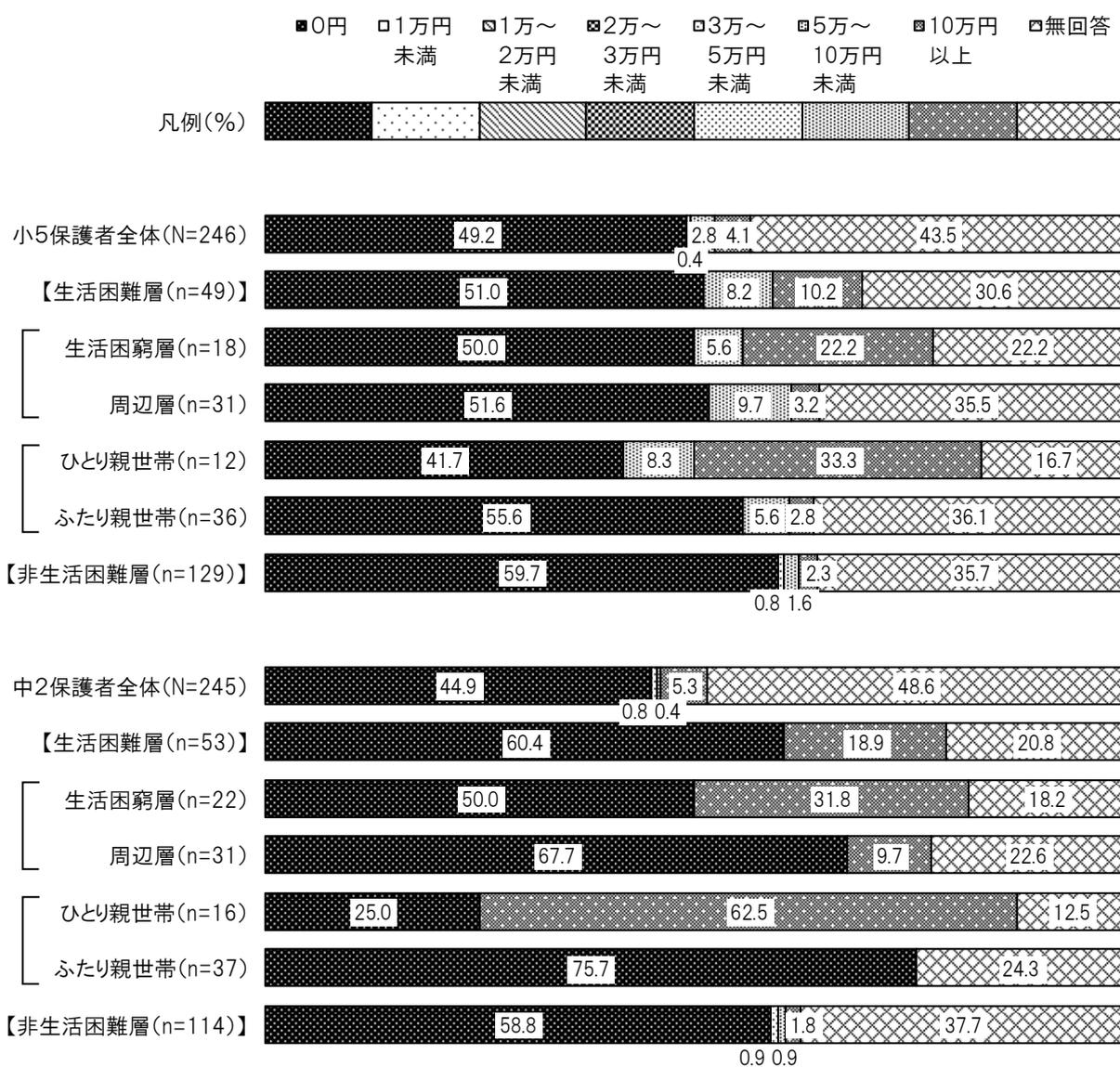


## B 児童扶養手当

児童扶養手当について、小学5年保護者全体では、「10万円以上」が4.1%、「5万～10万円未満」が2.8%となっている。中学2年保護者全体では、「10万円以上」が5.3%となっている。

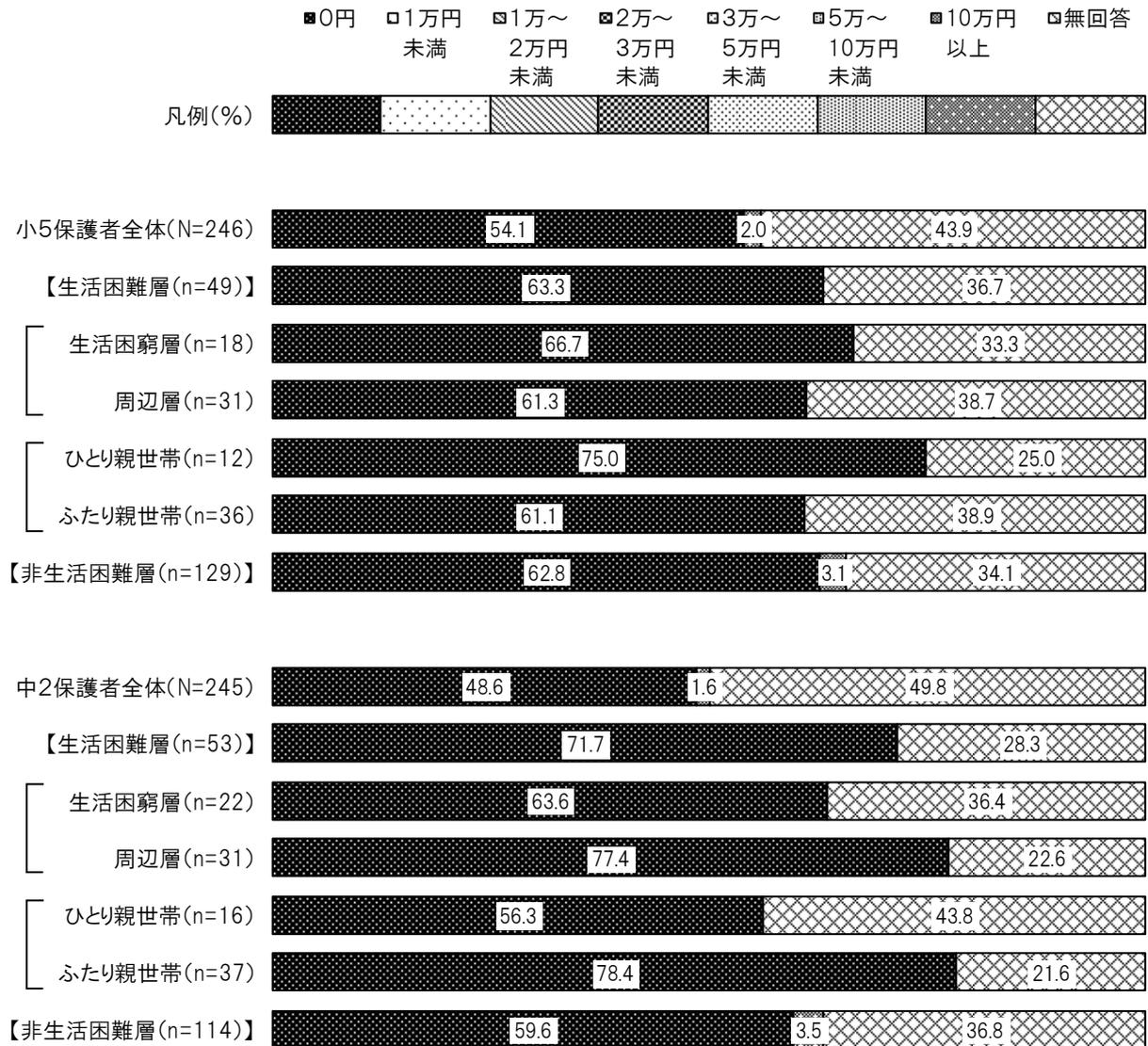
生活困難度別にみた「10万円以上」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で22.2%、中学2年保護者で31.8%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「10万円以上」の割合が高くなっている。



### C 特別児童扶養手当

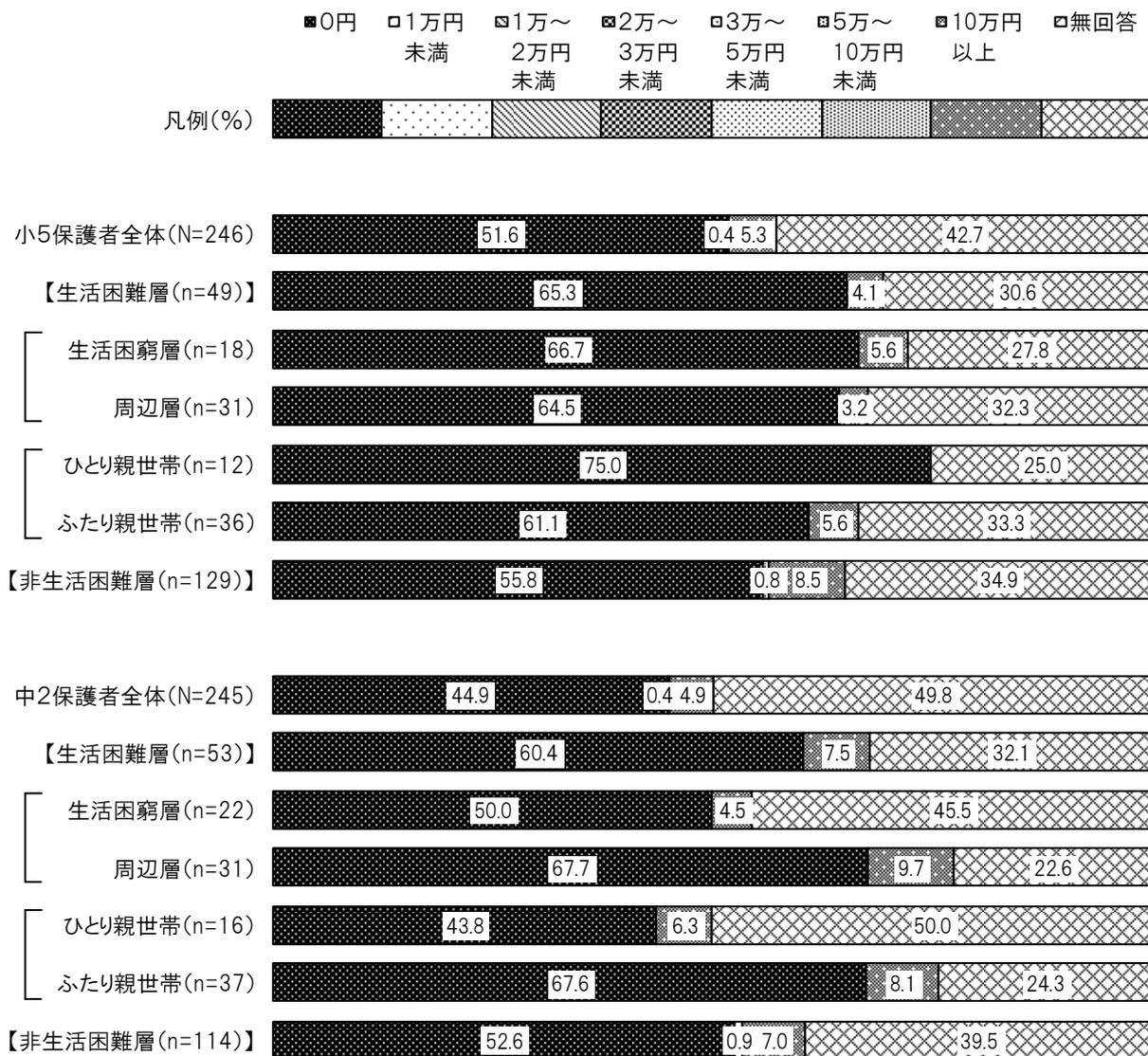
特別児童扶養手当について、小学5年保護者全体では「10万円以上」が2.0%、中学2年保護者全体では1.6%となっている。



## D 年金（遺族年金、老齢年金など）

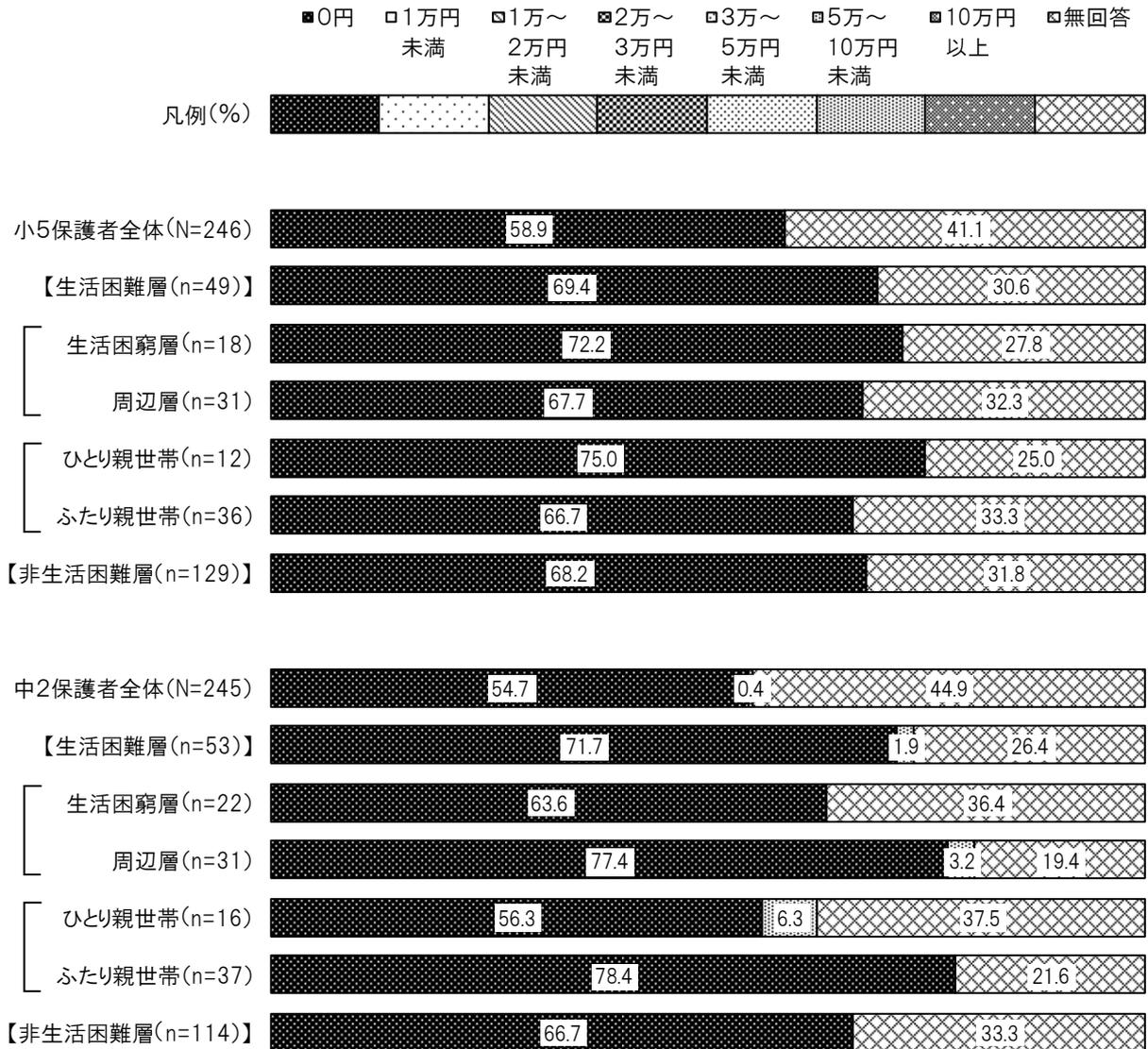
年金（遺族年金、老齢年金など）について、小学5年保護者全体では「10万円以上」が5.3%、中学2年保護者全体では4.9%となっている。

生活困難度別にみた「10万円以上」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で5.6%、中学2年保護者で4.5%となっている。



## E 生活保護

生活保護については、中学2年保護者全体で「5万～10万円未満」が0.4%となっている。  
生活困難度別にみると「5万～10万円未満」の割合は、中学2年保護者の周辺層で3.2%、  
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で6.3%となっている。



### 【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者において、「A 児童手当」では「3万～5万円未満」、「B 児童扶養手当」では「10万円以上」などが多くなっている。

問20 支給額(円)／A 児童手当	回答割合(%)	回答件数
0円	14.3	7
1万円未満	4.1	2
1万～2万円未満	12.2	6
2万～3万円未満	2.0	1
3万～5万円未満	20.4	10
5万～10万円未満	10.2	5
10万円以上	4.1	2
無回答	32.7	16
全体	100.0	49

問20 支給額(円)／B 児童扶養手当	回答割合(%)	回答件数
0円	6.1	3
1万円未満	0.0	0
1万～2万円未満	4.1	2
2万～3万円未満	2.0	1
3万～5万円未満	12.2	6
5万～10万円未満	10.2	5
10万円以上	32.7	16
無回答	32.7	16
全体	100.0	49

問20 支給額(円)／C 特別児童扶養手当	回答割合(%)	回答件数
0円	53.1	26
1万円未満	0.0	0
1万～2万円未満	0.0	0
2万～3万円未満	0.0	0
3万～5万円未満	0.0	0
5万～10万円未満	0.0	0
10万円以上	2.0	1
無回答	44.9	22
全体	100.0	49

問20 支給額(円)／D 年金	回答割合(%)	回答件数
0円	59.2	29
1万円未満	0.0	0
1万～2万円未満	0.0	0
2万～3万円未満	0.0	0
3万～5万円未満	0.0	0
5万～10万円未満	2.0	1
10万円以上	4.1	2
無回答	34.7	17
全体	100.0	49

問20 支給額(円)／E 生活保護	回答割合(%)	回答件数
0円	61.2	30
1万円未満	0.0	0
1万～2万円未満	0.0	0
2万～3万円未満	0.0	0
3万～5万円未満	0.0	0
5万～10万円未満	6.1	3
10万円以上	0.0	0
無回答	32.7	16
全体	100.0	49

## 【4】世帯年収

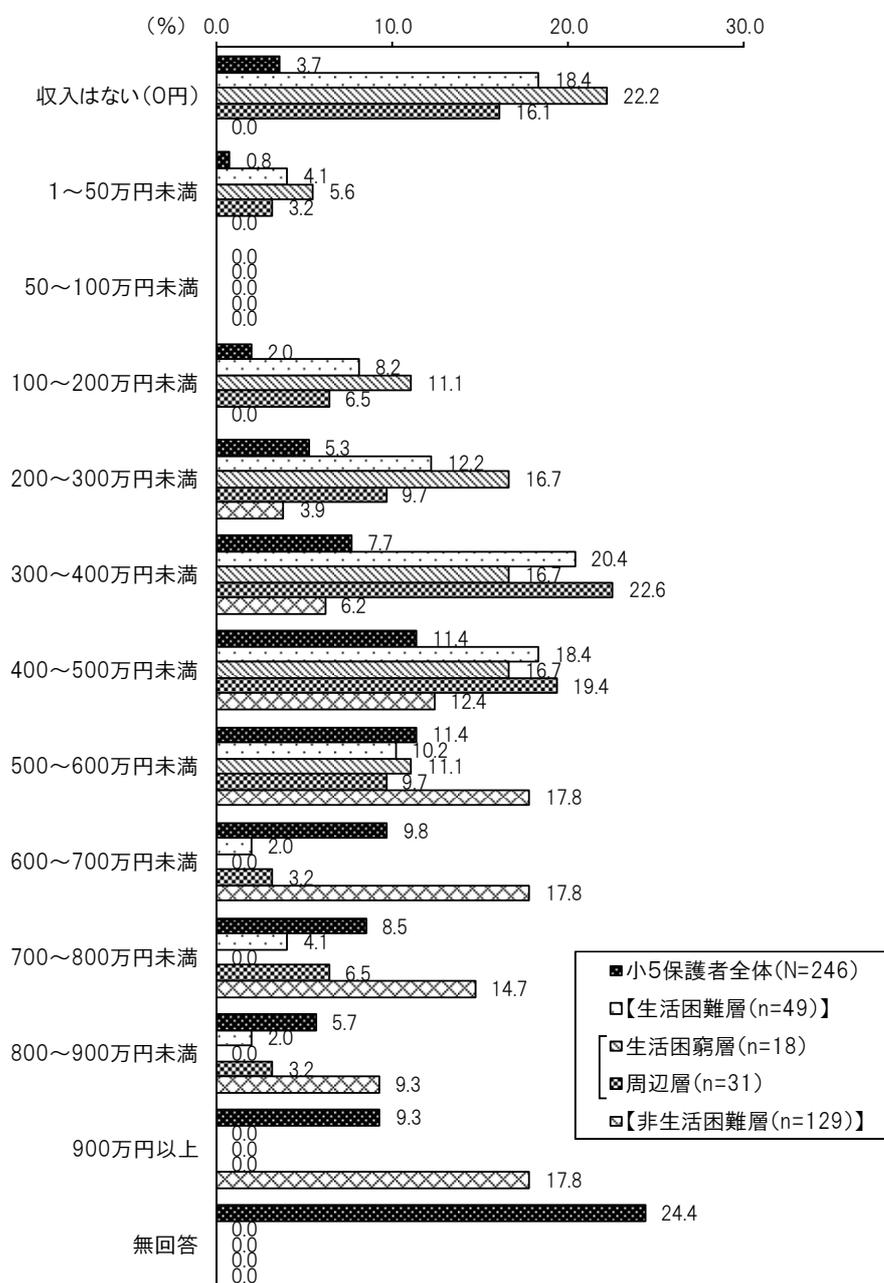
保／問 22 上記問 21 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きします。お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまる番号1つに○）

※収入には、勤労収入（パート、アルバイトを含む）、事業収入（自営業等）、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金、仕送りや元配偶者からの養育費を含みますが、上記問 21 で回答いただいた公的年金と社会保障給付金は除いてお考えください。

※複数の収入源がある場合（お父さまが勤労収入、お母さまに事業収入など）は、おおよその合算値(合計額)を教えてください。

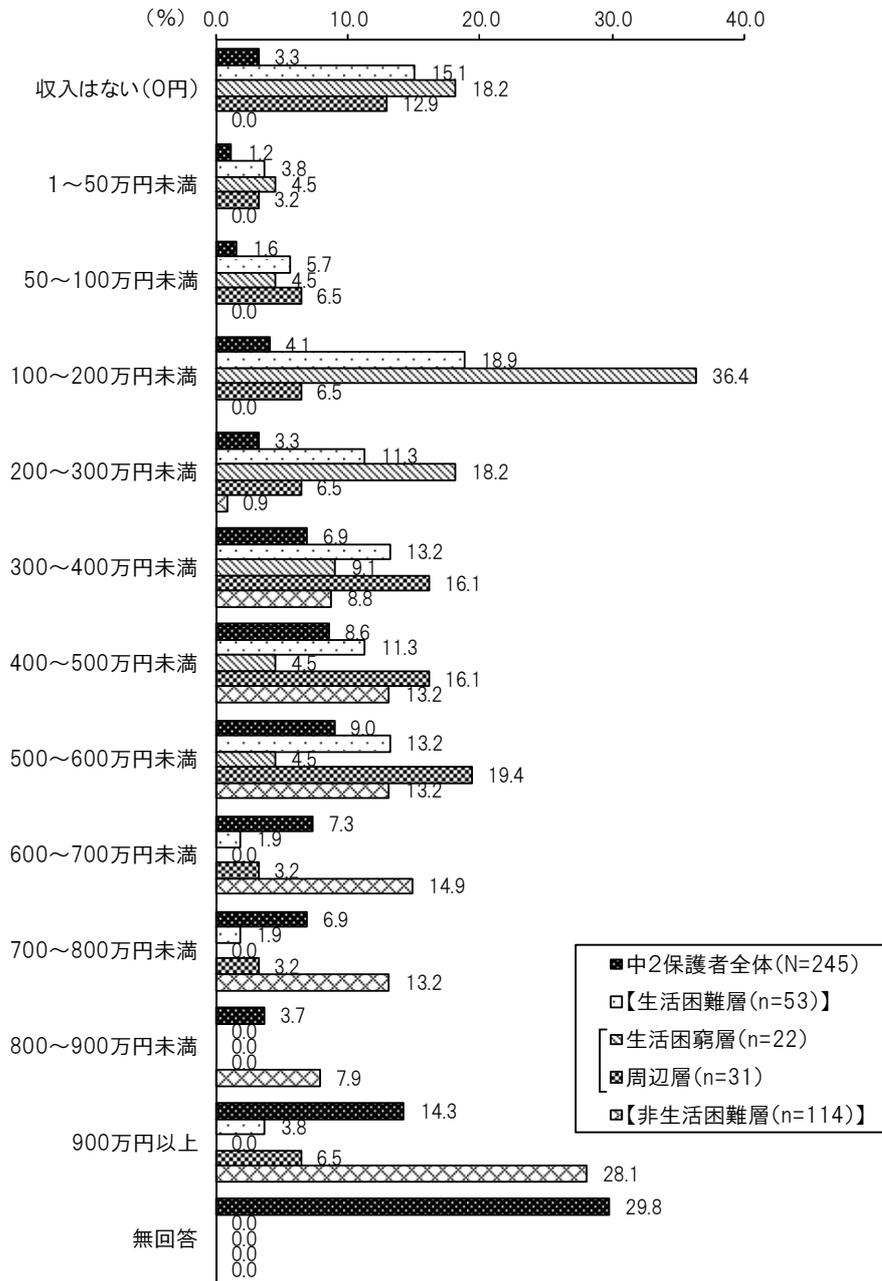
世帯年収について、小学5年保護者全体では「400～500万円未満」「500～600万円未満」が各11.4%と最も高く、次いで「600～700万円未満」(9.8%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「収入はない(0円)」「100～200万円未満」「200～300万円未満」などの割合が他の層に比べて高くなっている。

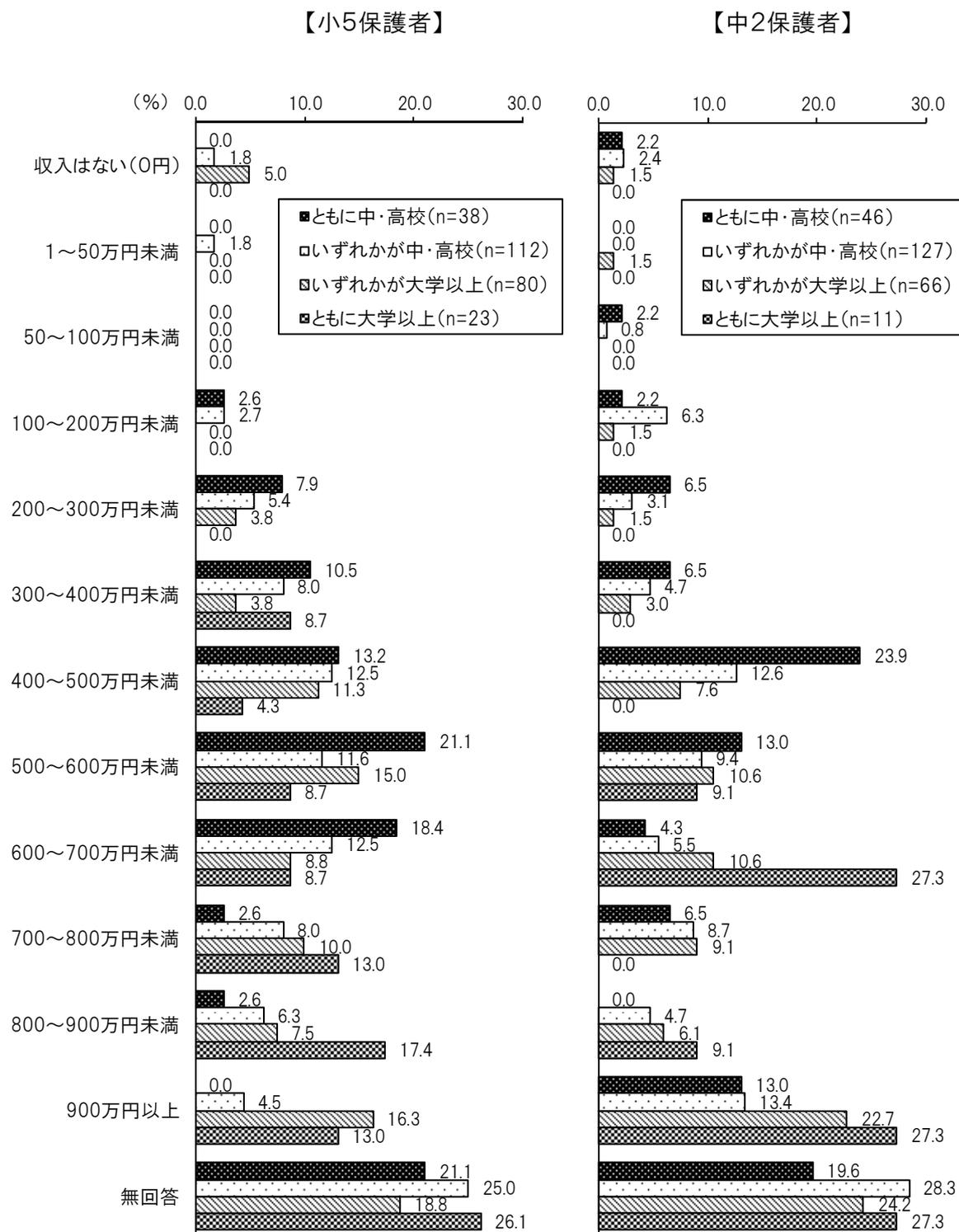


中学2年保護者全体では、「900万円以上」が14.3%と最も高く、次いで「500～600万円未満」(9.0%)、「400～500万円未満」(8.6%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「100～200万円未満」「200～300万円未満」などの割合が他の層を大きく上回っている。



保護者の学歴別（問 36・問 37）でみると、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、「ともに中・高校」では他の層に比べ「400～500万円未満」「500～600万円未満」などの割合が高く、「ともに大学以上」では「600～700万円未満」「800～900万円未満」などの割合が他の層を大きく上回っている。



### 【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「200～300万円未満」が24.5%と最も高く、次いで「100～200万円未満」（16.3%）、「300～400万円未満」（12.2%）となっている。

問21 世帯年収	回答割合(%)	回答件数
収入はない(0円)	8.2	4
1～50万円未満	6.1	3
50～100万円未満	6.1	3
100～200万円未満	16.3	8
200～300万円未満	24.5	12
300～400万円未満	12.2	6
400～500万円未満	4.1	2
500～600万円未満	2.0	1
600～700万円未満	2.0	1
700～800万円未満	0.0	0
800～900万円未満	0.0	0
900万円以上	0.0	0
無回答	18.4	9
全体	100.0	49

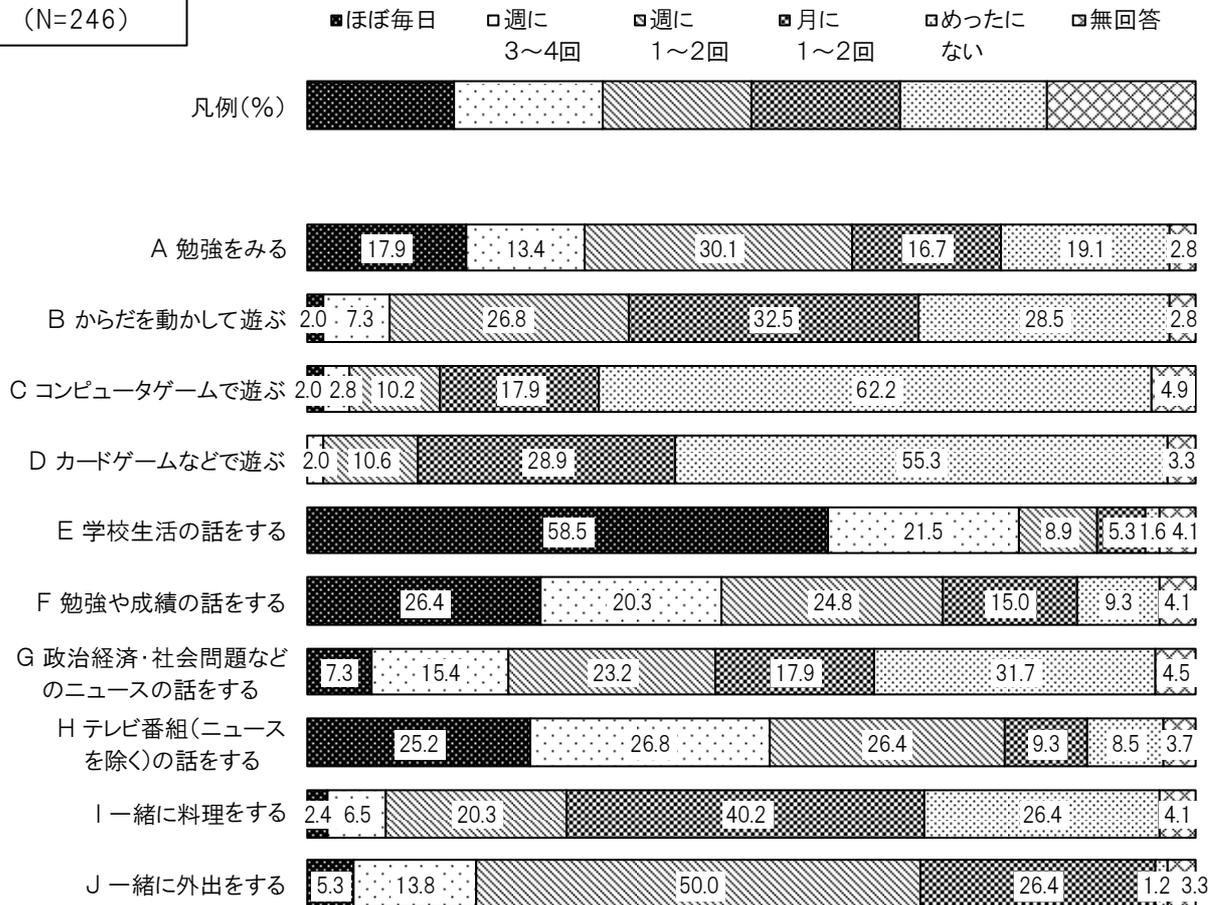
## 【5】子供とのかかわり

### (1) 子供とのかかわり頻度

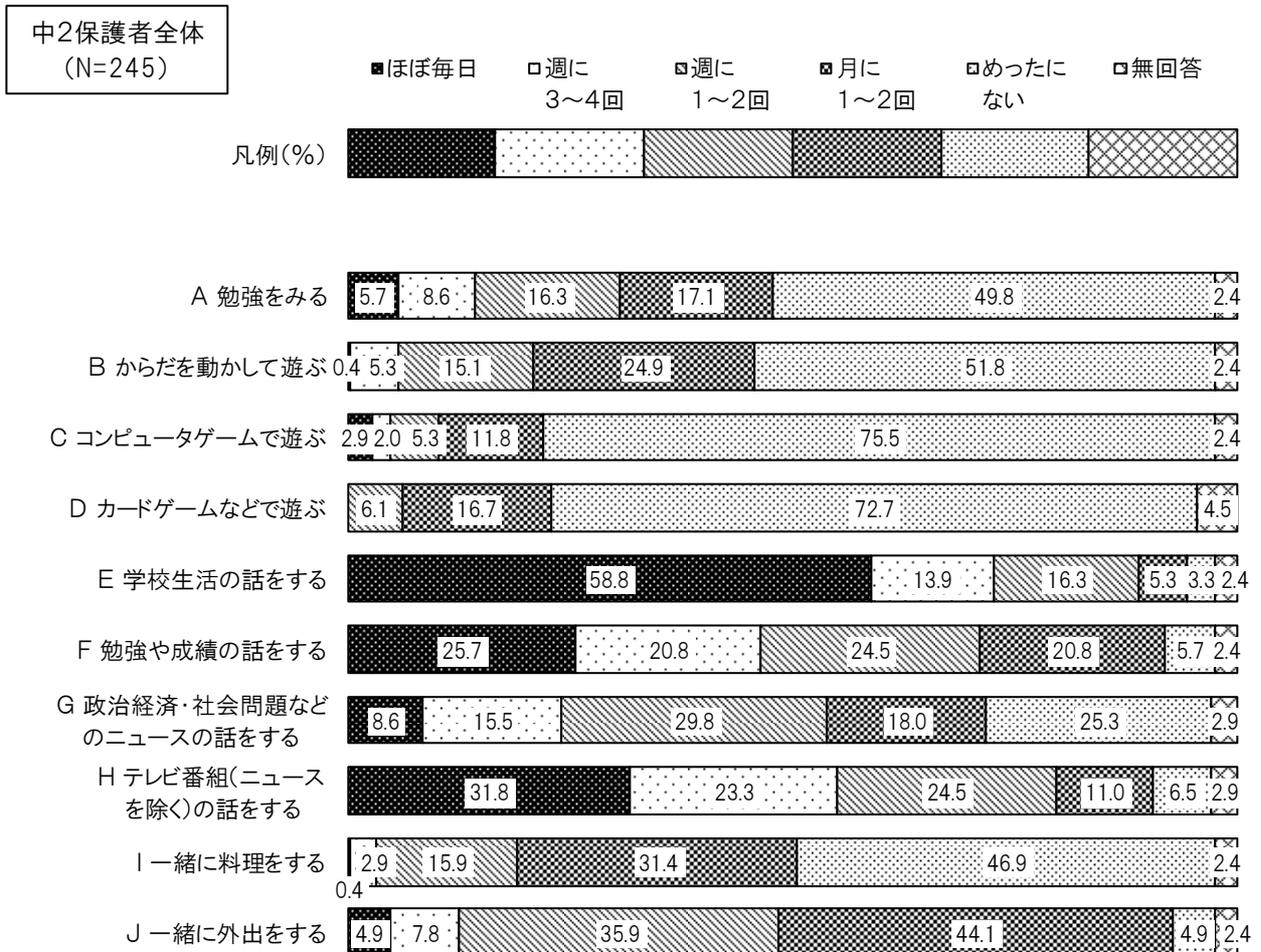
保/問 25 あなたの家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。  
 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

子供とのかかわり頻度については、小学5年保護者全体では「ほぼ毎日」の割合が高い順に「E 学校生活の話をする」(58.5%)、「F 勉強や成績の話をする」(26.4%)、「H テレビ番組(ニュースを除く)の話をする」(25.2%)となっている。一方、「めったにない」では「C コンピュータゲームで遊ぶ」(62.2%)、「D カードゲームなどで遊ぶ」(55.3%)、「G 政治経済・社会問題などのニュースの話をする」(31.7%)などがあげられる。

小5保護者全体  
(N=246)

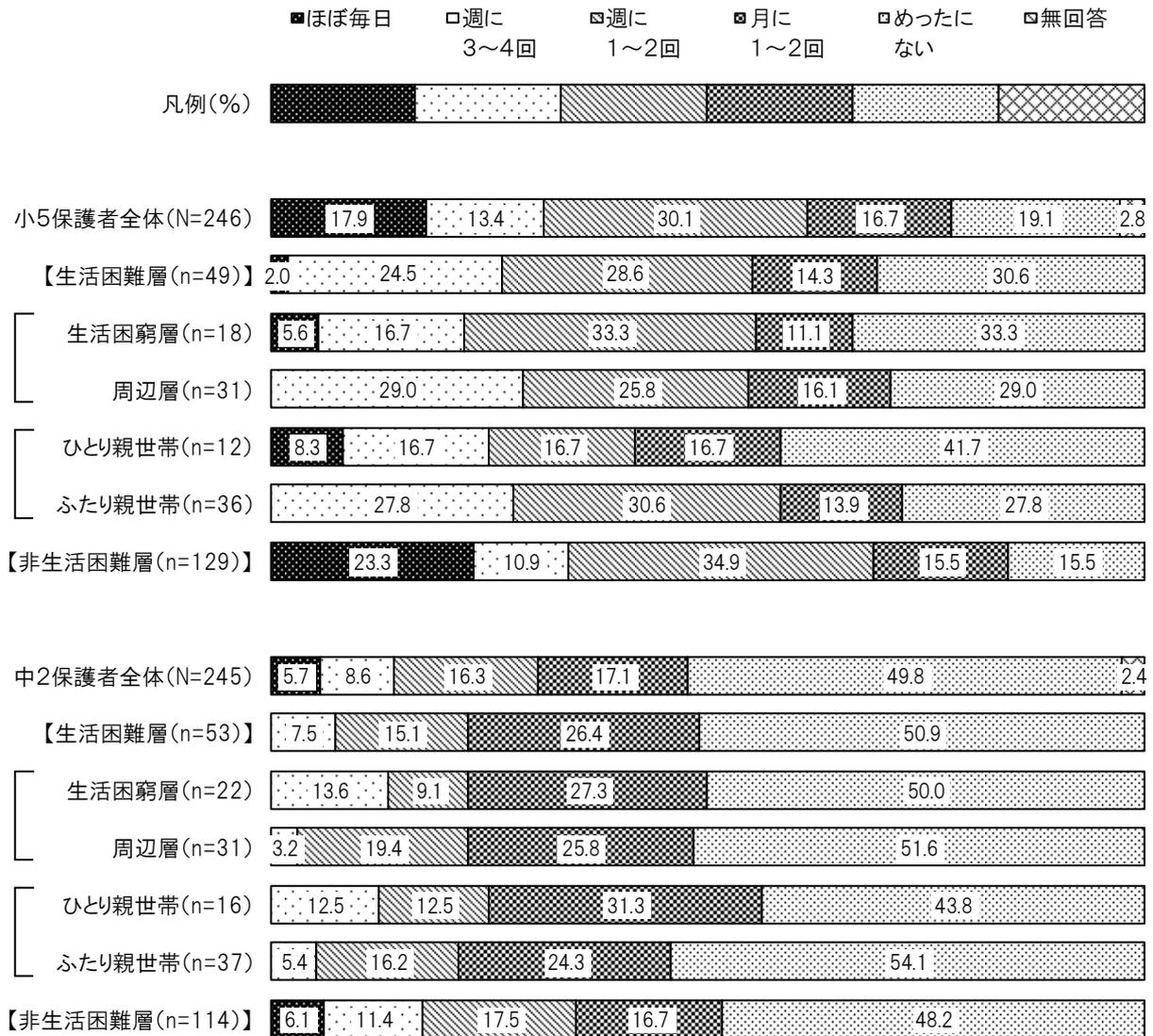


中学2年保護者全体では、「ほぼ毎日」の割合が高い順に「E 学校生活の話をする」(58.8%)、「H テレビ番組(ニュースを除く)の話をする」(31.8%)、「F 勉強や成績の話をする」(25.7%)となっている。一方、「めったにない」では「C コンピュータゲームで遊ぶ」(75.5%)、「D カードゲームなどで遊ぶ」(72.7%)、「B からだを動かして遊ぶ」(51.8%)などがあげられる。



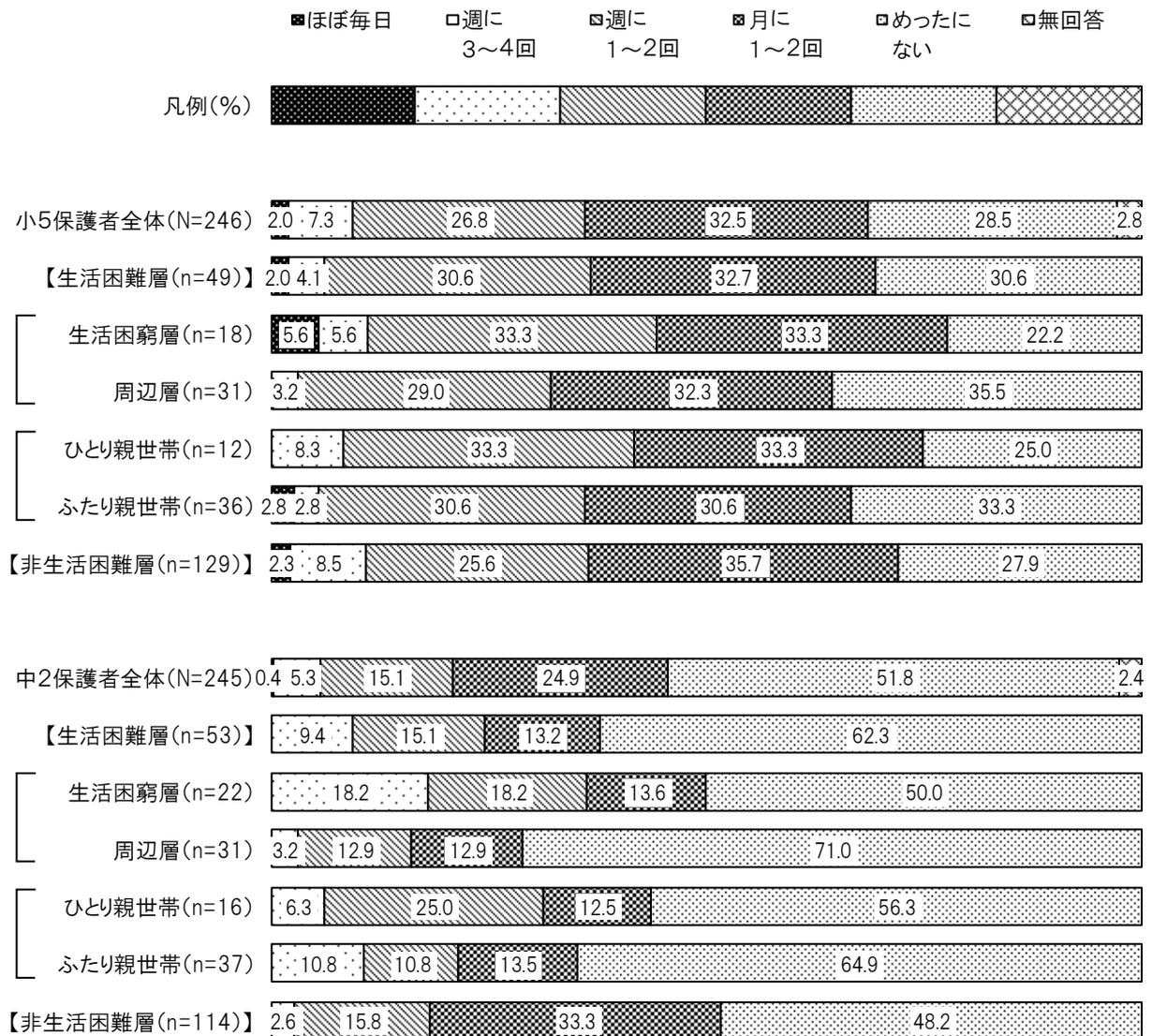
## A 勉強をみる

勉強をみることについて「ほぼ毎日」「週に3～4回」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で22.3%、周辺層で29.0%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で13.6%、周辺層で3.2%となっている。



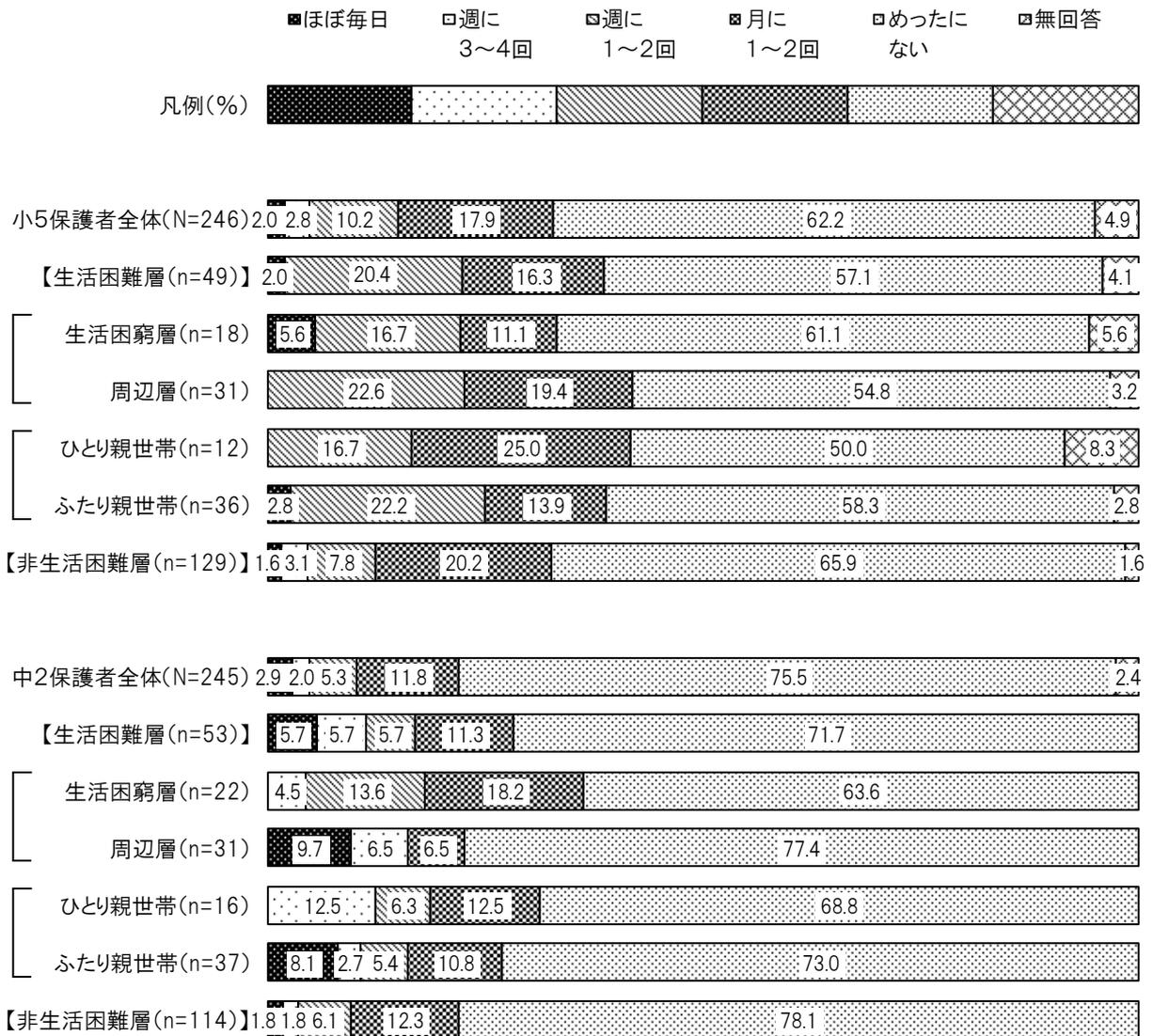
## B からだを動かして遊ぶ

からだを動かして遊ぶことについて「めったにない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で22.2%、周辺層で35.5%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で50.0%、周辺層で71.0%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。



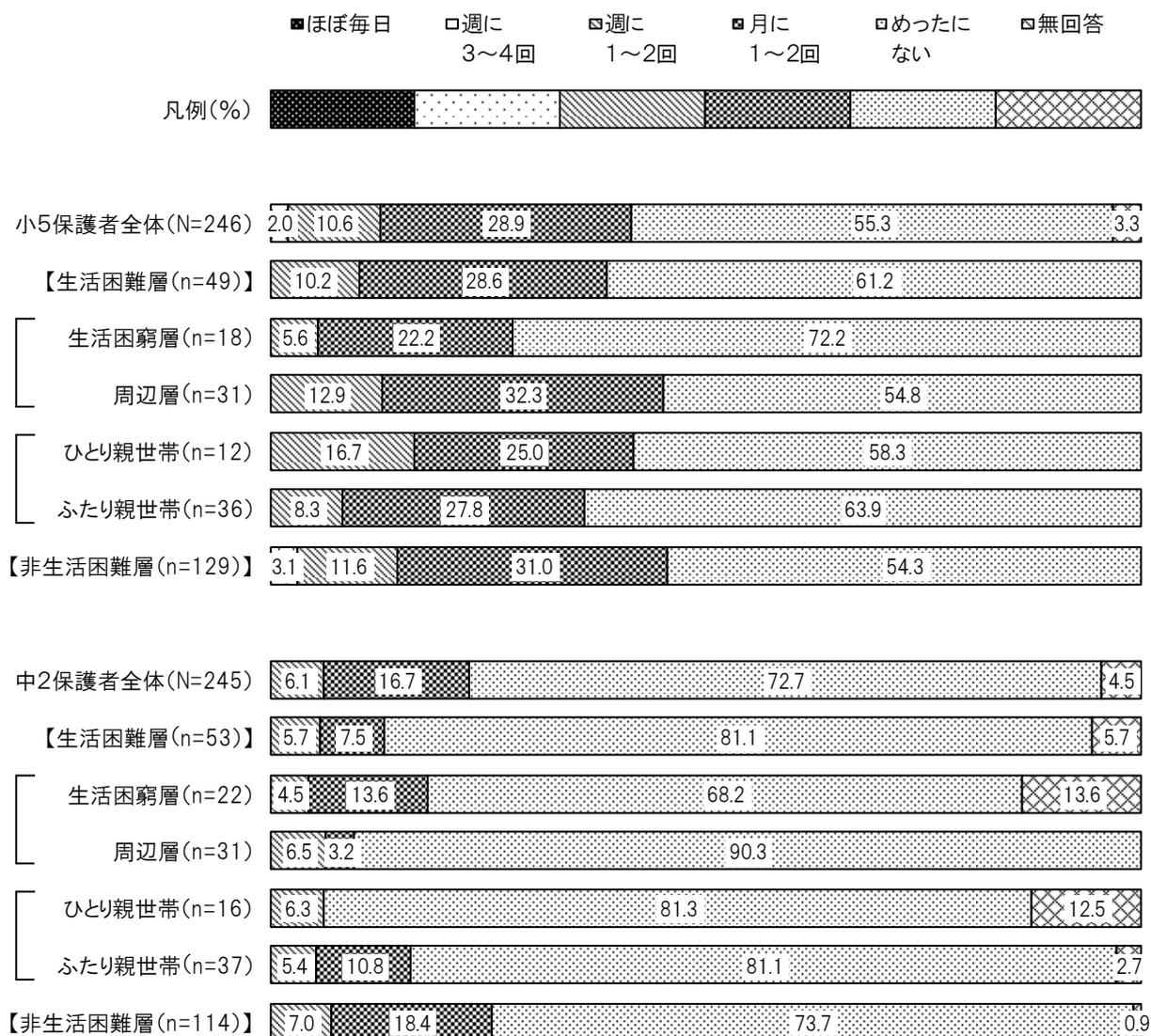
### C コンピュータゲームで遊ぶ

コンピュータゲームで遊ぶことについて「めったにない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で61.1%、周辺層で54.8%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で63.6%、周辺層で77.4%となっている。



## D カードゲームなどで遊ぶ

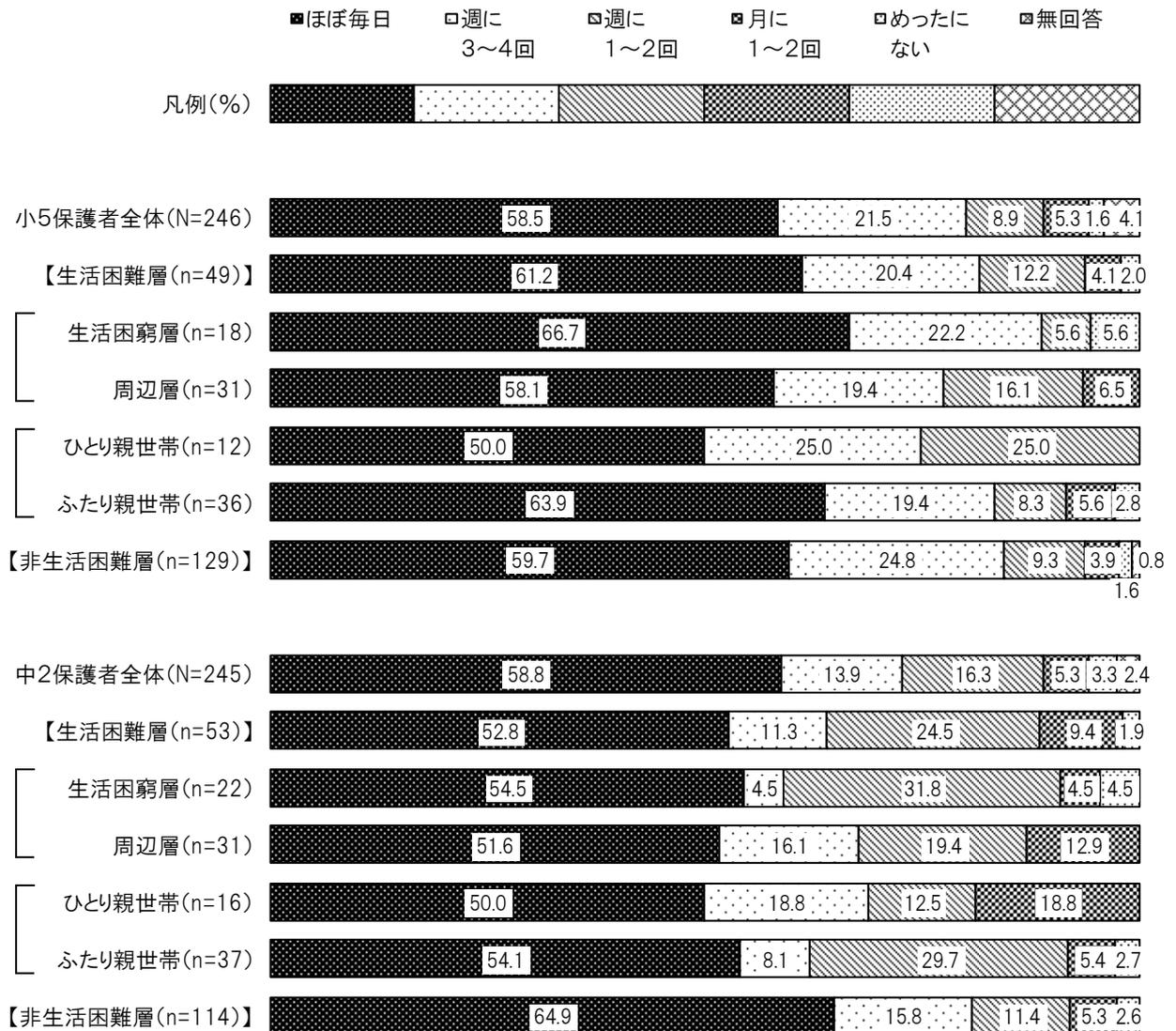
カードゲームなどで遊ぶことについて「めったにない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で72.2%、周辺層で54.8%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で68.2%、周辺層で90.3%となっている。



## E 学校生活の話をする

学校生活の話をするについて「ほぼ毎日」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で66.7%、周辺層で58.1%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で54.5%、周辺層で51.6%となっている。

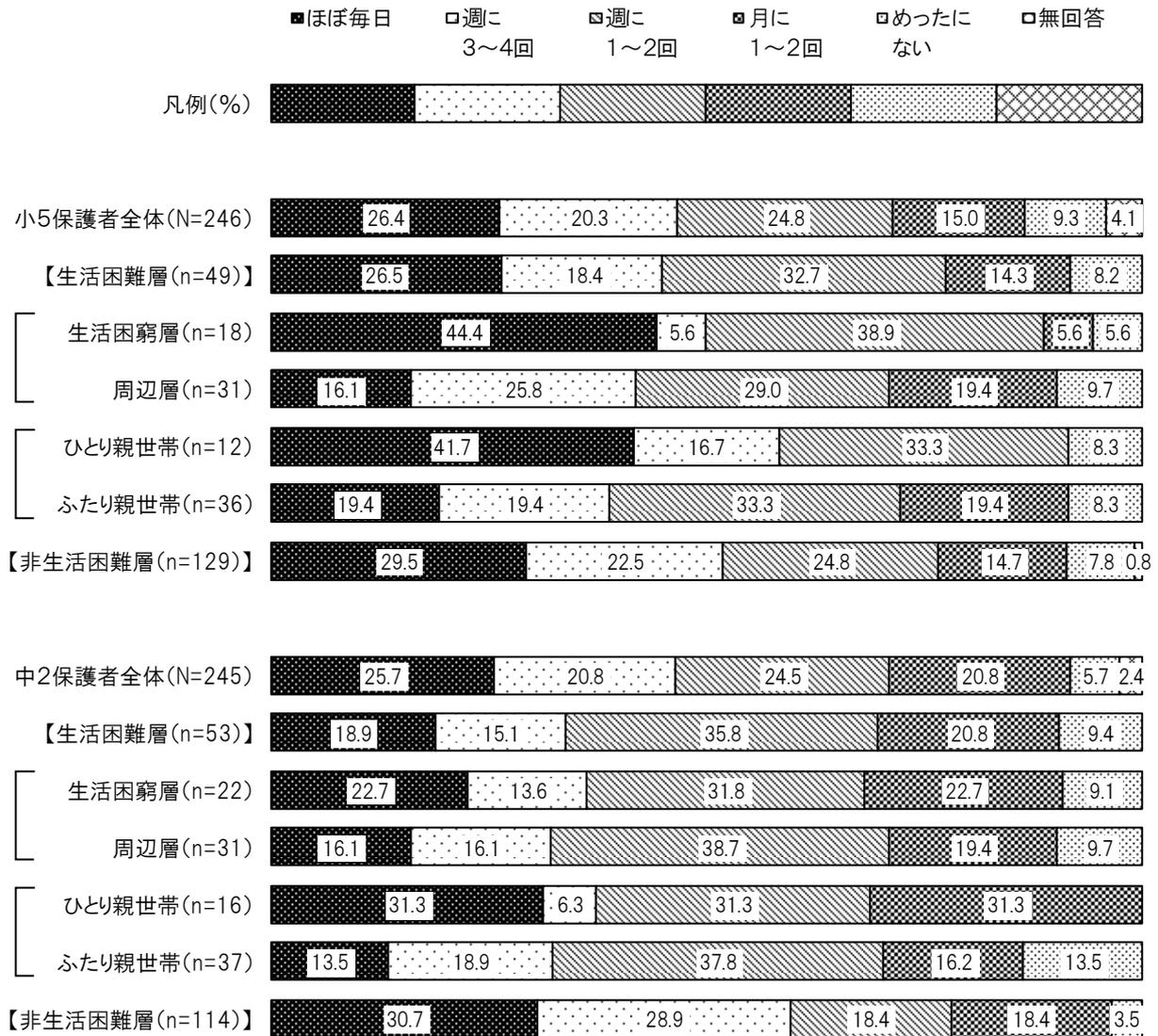
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「ほぼ毎日」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



## F 勉強や成績の話をする

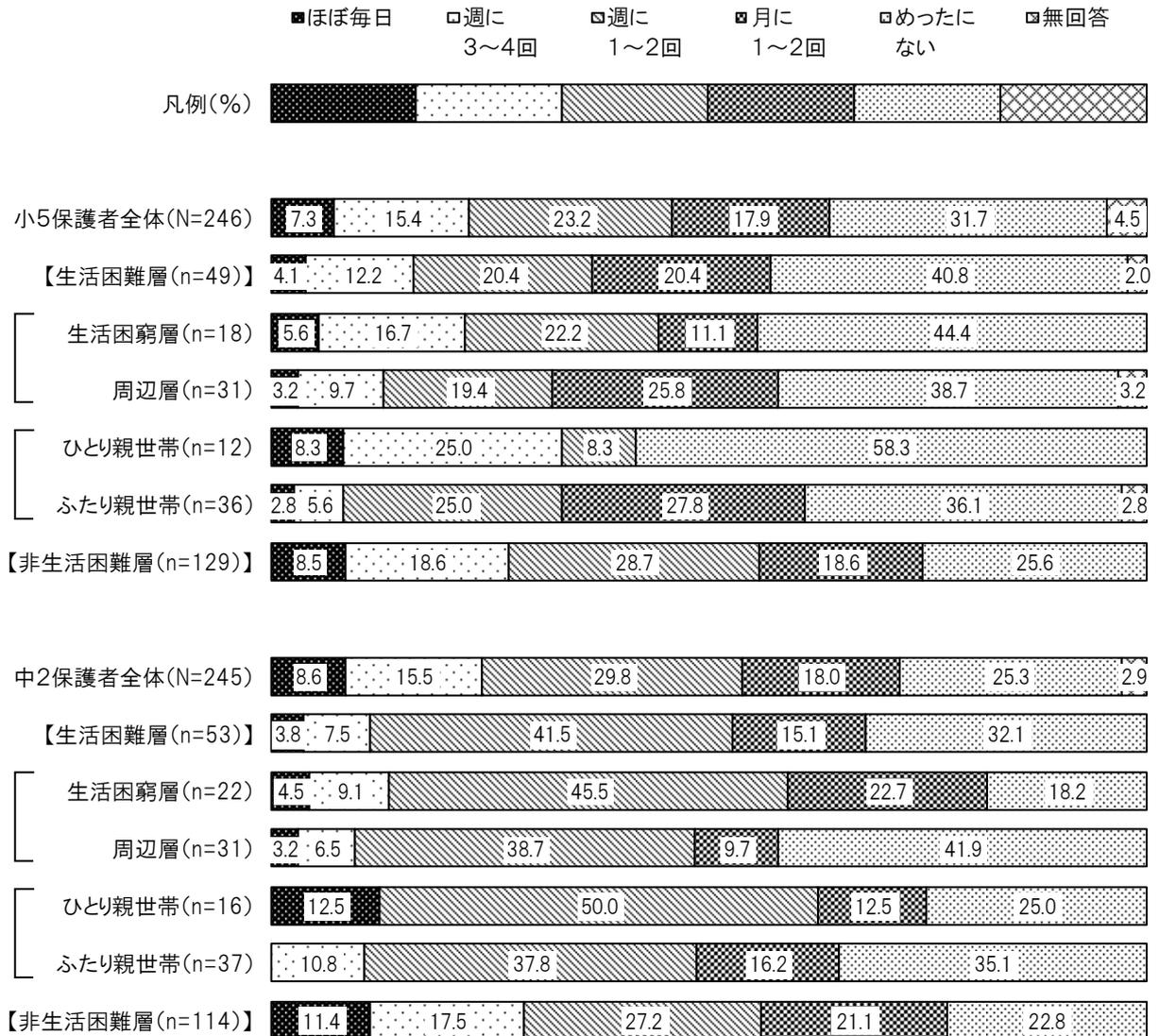
勉強や成績の話をするについて「ほぼ毎日」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で44.4%、周辺層で16.1%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年保護者では、生活困窮層で22.7%、周辺層で16.1%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「ほぼ毎日」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



## G 政治経済・社会問題などのニュースの話をする

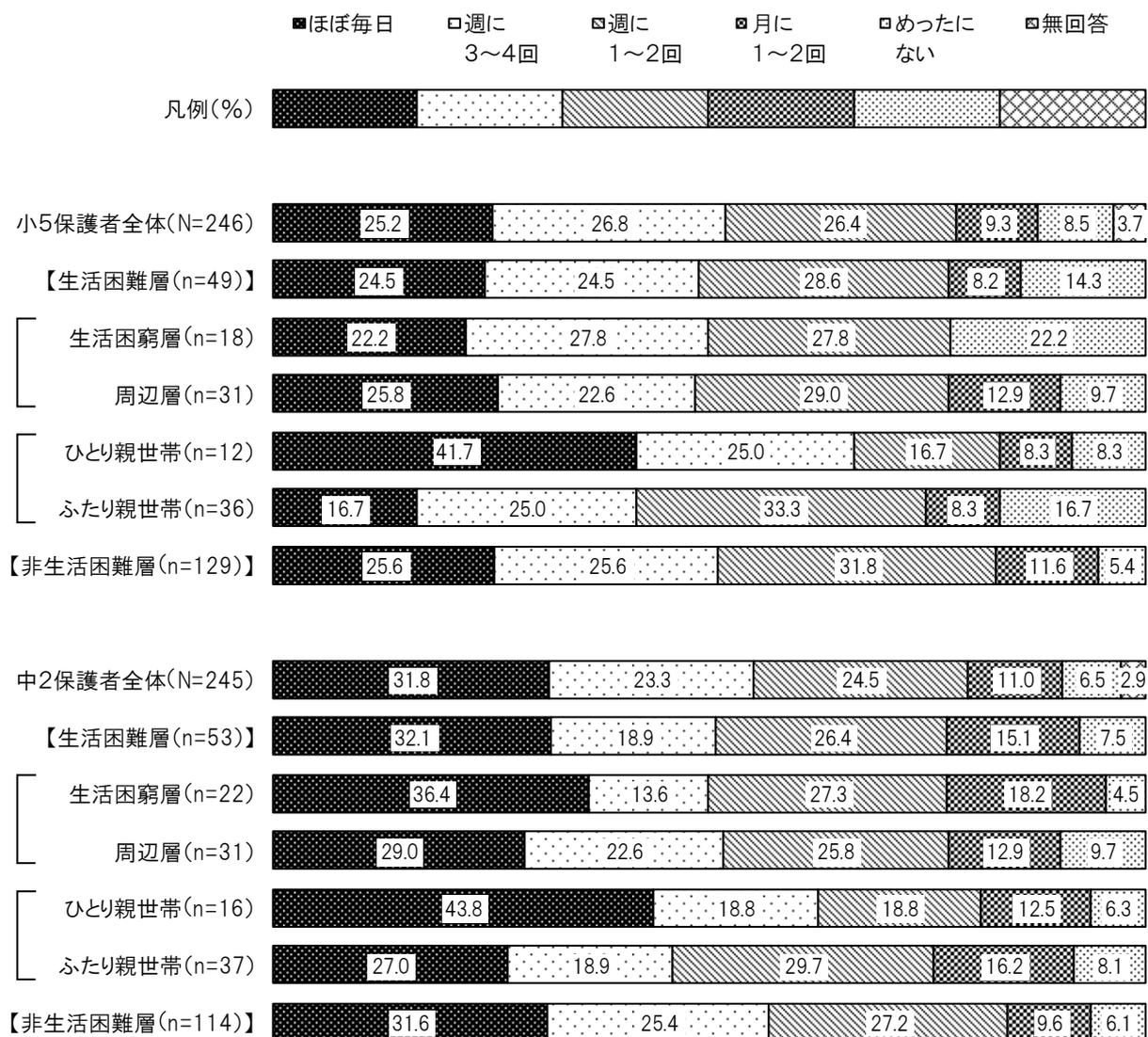
政治経済・社会問題などのニュースの話をすることについて「めったにない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で44.4%、周辺層で38.7%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で18.2%、周辺層で41.9%となっており、生活困窮層で低くなっている。



## H テレビ番組（ニュースを除く）の話をする

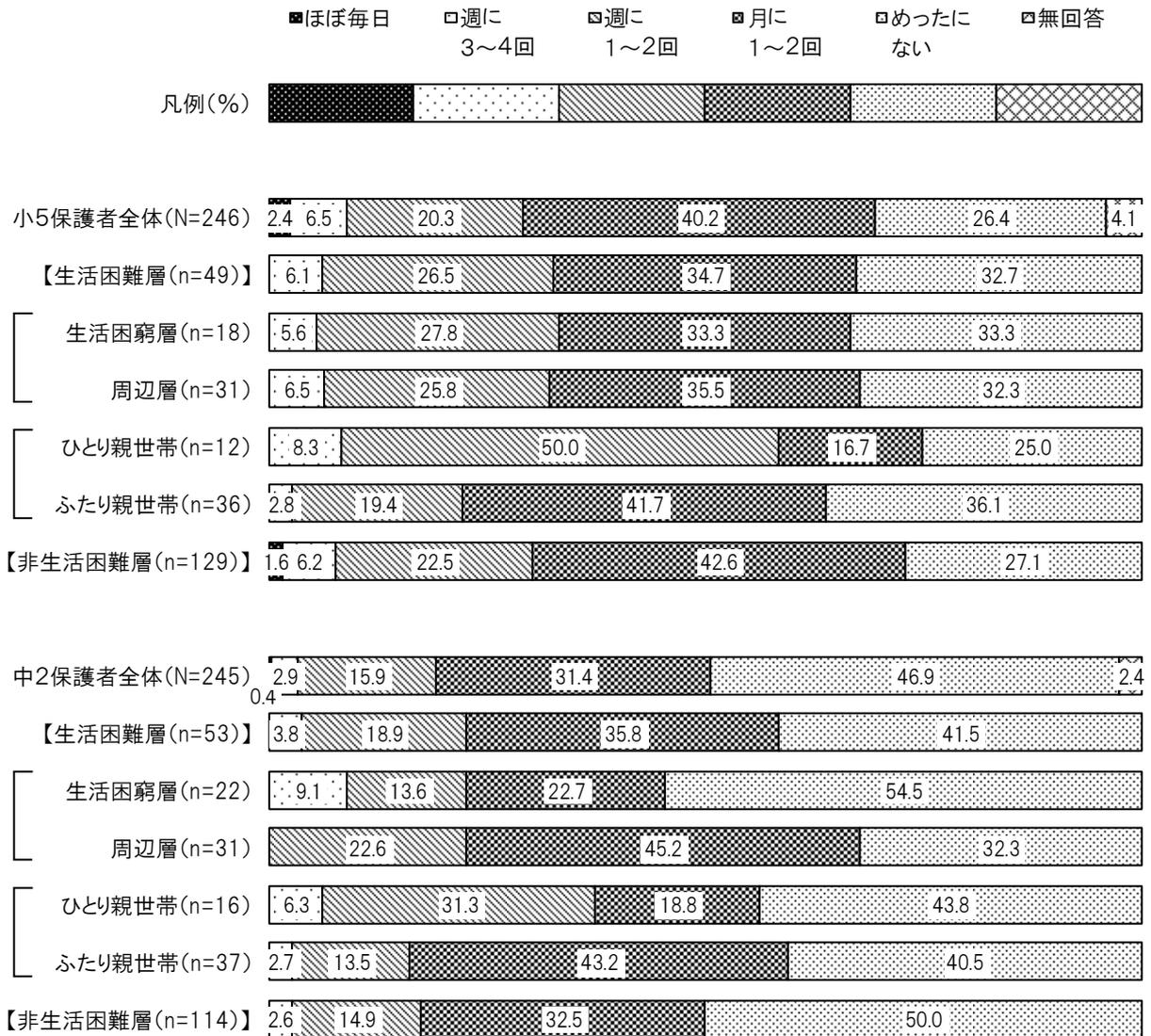
テレビ番組（ニュースを除く）の話をすることについて「ほぼ毎日」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で22.2%、周辺層で25.8%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で36.4%、周辺層で29.0%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「ほぼ毎日」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



## I 一緒に料理をする

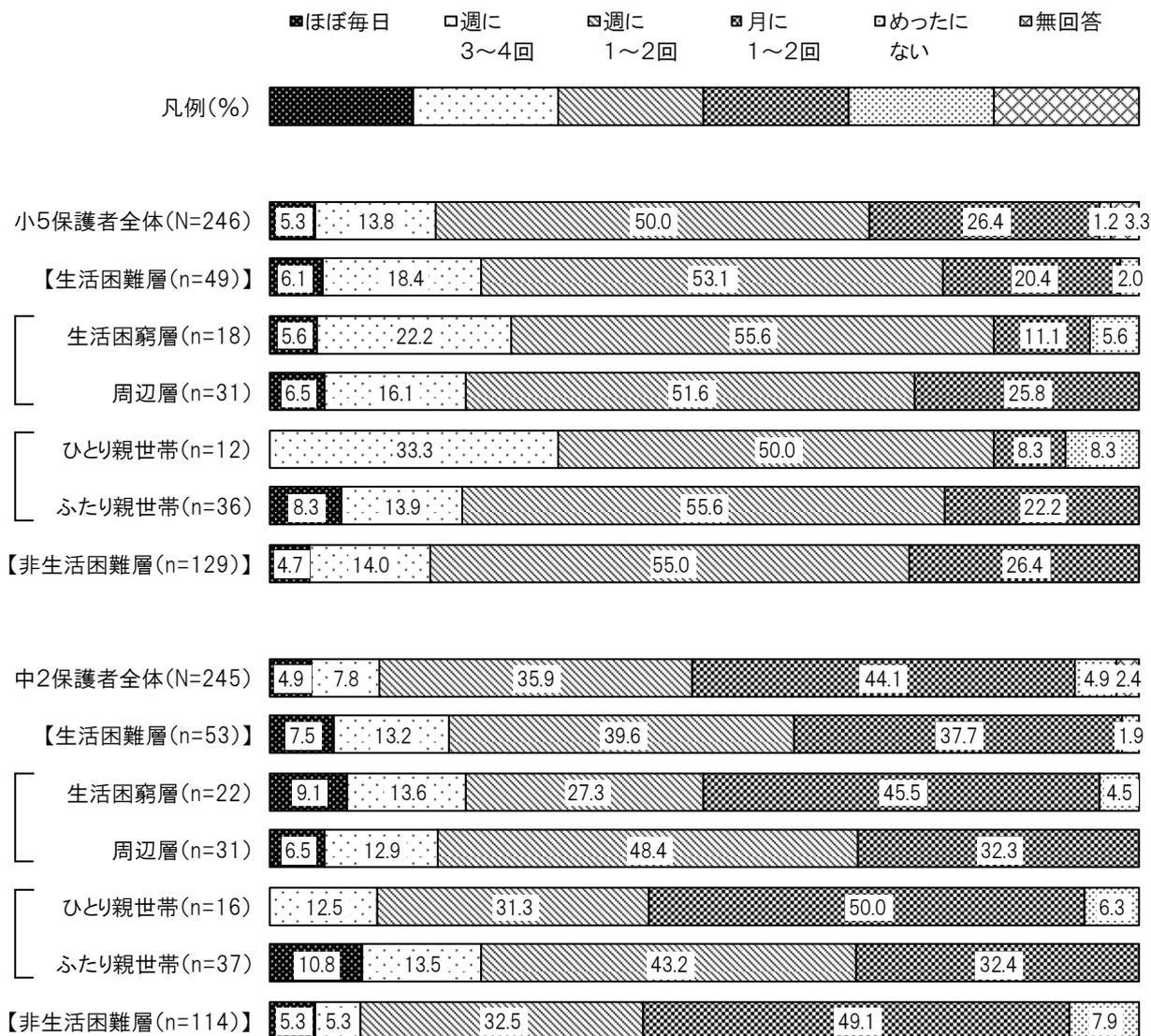
一緒に料理をすることについて「めったにない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で33.3%、周辺層で32.3%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で54.5%、周辺層で32.3%となっており、周辺層で低くなっている。



## J 一緒に外出をする

一緒に外出をすることについて「月に1～2回」「めったにない」の合計は、小学5年保護者の生活困窮層で16.7%、周辺層で25.8%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で50.0%、周辺層で32.3%となっており、生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「月に1～2回」「めったにない」の合計がふたり親世帯を大きく上回っている。



## 【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「ほぼ毎日」の割合が高い順に、「E 学校生活の話をする」「H テレビ番組の話をする」「A 勉強をみる」「F 勉強や成績の話をする」などとなっている。

問24 子供と関わる頻度/A 勉強をみる	回答割合(%)	回答件数
ほぼ毎日	24.5	12
週に3~4回	4.1	2
週に1~2回	12.2	6
月に1~2回	12.2	6
めったにない	40.8	20
無回答	6.1	3
全体	100.0	49

問24 子供と関わる頻度/B からだを動かして遊ぶ	回答割合(%)	回答件数
ほぼ毎日	4.1	2
週に3~4回	2.0	1
週に1~2回	16.3	8
月に1~2回	18.4	9
めったにない	55.1	27
無回答	4.1	2
全体	100.0	49

問24 子供と関わる頻度/C コンピュータゲームで遊ぶ	回答割合(%)	回答件数
ほぼ毎日	2.0	1
週に3~4回	2.0	1
週に1~2回	8.2	4
月に1~2回	10.2	5
めったにない	73.5	36
無回答	4.1	2
全体	100.0	49

問24 子供と関わる頻度/D カードゲームなどで遊ぶ	回答割合(%)	回答件数
ほぼ毎日	2.0	1
週に3~4回	2.0	1
週に1~2回	6.1	3
月に1~2回	20.4	10
めったにない	65.3	32
無回答	4.1	2
全体	100.0	49

問24 子供と関わる頻度/E 学校生活の話をする	回答割合(%)	回答件数
ほぼ毎日	61.2	30
週に3~4回	20.4	10
週に1~2回	6.1	3
月に1~2回	6.1	3
めったにない	2.0	1
無回答	4.1	2
全体	100.0	49

問24 子供と関わる頻度／F 勉強や成績の話をする	回答割合(%)	回答件数
ほぼ毎日	20.4	10
週に3～4回	18.4	9
週に1～2回	26.5	13
月に1～2回	10.2	5
めったにない	20.4	10
無回答	4.1	2
全体	100.0	49

問24 子供と関わる頻度／G 政治経済・社会問題などのニュースの話をする	回答割合(%)	回答件数
ほぼ毎日	6.1	3
週に3～4回	12.2	6
週に1～2回	20.4	10
月に1～2回	16.3	8
めったにない	38.8	19
無回答	6.1	3
全体	100.0	49

問24 子供と関わる頻度／H テレビ番組の話をする	回答割合(%)	回答件数
ほぼ毎日	30.6	15
週に3～4回	26.5	13
週に1～2回	18.4	9
月に1～2回	10.2	5
めったにない	10.2	5
無回答	4.1	2
全体	100.0	49

問24 子供と関わる頻度／I 一緒に料理をする	回答割合(%)	回答件数
ほぼ毎日	4.1	2
週に3～4回	6.1	3
週に1～2回	6.1	3
月に1～2回	20.4	10
めったにない	59.2	29
無回答	4.1	2
全体	100.0	49

問24 子供と関わる頻度／J 一緒に外出をする	回答割合(%)	回答件数
ほぼ毎日	8.2	4
週に3～4回	12.2	6
週に1～2回	36.7	18
月に1～2回	34.7	17
めったにない	6.1	3
無回答	2.0	1
全体	100.0	49

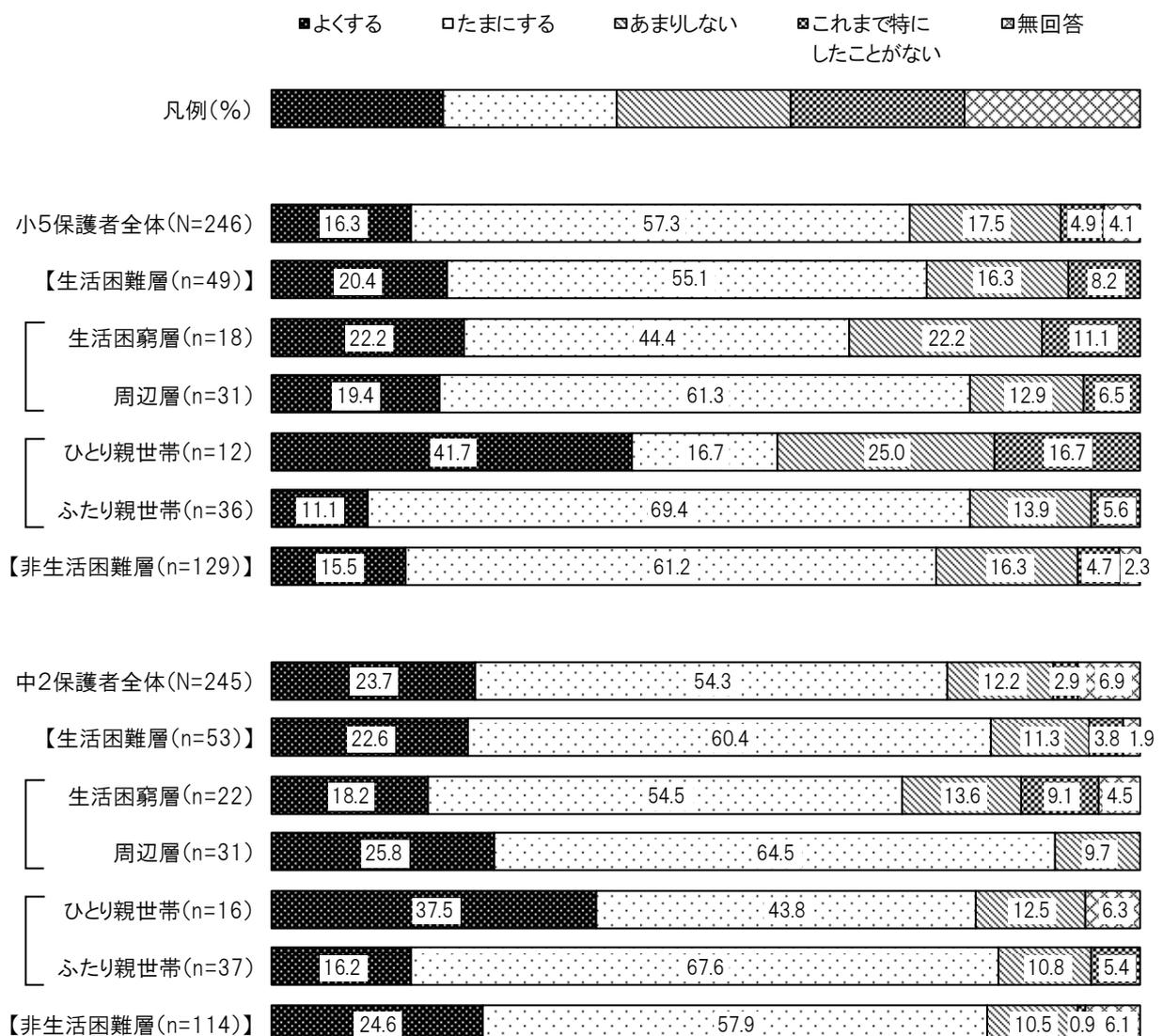
## (2) 子供の将来についての会話

保／問 26 あなたは、お子さんの将来（夢・進路・職業等）について、お子さんと一緒に考えたり、話したりすることがありますか。（あてはまる番号1つに○）

子供の将来についての会話については、小学5年保護者全体では「よくする」の割合が16.3%、中学2年保護者全体では23.7%となっている。一方、「あまりしない」「これまで特にしたことがない」の合計は、小学5年保護者全体では22.4%、中学2年保護者全体では15.1%となっている。

生活困難度別にみた「あまりしない」「これまで特にしたことがない」の合計は、小学5年保護者の生活困窮層で33.3%、中学2年保護者で22.7%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「よくする」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



### 【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

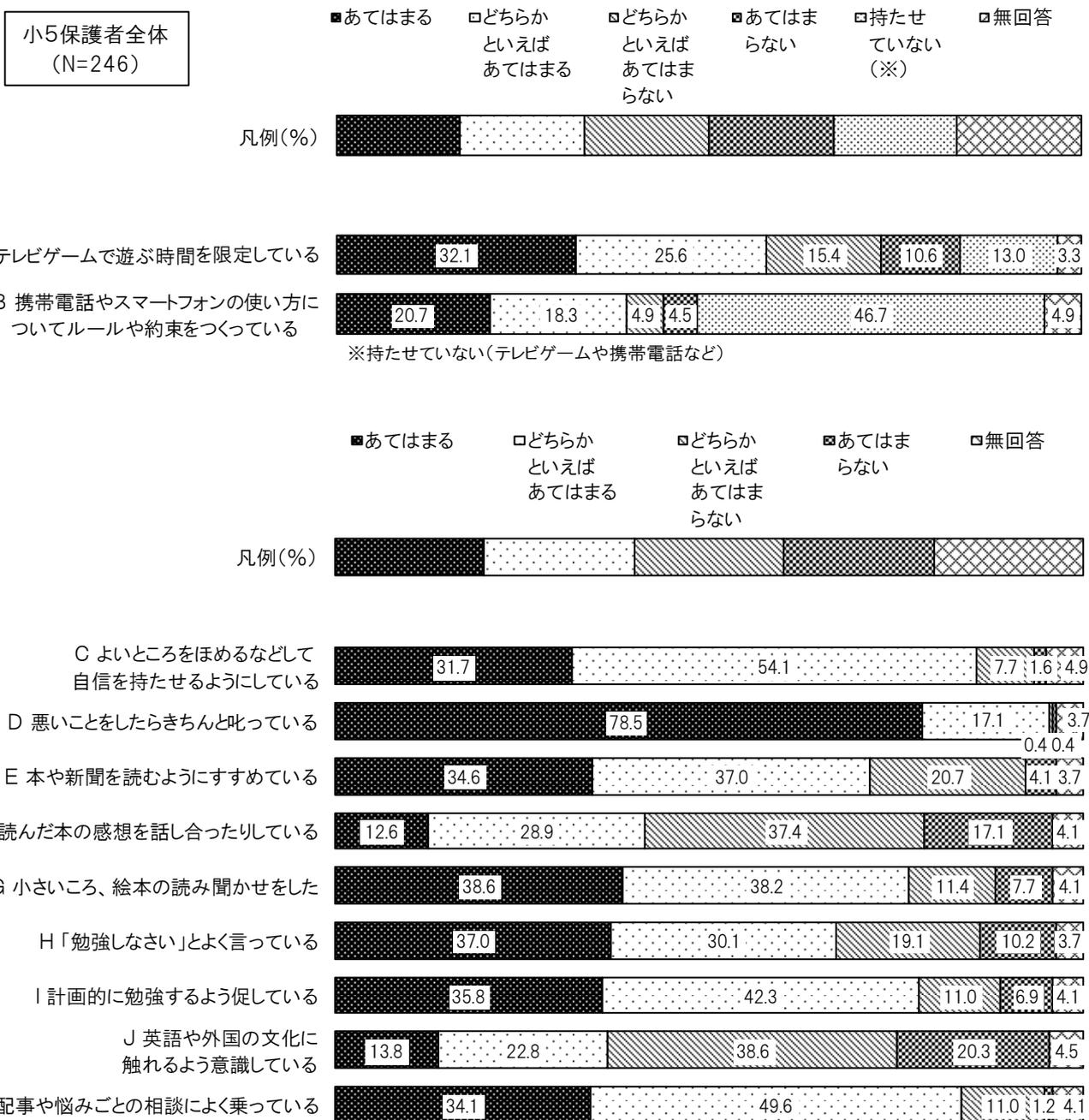
児童扶養手当受給者においては、「たまにする」が約4割、「よくする」が約3割となっている。

問25 子供の将来について、一緒に考えたり話したりする頻度	回答割合(%)	回答件数
よくする	30.6	15
たまにする	40.8	20
あまりしない	12.2	6
これまで特にしたことがない	8.2	4
無回答	8.2	4
全体	100.0	49

## 【6】子供のしつけ

保／問 28 あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。  
 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

こどものしつけについては、小学5年保護者全体では「あてはまる」の割合が高い順に「D 悪いことをしたらきちんと叱っている」(78.5%)、「G 小さいころ、絵本の読み聞かせをした」(38.6%)、「H 勉強しなさいとよく言っている」(37.0%)となっている。一方、「あてはまらない」では「J 英語や外国の文化に触れるよう意識している」(20.3%)、「F 読んだ本の感想を話し合ったりしている」(17.1%)などがあげられる。

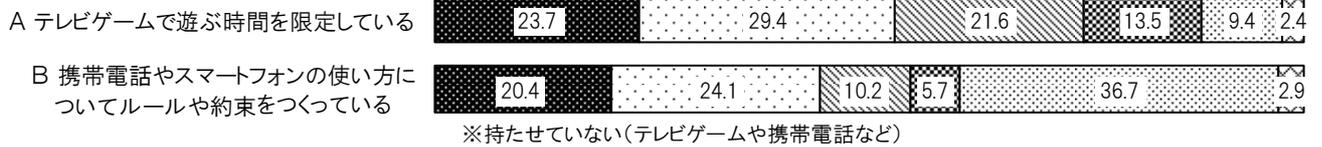


中学2年保護者全体では、「あてはまる」の割合が高い順に「D 悪いことをしたらきちんと叱っている」(72.2%)、「G 小さいころ、絵本の読み聞かせをした」(38.0%)、「H 勉強しなさいとよく言っている」(29.8%)となっている。一方、「あてはまらない」では「F 読んだ本の感想を話し合ったりしている」(28.2%)、「J 英語や外国の文化に触れるよう意識している」(21.6%)などがあげられる。

中2保護者全体  
(N=245)

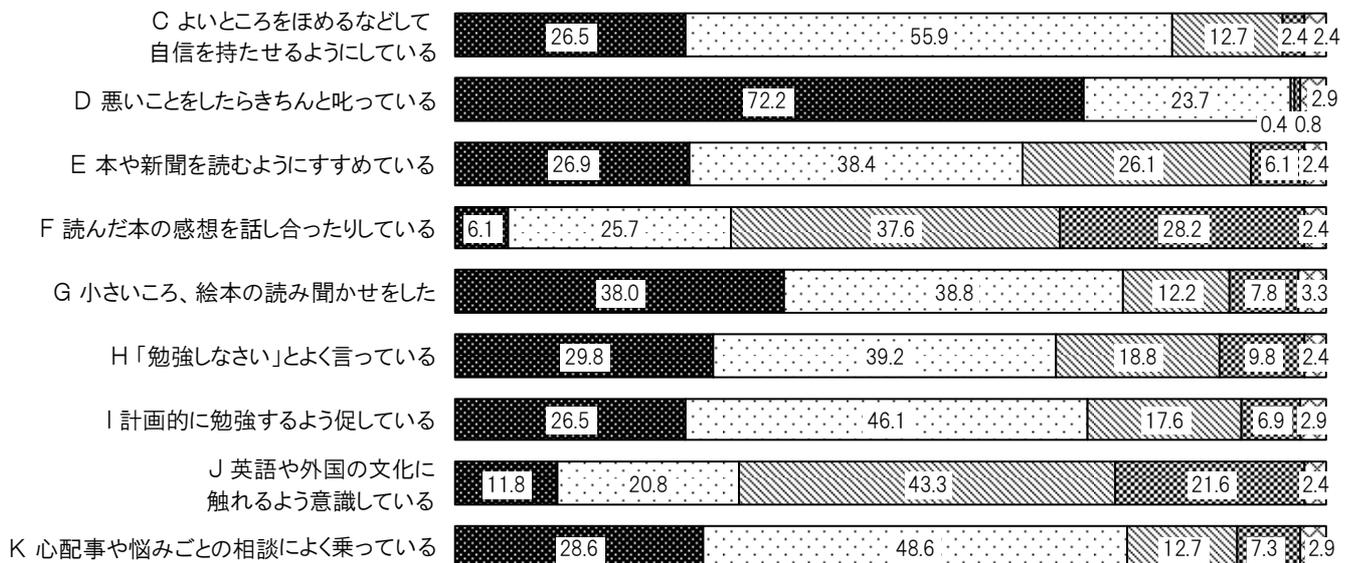
■あてはまる □どちらか  
                  といえ  
                  ばあては  
                  まる □どちらか  
                  といえ  
                  ばあては  
                  まらない □あてはま  
                  らない □持たせ  
                  ていない  
                  (※) □無回答

凡例(%)



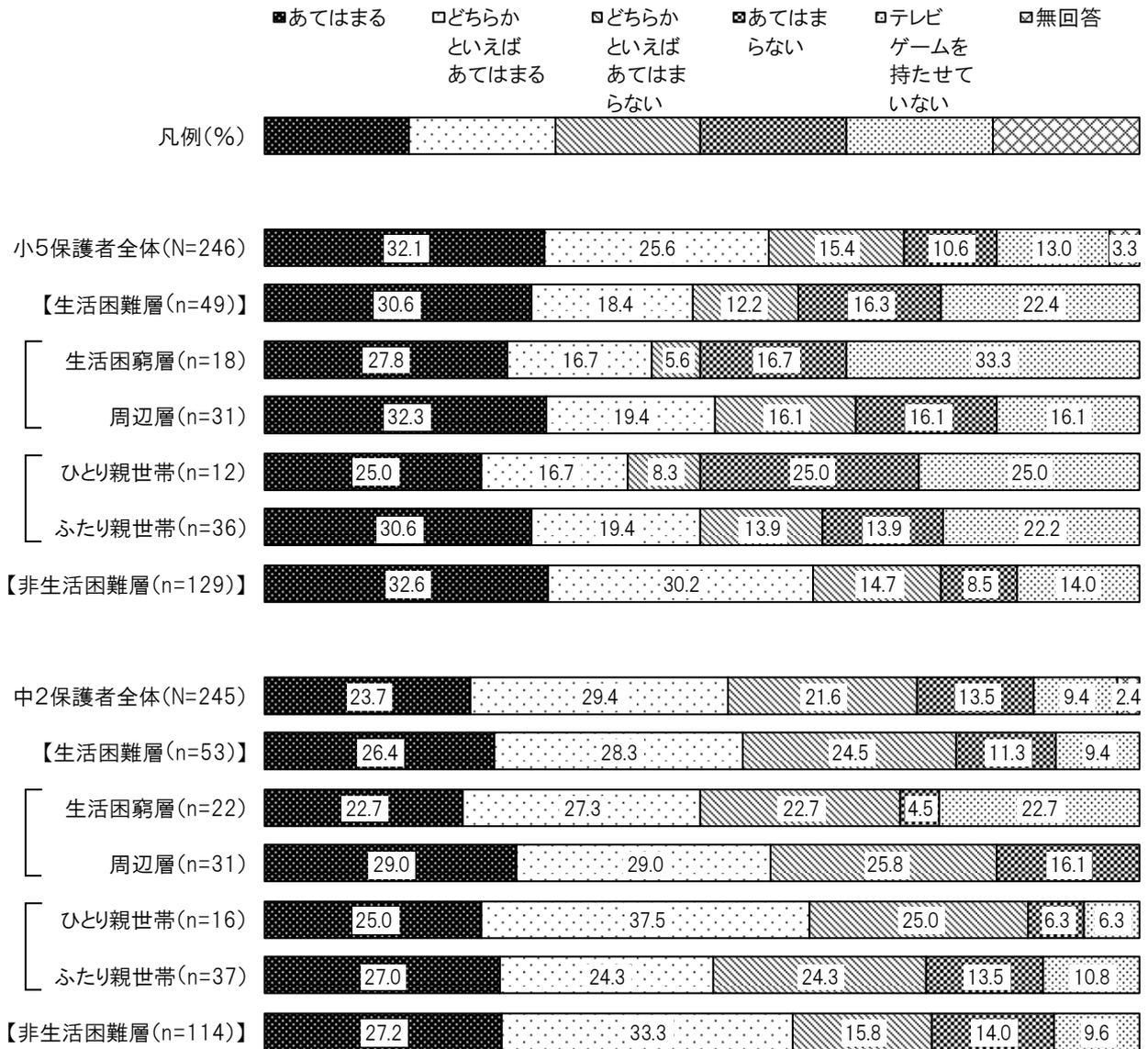
■あてはまる □どちらか  
                  といえ  
                  ばあては  
                  まる □どちらか  
                  といえ  
                  ばあては  
                  まらない □あてはま  
                  らない □無回答

凡例(%)



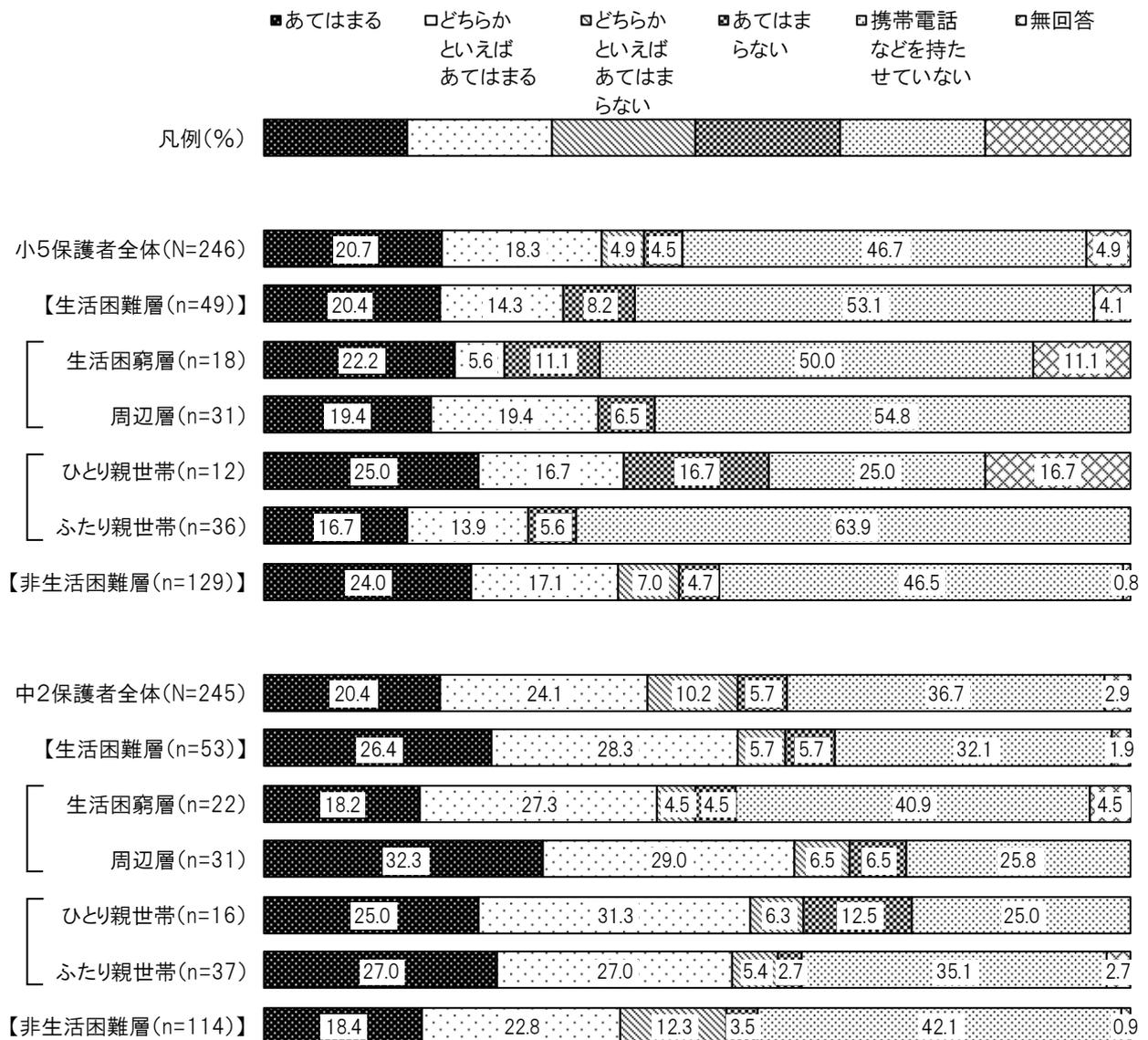
## A テレビゲームで遊ぶ時間を限定している

テレビゲームで遊ぶ時間を限定していることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で27.8%、周辺層で32.3%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で22.7%、周辺層で29.0%となっており、生活困難度が高い層ほどやや低くなっている。



## B 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている

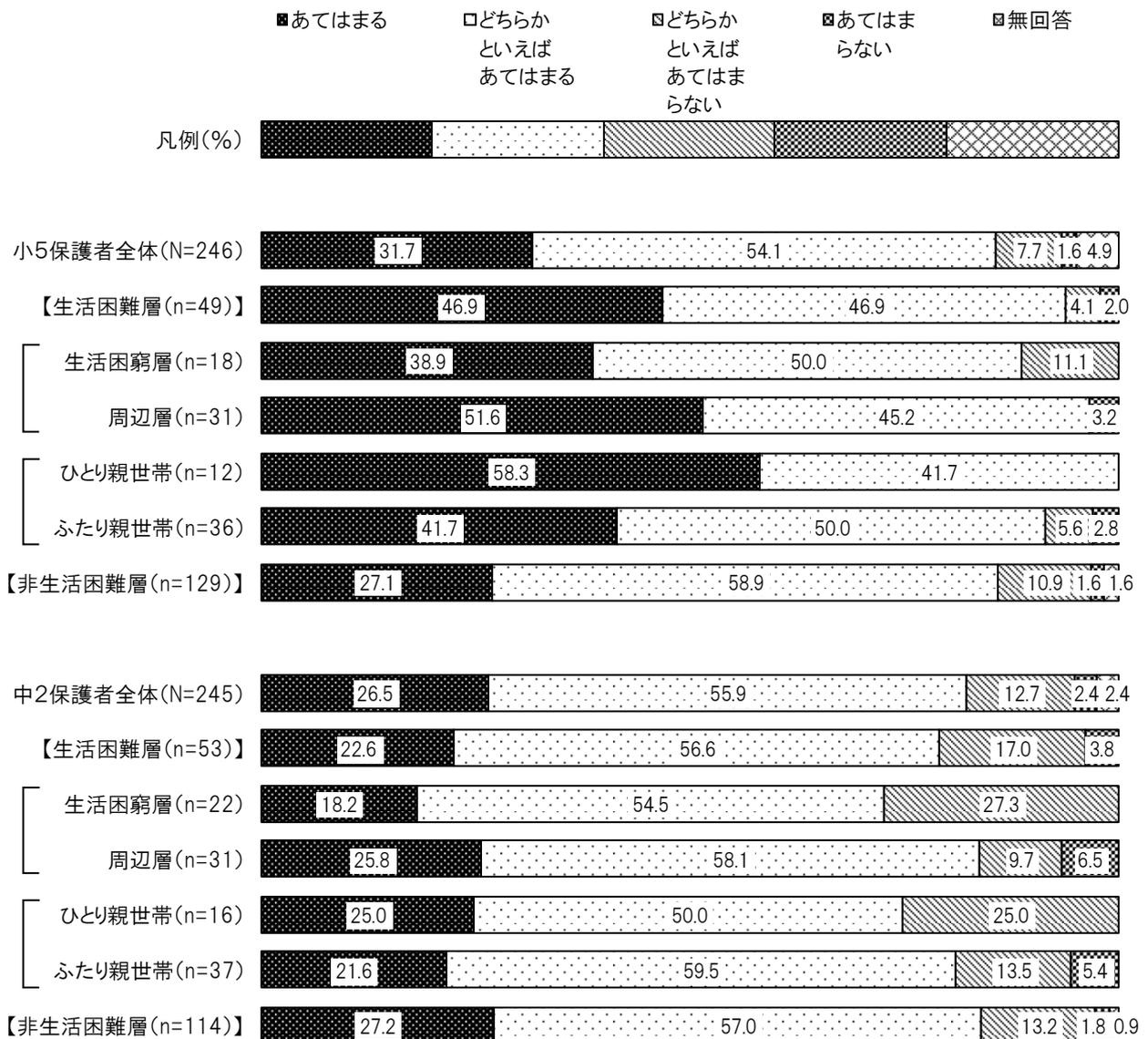
携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっていることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で22.2%、周辺層で19.4%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で18.2%、周辺層で32.3%となっており、周辺層で高くなっている。



### C よいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている

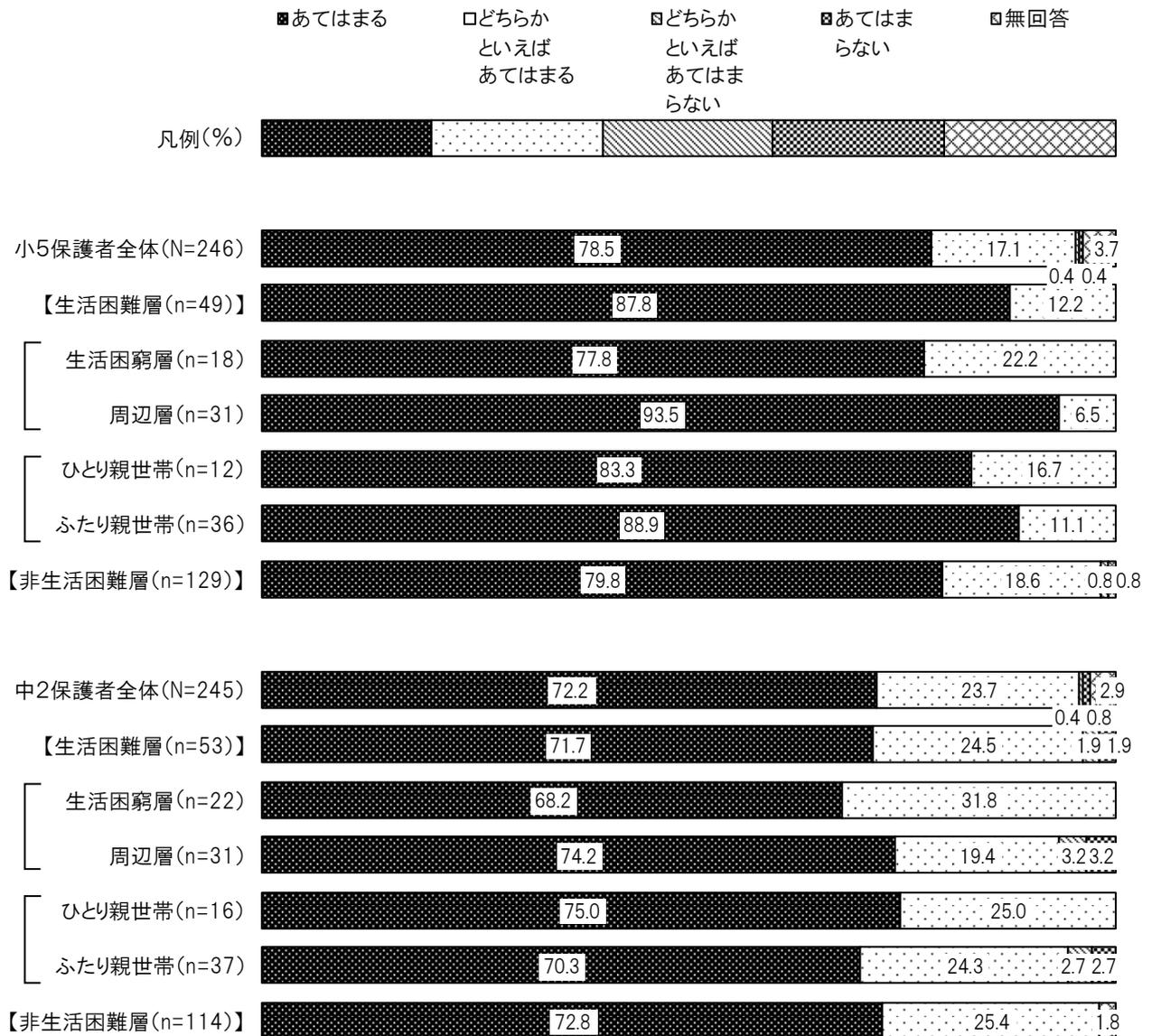
よいところをほめるなどして自信を持たせるようにしていることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で38.9%、周辺層で51.6%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で18.2%、周辺層で25.8%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では小学5年保護者のひとり親世帯で「あてはまる」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



## D 悪いことをしたらきちんと叱っている

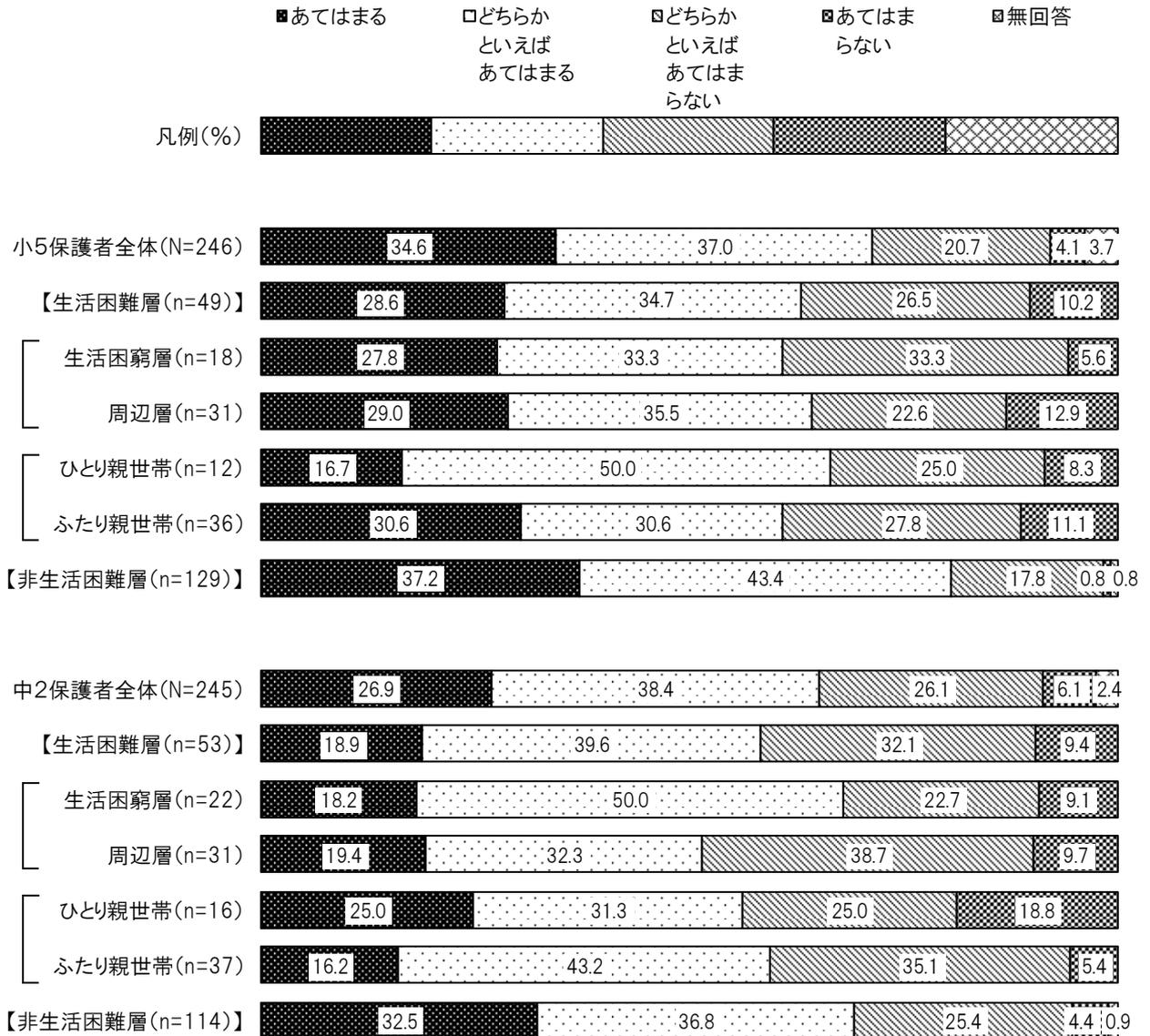
悪いことをしたらきちんと叱っていることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で77.8%、周辺層で93.5%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で68.2%、周辺層で74.2%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。



## E 本や新聞を読むようにすすめている

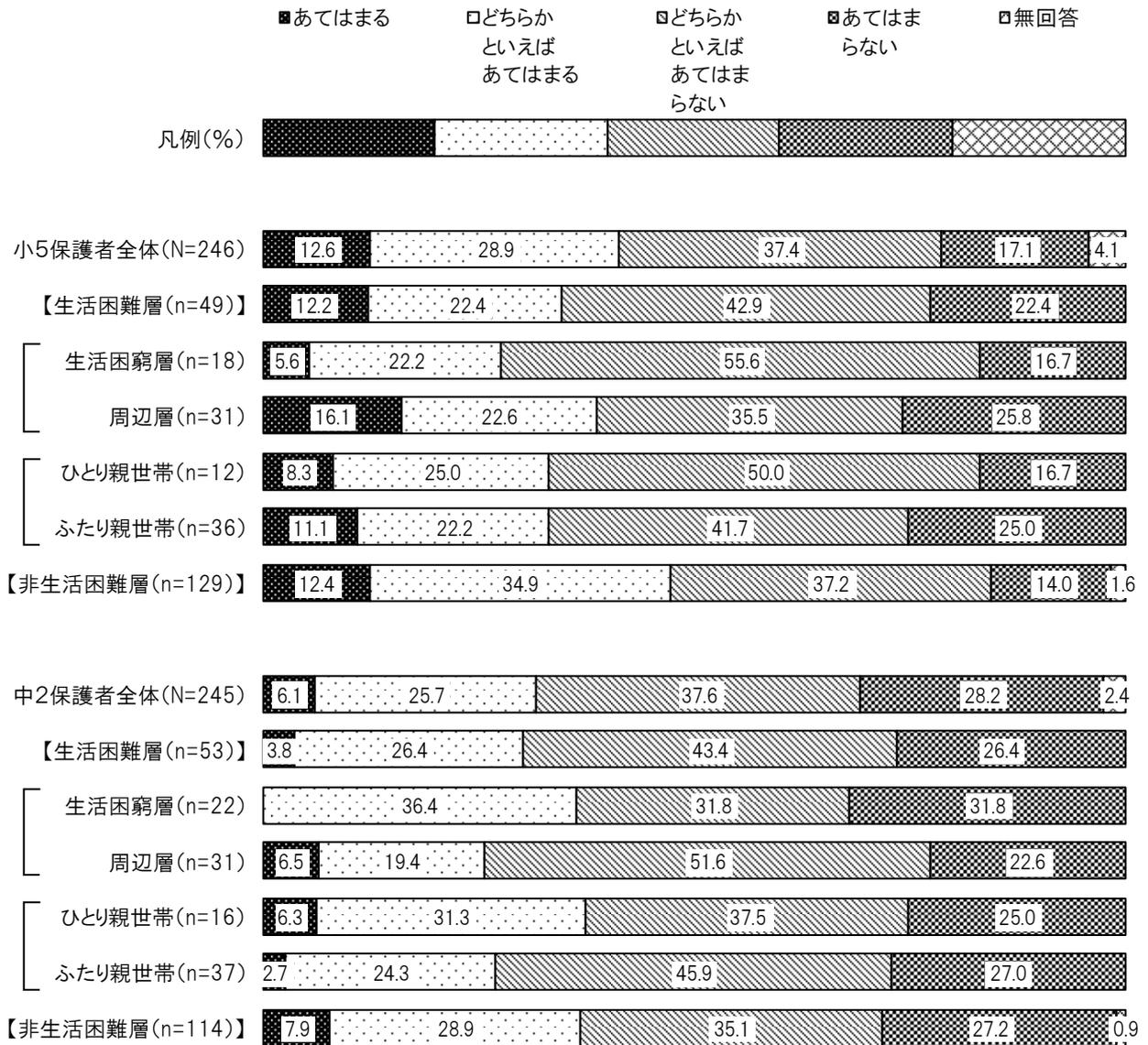
本や新聞を読むようにすすめていることについて「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の合計は、小学5年保護者の生活困窮層で38.9%、周辺層で35.5%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で31.8%、周辺層で48.4%となっており、生活困窮層で低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「あてはまる」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



## F 読んだ本の感想を話し合ったりしている

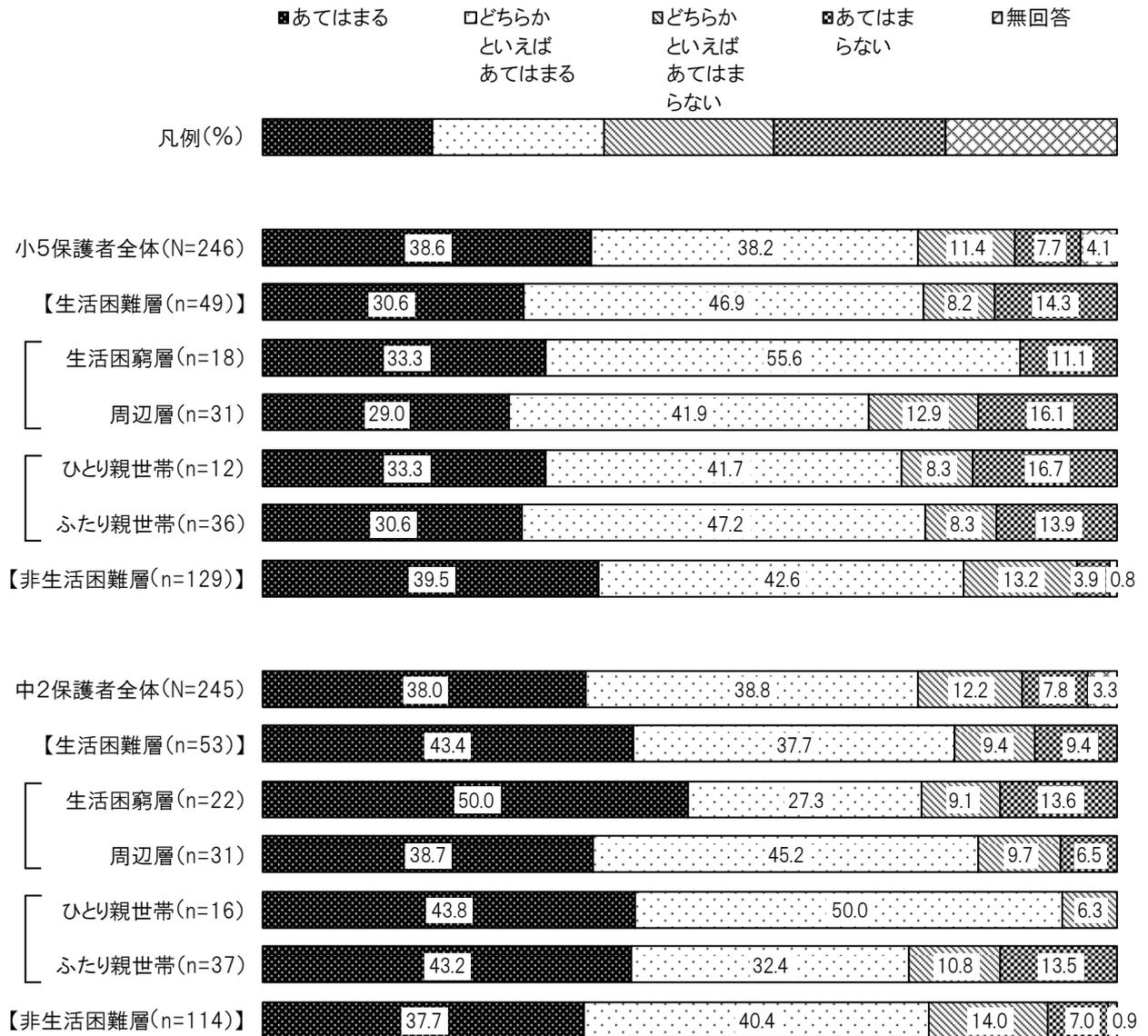
読んだ本の感想を話し合ったりしていることについて「あてはまらない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で16.7%、周辺層で25.8%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で31.8%、周辺層で22.6%となっている。



## G 小さいころ、絵本の読み聞かせをした

小さいころ、絵本の読み聞かせをしたことについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で33.3%、周辺層で29.0%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で50.0%、周辺層で38.7%となっており、生活困窮層で高くなっている。

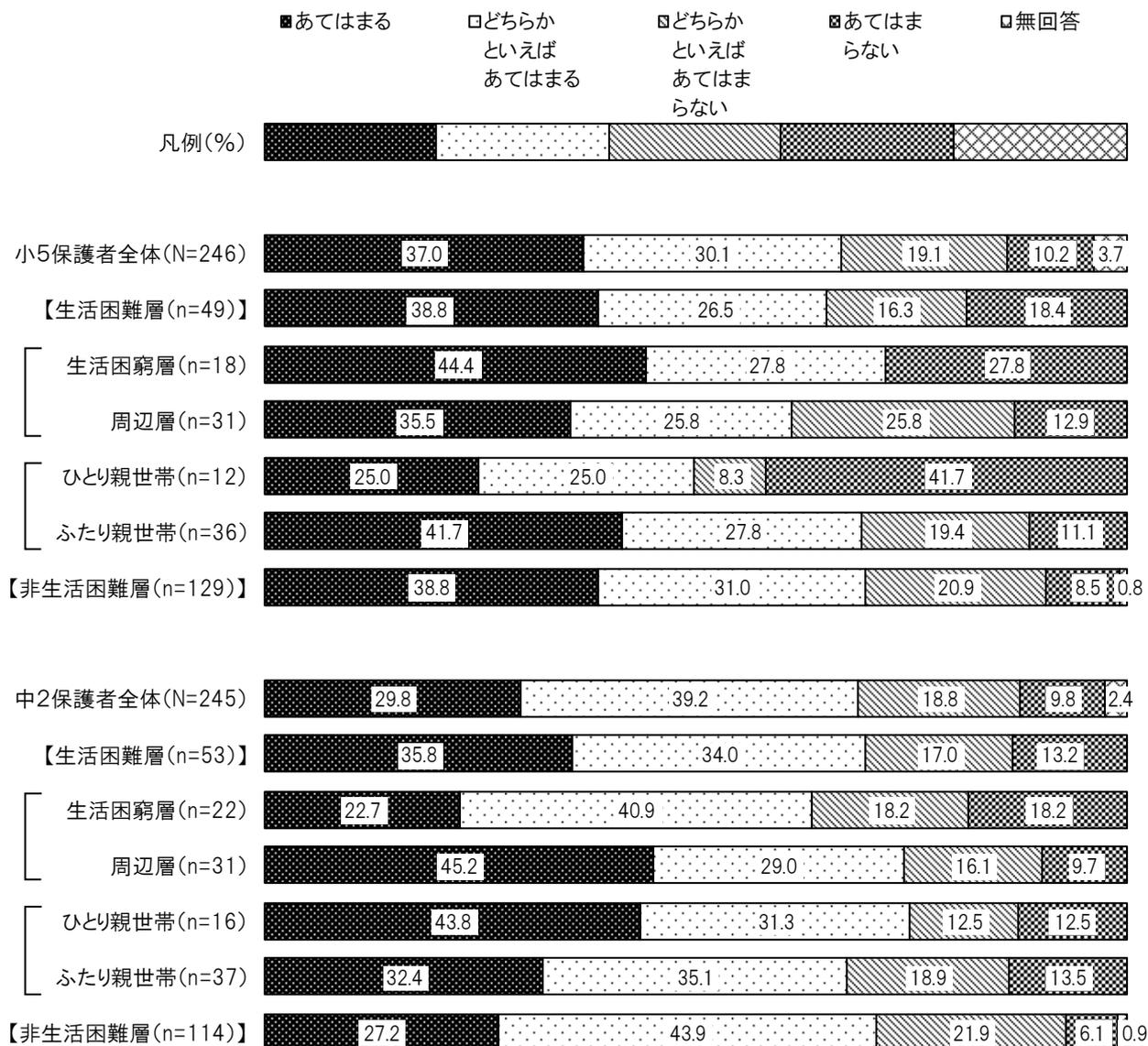
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のふたり親世帯で「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の合計がひとり親世帯に比べて高くなっている。



## H 「勉強しなさい」とよく言っている

「勉強しなさい」とよく言っていることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で44.4%、周辺層で35.5%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で22.7%、周辺層で45.2%となっており、生活困窮層で低くなっている。

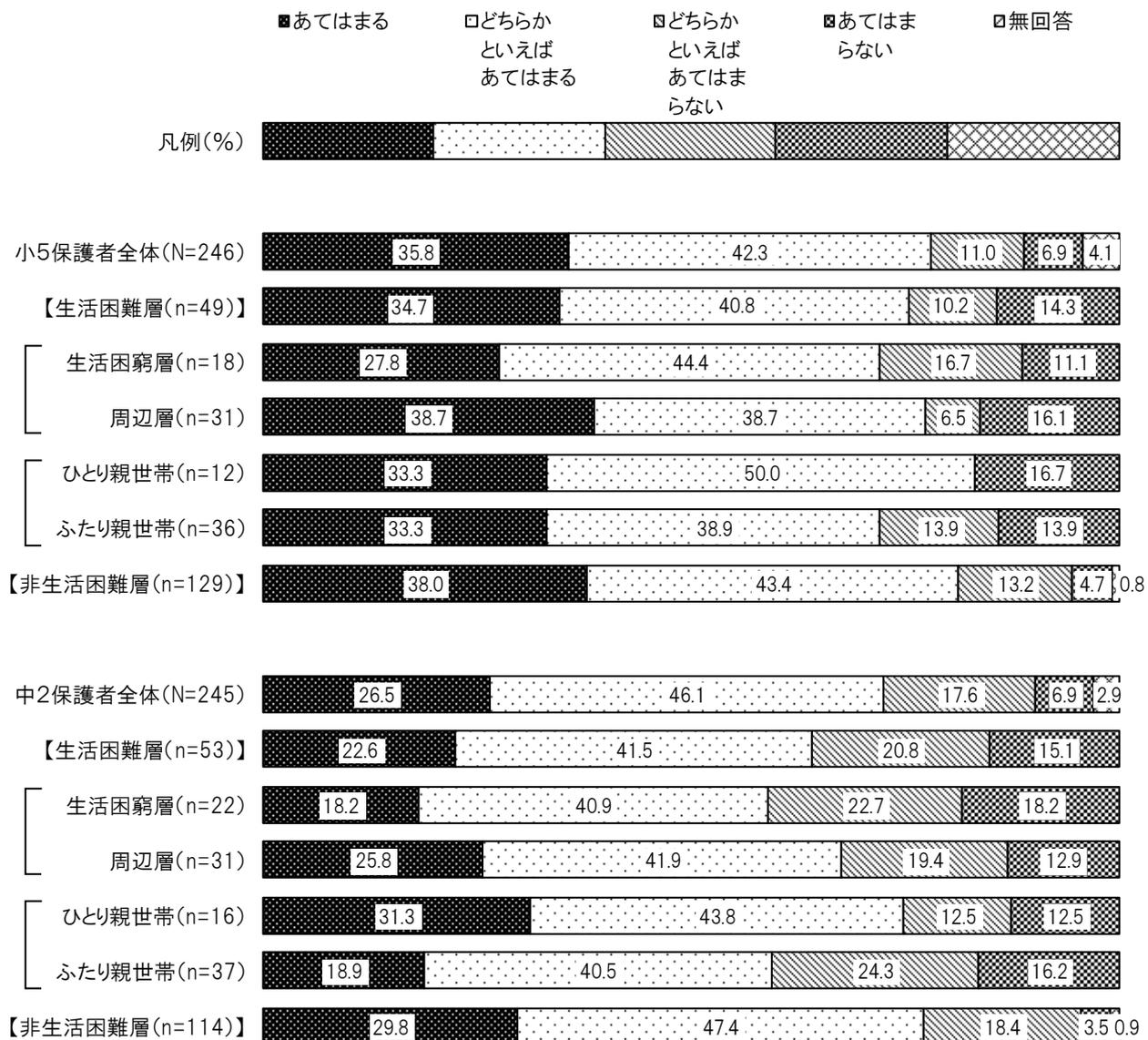
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「あてはまる」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



## Ⅰ 計画的に勉強するよう促している

計画的に勉強するよう促していることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で27.8%、周辺層で38.7%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で18.2%、周辺層で25.8%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

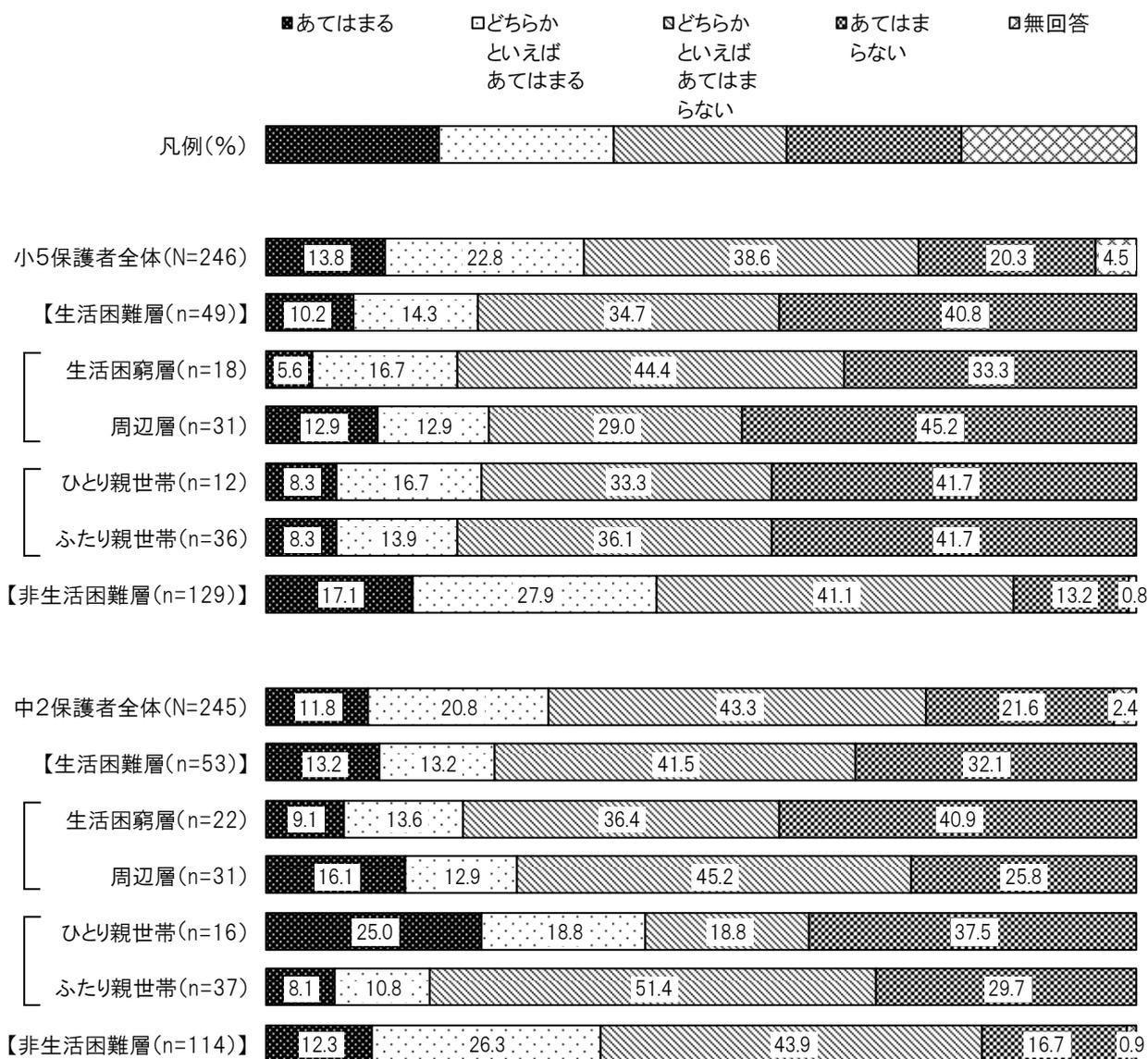
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のふたり親世帯で「あてはまる」の割合がひとり親世帯に比べて低くなっている。



## J 英語や外国の文化に触れるよう意識している

英語や外国の文化に触れるよう意識していることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で5.6%、周辺層で12.9%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で9.1%、周辺層で16.1%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

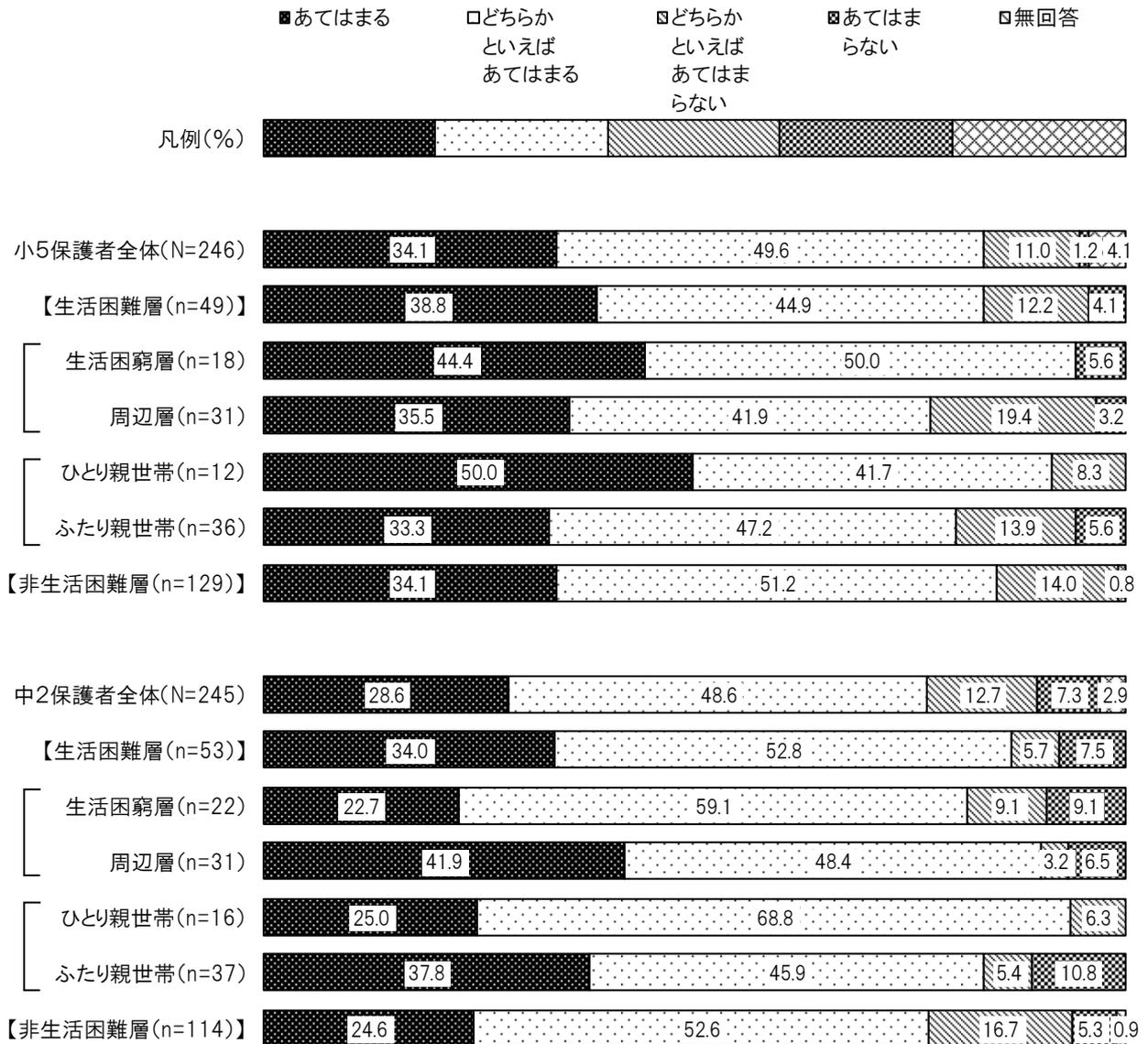
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「あてはまる」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



## K 心配事や悩みごとの相談によく乗っている

心配事や悩みごとの相談によく乗っていることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で44.4%、周辺層で35.5%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で22.7%、周辺層で41.9%となっており、周辺層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「あてはまる」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



## 【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「あてはまる」の割合が高い順に、「D 悪いことをしたらきちんと叱っている」「G 小さいころ、絵本の読み聞かせをした」「E 本や新聞を読むようにすすめている」「I 計画的に勉強するよう促している」などとなっている。

問27 子供への接し方/A テレビゲームで遊ぶ時間を限定している	回答割合(%)	回答件数
あてはまる	12.2	6
どちらかといえばあてはまる	20.4	10
どちらかといえばあてはまらない	12.2	6
あてはまらない	28.6	14
テレビゲームを持たせていない	26.5	13
無回答	0.0	0
全体	100.0	49

問27 子供への接し方/B スマートフォンなどの使い方についてルールや約束をつくっている	回答割合(%)	回答件数
あてはまる	12.2	6
どちらかといえばあてはまる	18.4	9
どちらかといえばあてはまらない	6.1	3
あてはまらない	18.4	9
携帯電話などを持たせていない	44.9	22
無回答	0.0	0
全体	100.0	49

問27 子供への接し方/C よいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている	回答割合(%)	回答件数
あてはまる	26.5	13
どちらかといえばあてはまる	53.1	26
どちらかといえばあてはまらない	14.3	7
あてはまらない	6.1	3
無回答	0.0	0
全体	100.0	49

問27 子供への接し方/D 悪いことをしたらきちんと叱っている	回答割合(%)	回答件数
あてはまる	81.6	40
どちらかといえばあてはまる	16.3	8
どちらかといえばあてはまらない	0.0	0
あてはまらない	2.0	1
無回答	0.0	0
全体	100.0	49

問27 子供への接し方/E 本や新聞を読むようにすすめている	回答割合(%)	回答件数
あてはまる	30.6	15
どちらかといえばあてはまる	26.5	13
どちらかといえばあてはまらない	30.6	15
あてはまらない	10.2	5
無回答	2.0	1
全体	100.0	49

問27 子供への接し方/F 読んだ本の感想を話し合ったりしている	回答割合(%)	回答件数
あてはまる	16.3	8
どちらかといえばあてはまる	22.4	11
どちらかといえばあてはまらない	40.8	20
あてはまらない	18.4	9
無回答	2.0	1
全体	100.0	49

問27 子供への接し方/G 小さいころ、絵本の読み聞かせをした	回答割合(%)	回答件数
あてはまる	38.8	19
どちらかといえばあてはまる	26.5	13
どちらかといえばあてはまらない	24.5	12
あてはまらない	10.2	5
無回答	0.0	0
全体	100.0	49

問27 子供への接し方/H 「勉強しなさい」とよく言っている	回答割合(%)	回答件数
あてはまる	28.6	14
どちらかといえばあてはまる	36.7	18
どちらかといえばあてはまらない	6.1	3
あてはまらない	26.5	13
無回答	2.0	1
全体	100.0	49

問27 子供への接し方/I 計画的に勉強するよう促している	回答割合(%)	回答件数
あてはまる	30.6	15
どちらかといえばあてはまる	30.6	15
どちらかといえばあてはまらない	10.2	5
あてはまらない	26.5	13
無回答	2.0	1
全体	100.0	49

問27 子供への接し方/J 英語や外国の文化に触れるよう意識している	回答割合(%)	回答件数
あてはまる	8.2	4
どちらかといえばあてはまる	22.4	11
どちらかといえばあてはまらない	34.7	17
あてはまらない	32.7	16
無回答	2.0	1
全体	100.0	49

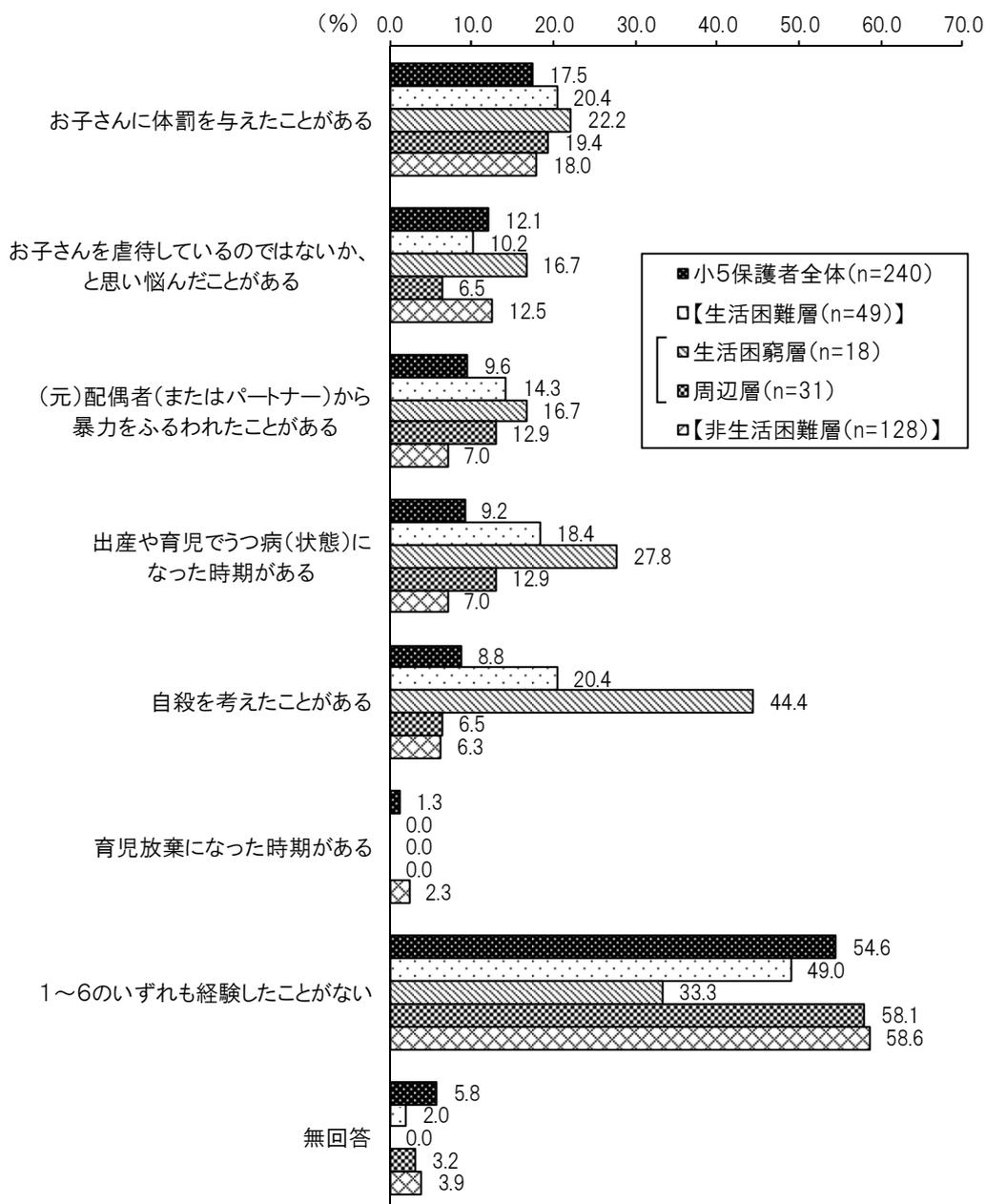
問27 子供への接し方/K 心配事や悩みごとの相談によく乗っている	回答割合(%)	回答件数
あてはまる	24.5	12
どちらかといえばあてはまる	36.7	18
どちらかといえばあてはまらない	18.4	9
あてはまらない	18.4	9
無回答	2.0	1
全体	100.0	49

## 【7】子育て上の経験

保／問 41 あなたは子育てにかかわってから、次のような経験をしたことがありますか。  
(あてはまる番号すべてに○)

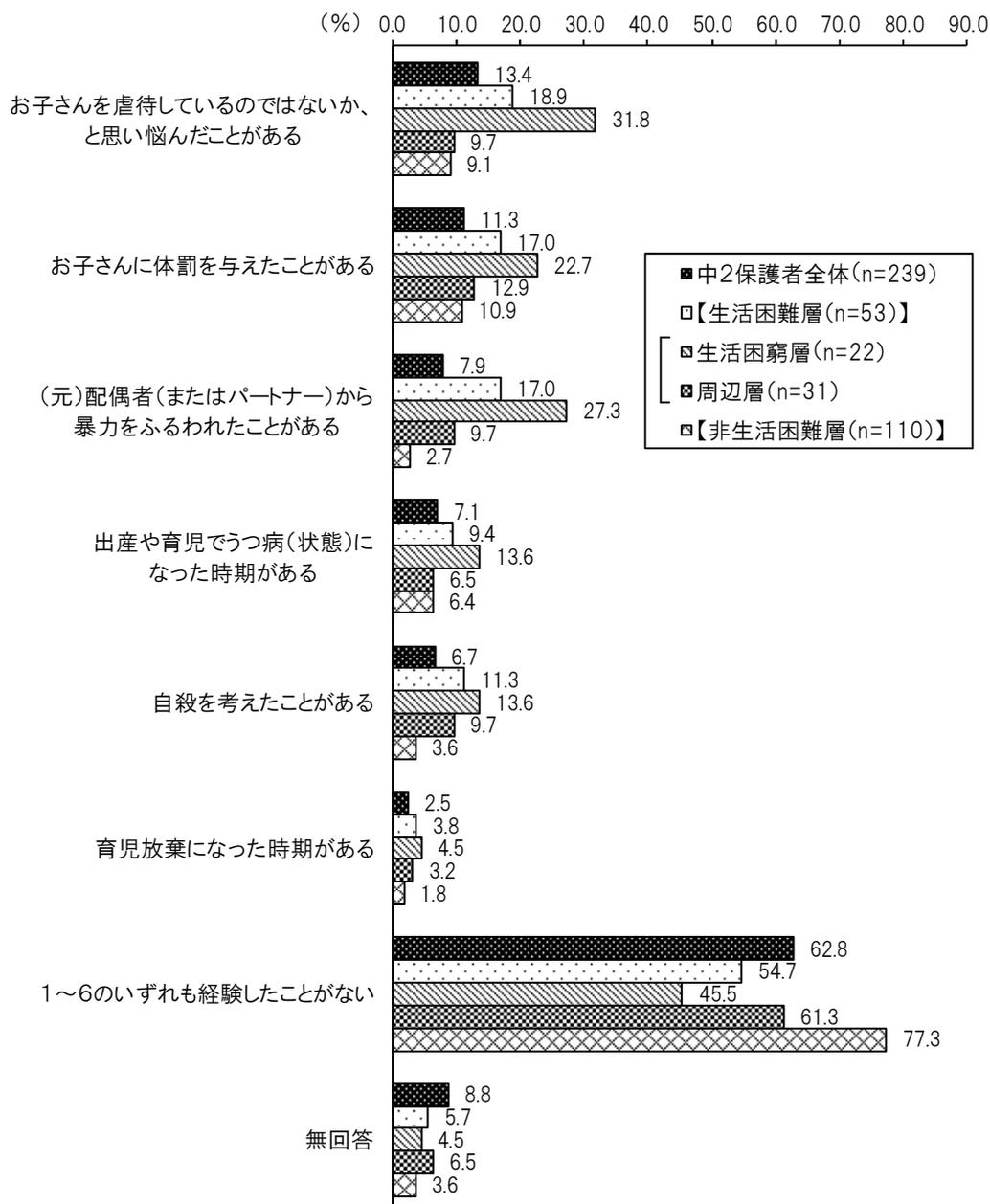
子育て上の経験について、小学5年保護者全体では「お子さんに体罰を与えたことがある」が17.5%と最も高く、次いで「お子さんを虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」(12.1%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」「自殺を考えたことがある」などの割合が他の層を大きく上回っている。



中学2年保護者全体では、「お子さんを虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」が13.4%と最も高く、次いで「お子さんに体罰を与えたことがある」(11.3%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「お子さんを虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」「お子さんに体罰を与えたことがある」「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



### 【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある」「お子さんに体罰を与えたことがある」「お子さんを虐待しているのではないかと、と思い悩んだことがある」などが多くなっている。

問39 子育てにかかわってからの経験	回答割合(%)	回答件数
(元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある	20.4	10
お子さんに体罰を与えたことがある	18.4	9
お子さんを虐待しているのではないかと、と思い悩んだことがある	18.4	9
自殺を考えたことがある	10.2	5
出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある	8.2	4
育児放棄になった時期がある	4.1	2
1～6のいずれも経験したことがない	44.9	22
無回答	2.0	1
全体	100.0	49

## 【8】制度・サービスの利用

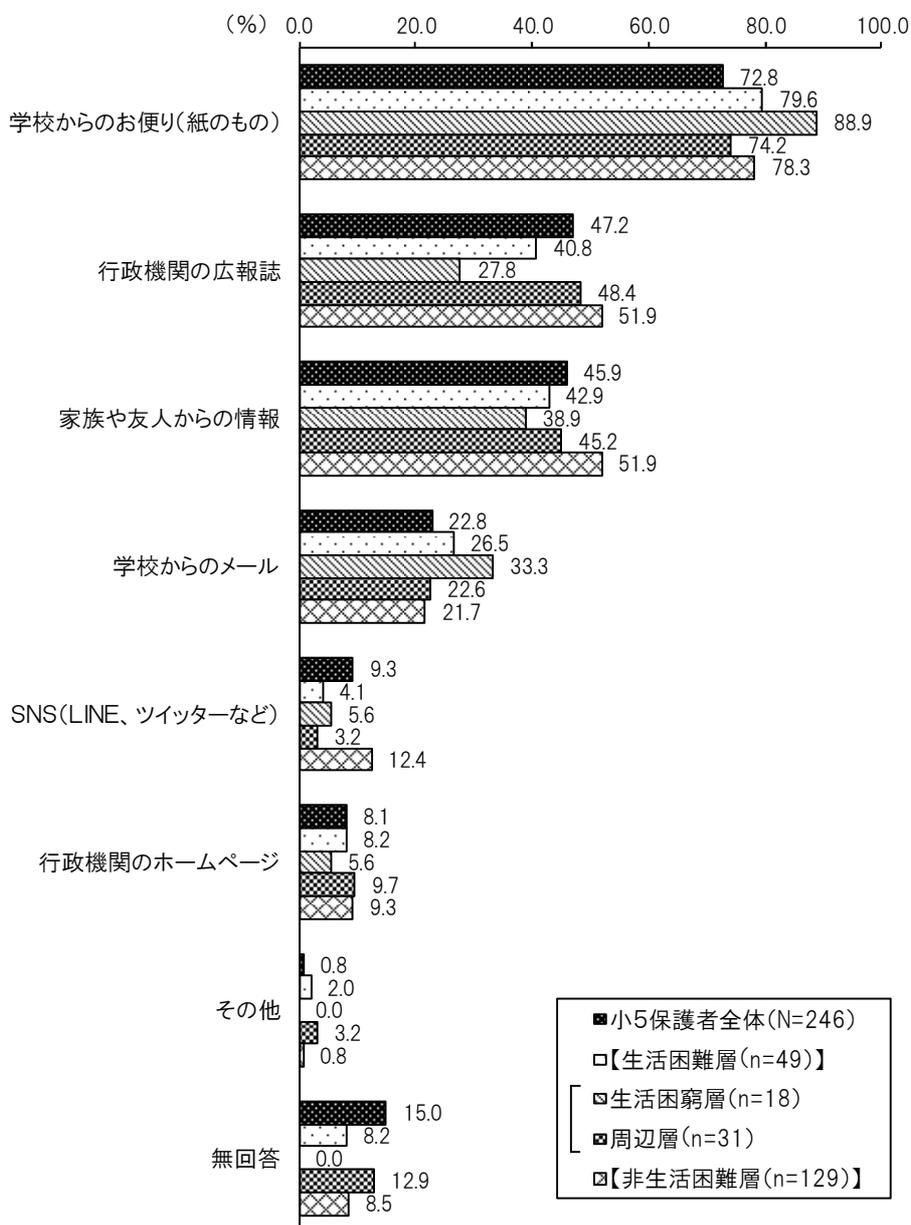
### (1) 子供関連情報の入手方法の現状と意向

保／問 43 あなたは、子供に関する施策等の情報をどのような方法で受け取っていますか。  
また、今後、受け取りたいですか。（それぞれ、あてはまる番号すべてに○）

#### A 現在の受け取り方法

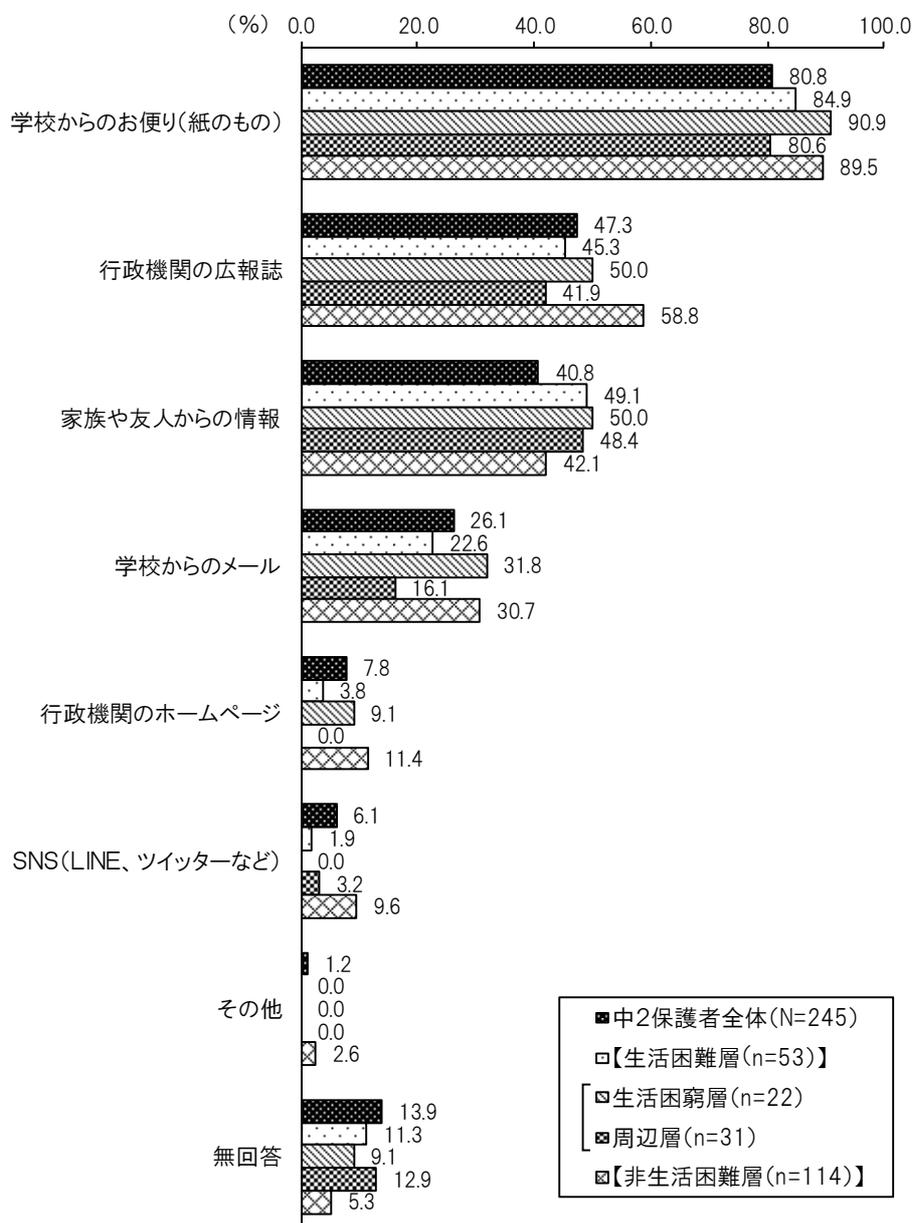
現在の受け取り方法について、小学5年保護者全体では「学校からのお便り（紙のもの）」が72.8%と最も高く、次いで「行政機関の広報誌」（47.2%）、「家族や友人からの情報」（45.9%）の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「行政機関の広報誌」「家族や友人からの情報」などの割合が低く、「学校からのお便り（紙のもの）」「学校からのメール」の割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「学校からのお便り（紙のもの）」が80.8%と最も高く、次いで「行政機関の広報誌」（47.3%）、「家族や友人からの情報」（40.8%）の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「学校からのお便り（紙のもの）」「学校からのメール」などの割合が他の層に比べてやや高くなっている。



### 【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

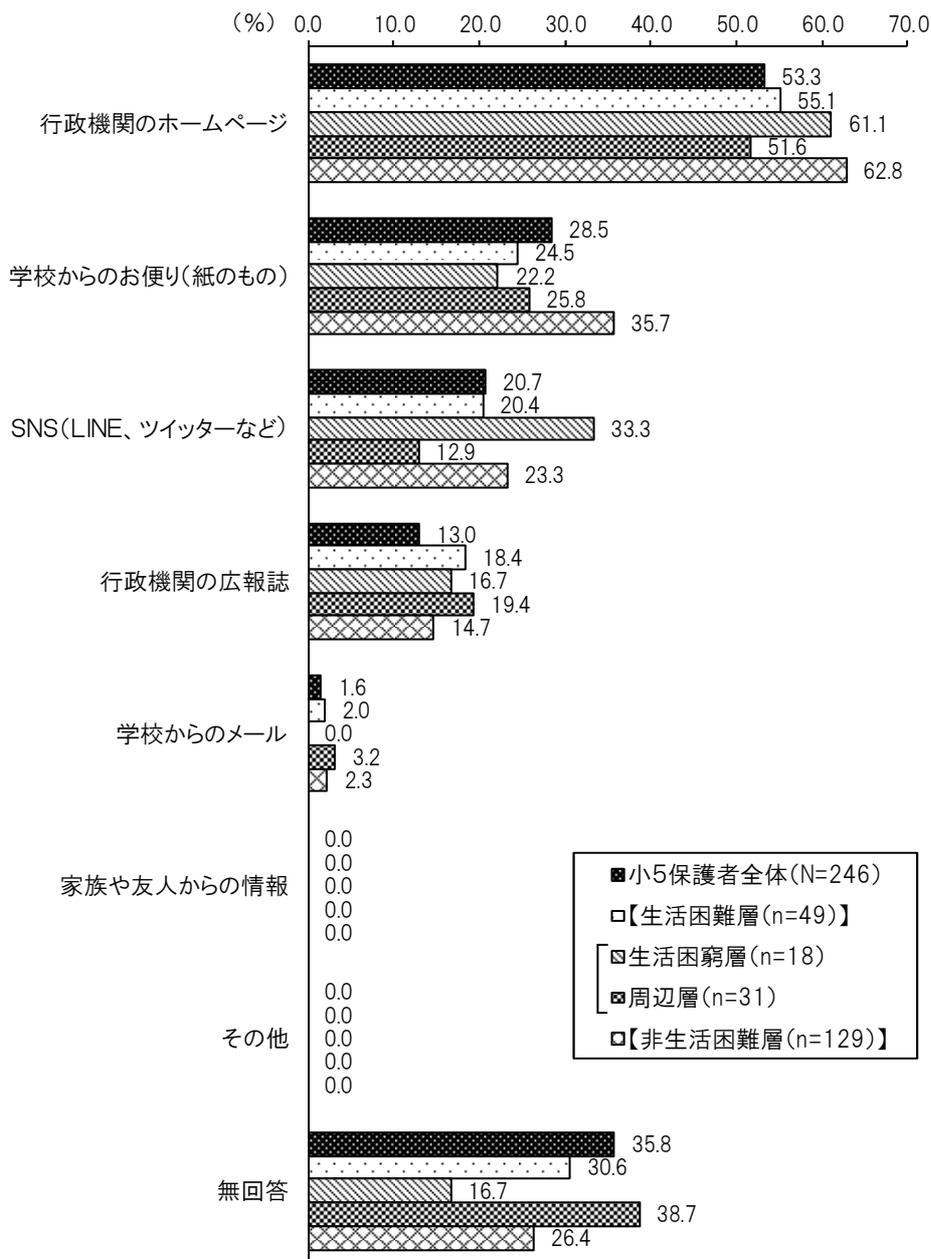
児童扶養手当受給者においては、現在の受け取り方法について、「学校からのお便り（紙のもの）」が71.4%と最も高く、次いで「家族や友人からの情報」（40.8%）、「行政機関の広報誌」（38.8%）となっている。

問41 子供に関する施策の情報源／A 現在の受け取り方法	回答割合(%)	回答件数
学校からのお便り(紙のもの)	71.4	35
家族や友人からの情報	40.8	20
行政機関の広報誌	38.8	19
SNS(LINE、ツイッターなど)	20.4	10
学校からのメール	20.4	10
行政機関のホームページ	12.2	6
その他	4.1	2
無回答	12.2	6
全体	100.0	49

## B 今後、受け取りたい方法

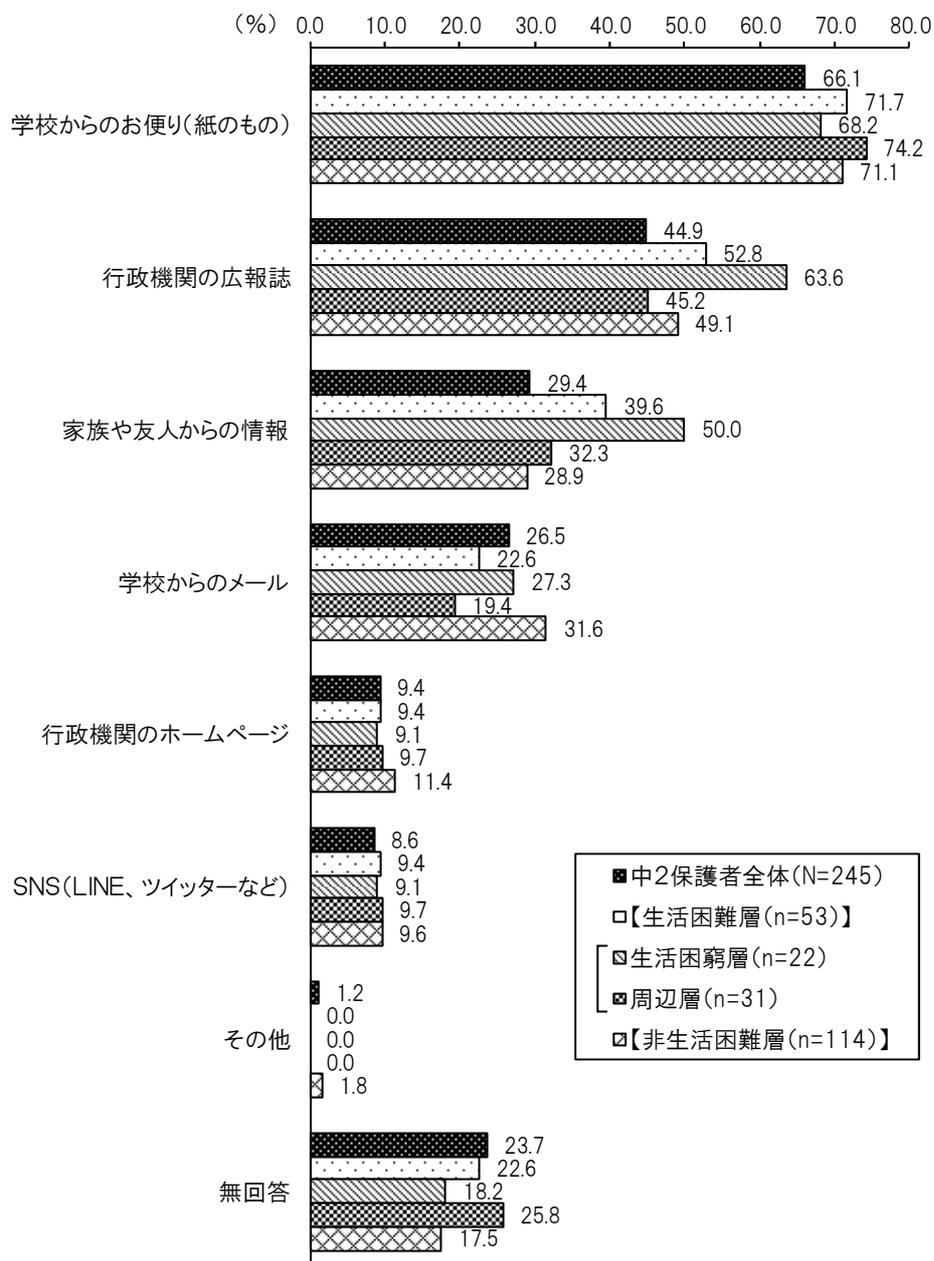
今後、受け取りたい方法について、小学5年保護者全体では「行政機関のホームページ」が53.3%と最も高く、次いで「学校からのお便り（紙のもの）」（28.5%）、「SNS（LINE、ツイッターなど）」（20.7%）の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「学校からのお便り（紙のもの）」などの割合が低く、「行政機関のホームページ」「SNS（LINE、ツイッターなど）」が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「学校からのお便り（紙のもの）」が66.1%と最も高く、次いで「行政機関の広報誌」（44.9%）、「家族や友人からの情報」（29.4%）の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「行政機関の広報誌」「家族や友人からの情報」などの割合が他の層を大きく上回っている。



### 【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

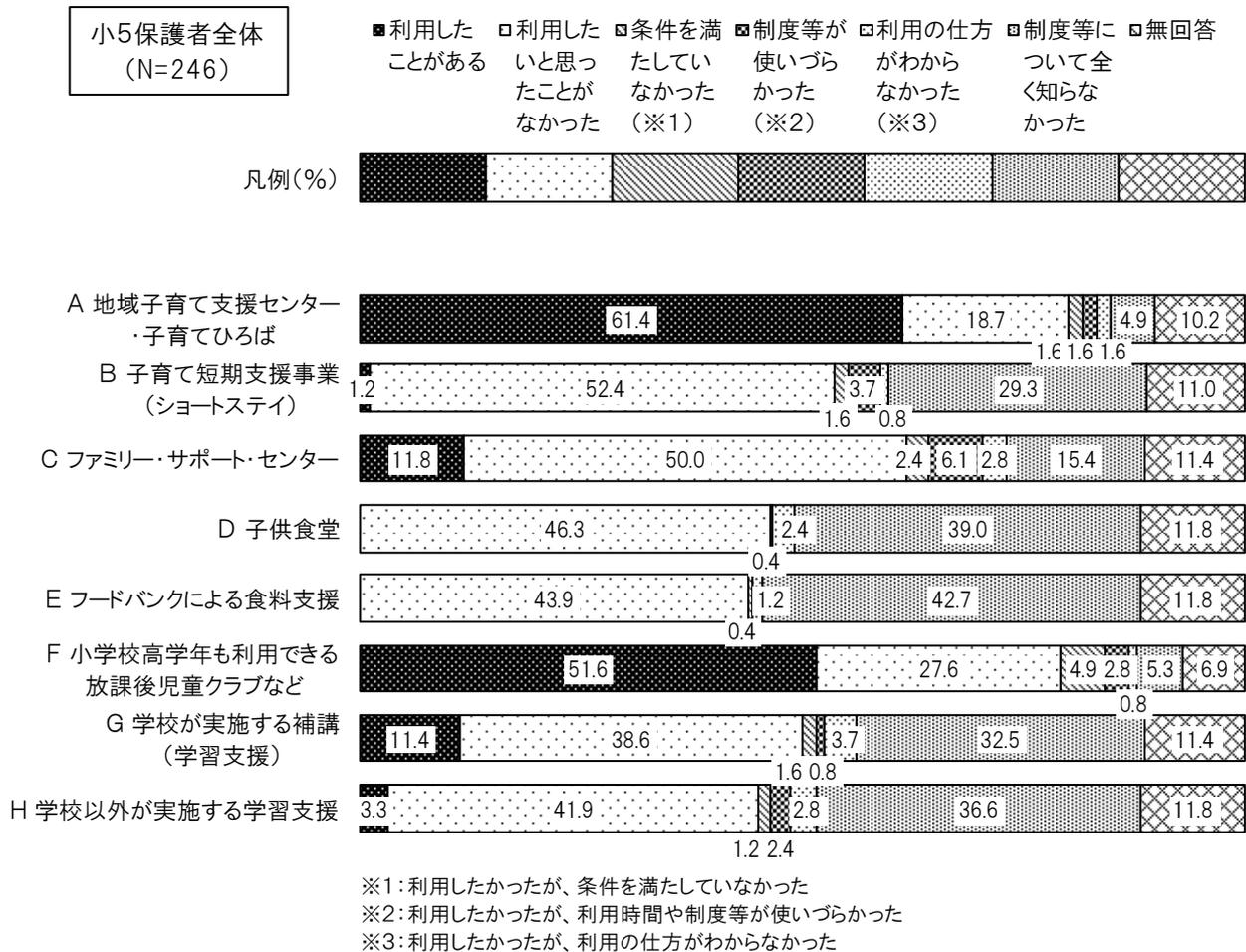
今後、受け取りたい方法について、「学校からのお便り（紙のもの）」が53.1%と最も高く、次いで「行政機関の広報誌」（36.7%）、「学校からのメール」（30.6%）となっている。

問41 子供に関する施策の情報源／B 今後、受け取りたい方法	回答割合(%)	回答件数
学校からのお便り(紙のもの)	53.1	26
行政機関の広報誌	36.7	18
学校からのメール	30.6	15
家族や友人からの情報	28.6	14
SNS(LINE、ツイッターなど)	24.5	12
行政機関のホームページ	12.2	6
その他	4.1	2
無回答	22.4	11
全体	100.0	49

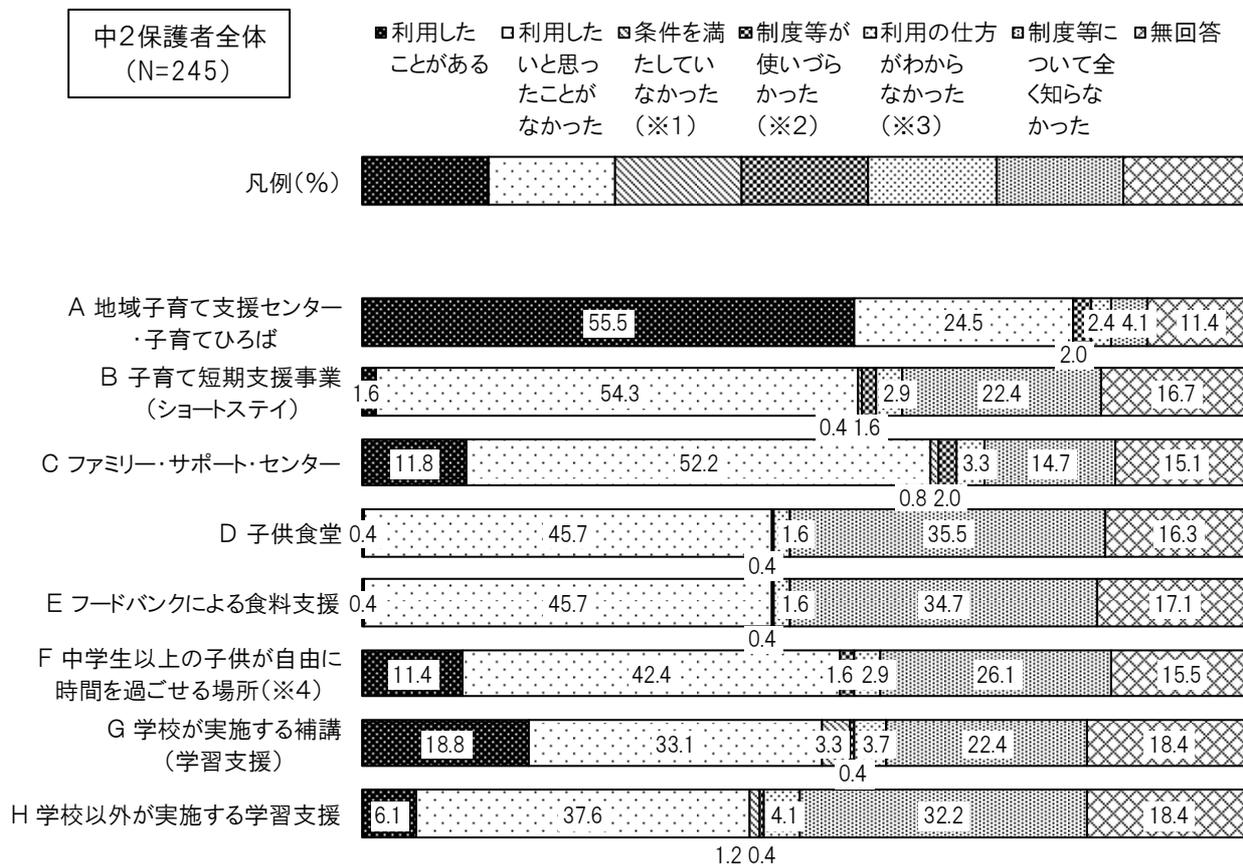
## (2) 各種支援制度の利用経験

保/問 44 次のA～Hの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。  
 利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。  
 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

各種支援制度の利用経験については、小学5年保護者全体では「利用したことがある」の割合が高い順に「A 地域子育て支援センター・子育てひろば」(61.4%)、「F 小学校高学年も利用できる放課後児童クラブなど」(51.6%)となっている。一方、「制度等について全く知らなかった」では「E フードバンクによる食料支援」(42.7%)、「D 子供食堂」(39.0%)などがあげられる。



中学2年保護者全体では、「利用したことがある」の割合が高い順に「A 地域子育て支援センター・子育てひろば」(55.5%)、「G 学校が実施する補講(学習支援)」(18.8%)となっている。一方、「制度等について全く知らなかった」では「D 子供食堂」(35.5%)、「E フードバンクによる食料支援」(34.7%)、「H 学校以外が実施する学習支援」(32.2%)などがあげられる。

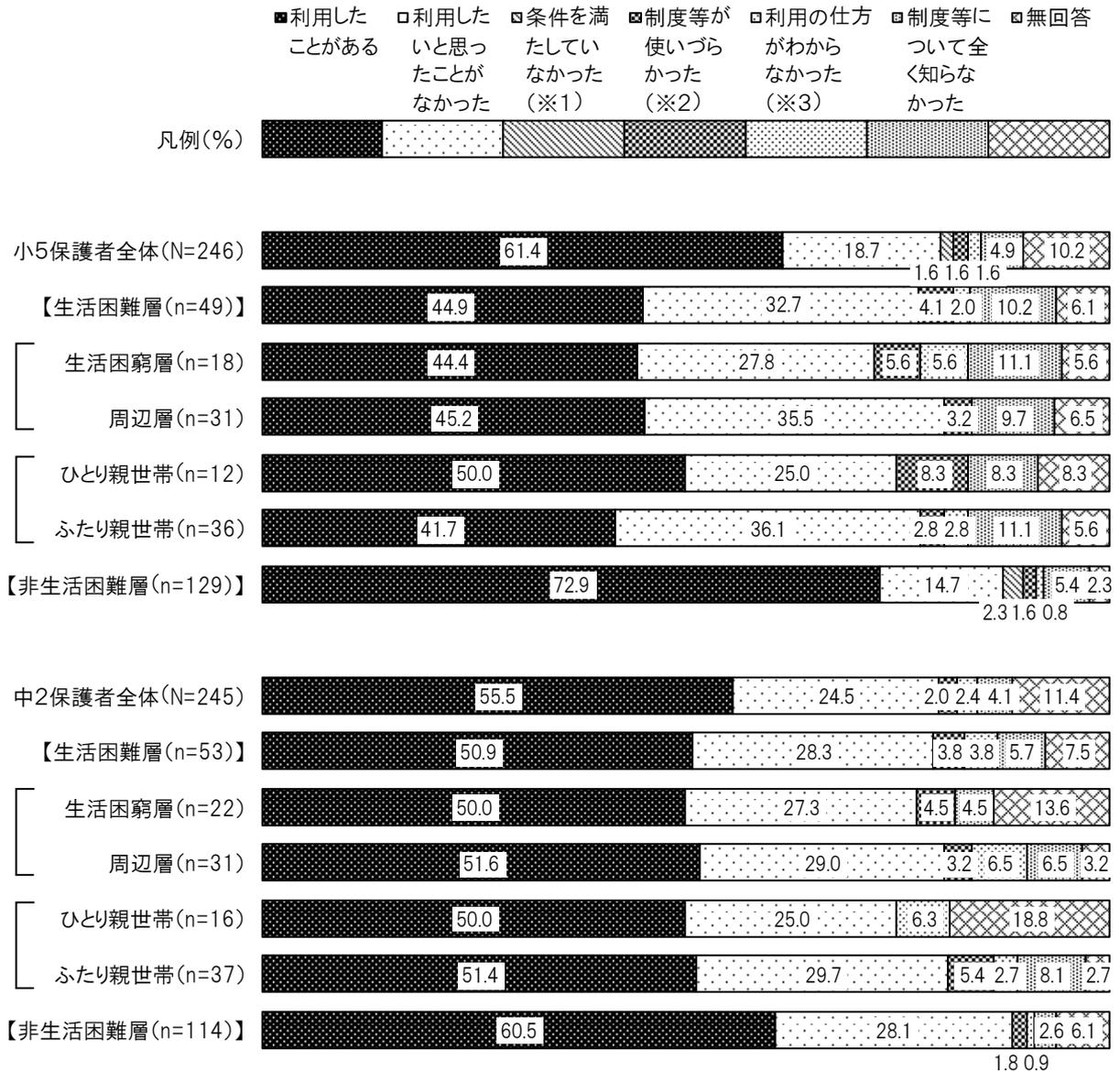


※1: 利用したかったが、条件を満たしていなかった  
 ※2: 利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった  
 ※3: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった  
 ※4: 中学生以上の子供が自由に時間を過ごせる場所(自治振興センターなど)

## A 地域子育て支援センター・子育てひろば

地域子育て支援センター・子育てひろばについて、小学5年保護者全体では「利用したことがある」が61.4%と最も高く、次いで「利用したいと思ったことがなかった」(18.7%)となっている。中学2年保護者全体では「利用したことがある」が55.5%と最も高く、次いで「利用したいと思ったことがなかった」(24.5%)となっている。

生活困難度別にみた「利用したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で44.4%、中学2年保護者で50.0%となっている。

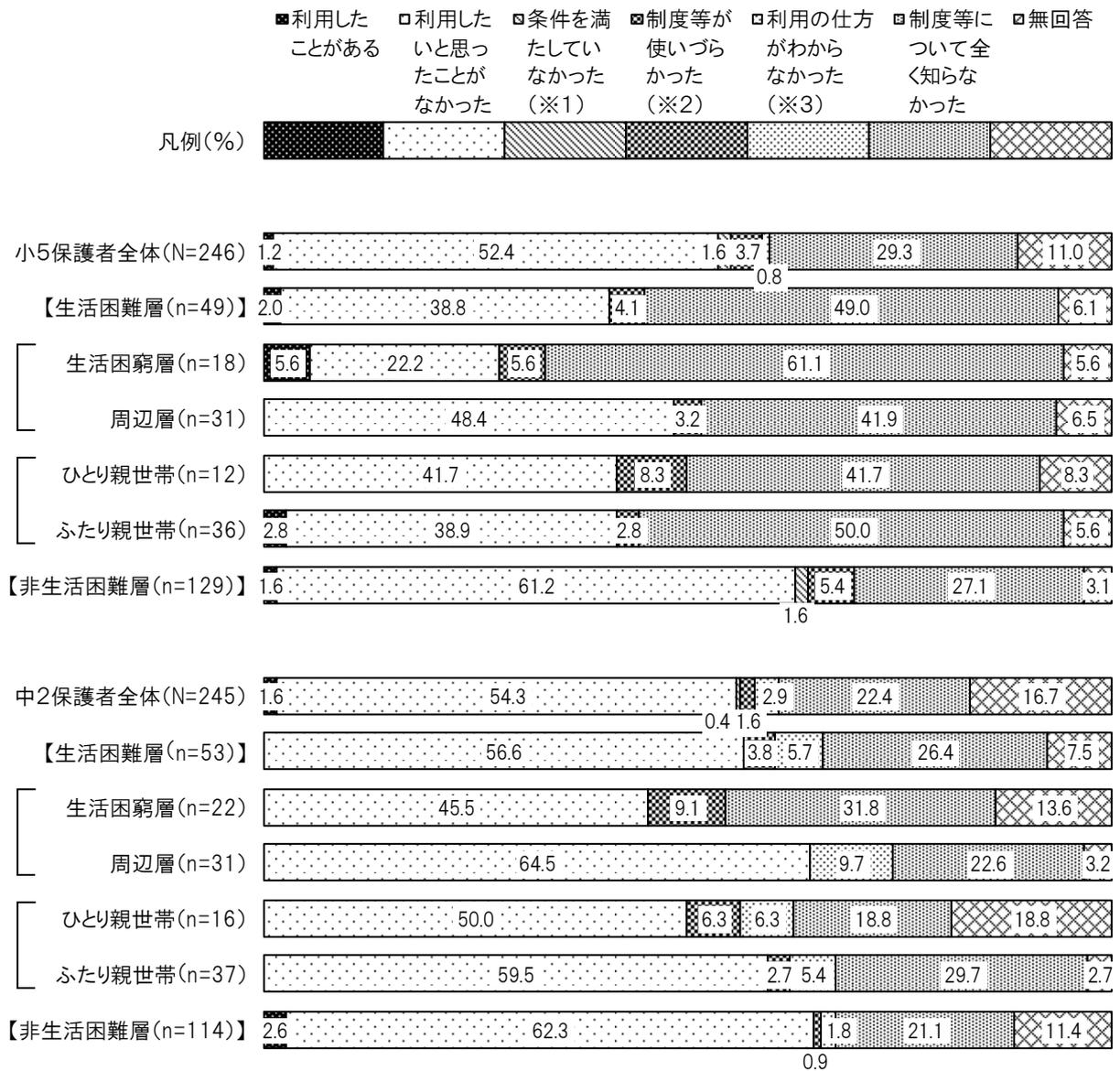


※1: 利用したかったが、条件を満たしていなかった  
 ※2: 利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった  
 ※3: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

## B 子育て短期支援事業（ショートステイ）

子育て短期支援事業（ショートステイ）について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が52.4%、「制度等について全く知らなかった」が29.3%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が54.3%、「制度等について全く知らなかった」が22.4%となっている。

生活困難度別にみた「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で61.1%、中学2年保護者で31.8%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

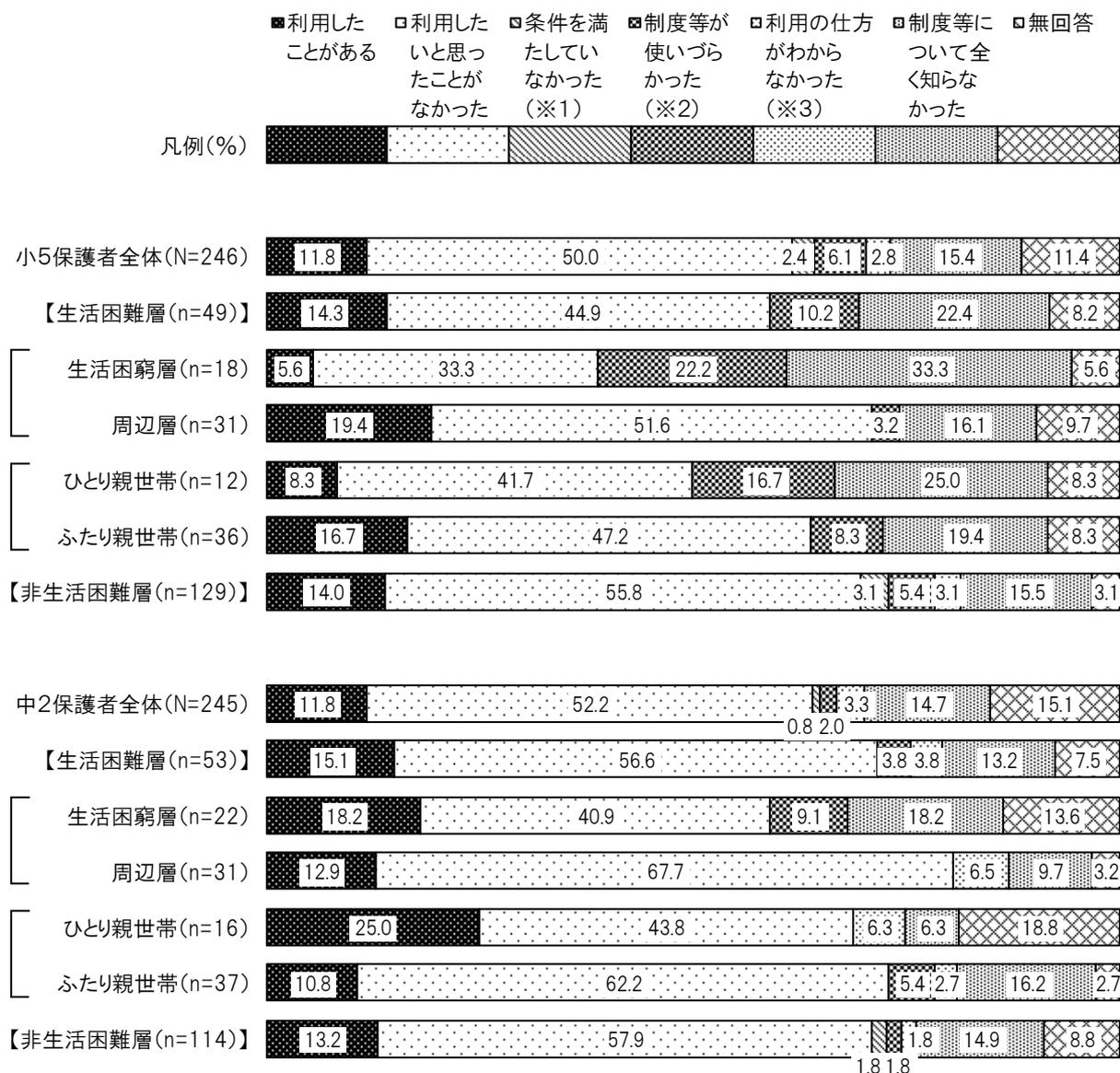


※1: 利用したかったが、条件を満たしていなかった  
 ※2: 利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった  
 ※3: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

### C ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターについて、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が50.0%と最も高く、次いで「制度等について全く知らなかった」(35.0%)、「利用したことがある」(11.8%)となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が52.2%と最も高く、次いで「制度等について全く知らなかった」(14.7%)、「利用したことがある」(11.8%)となっている。

生活困難度別にみた「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で33.3%、中学2年保護者で18.2%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

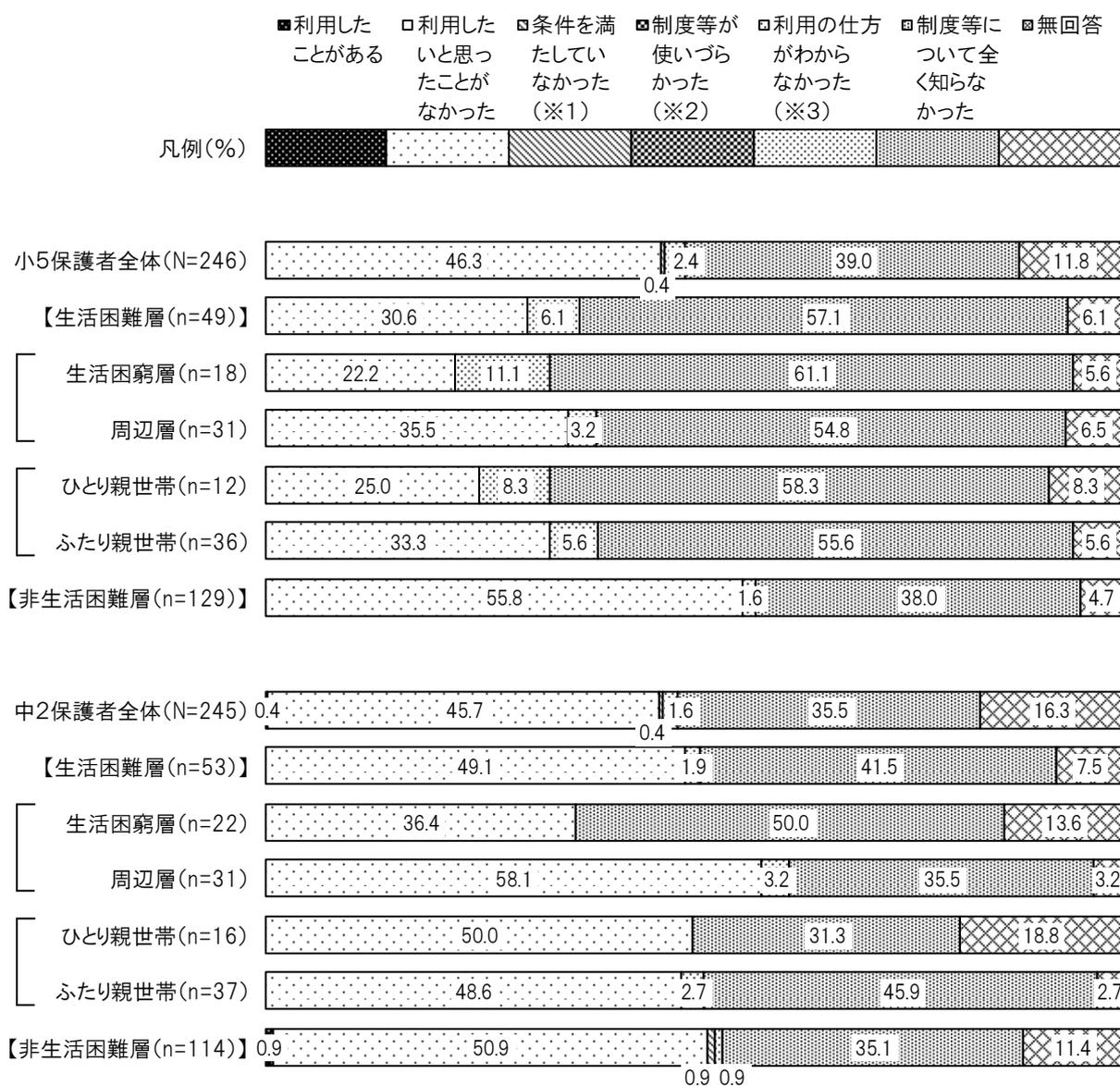


※1: 利用したかったが、条件を満たしていなかった  
 ※2: 利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった  
 ※3: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

## D 子供食堂

子供食堂について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が46.3%、「制度等について全く知らなかった」が39.0%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が45.7%、「制度等について全く知らなかった」が35.5%となっている。

生活困難度別にみた「利用したいと思ったことがなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で22.2%、中学2年保護者で36.4%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

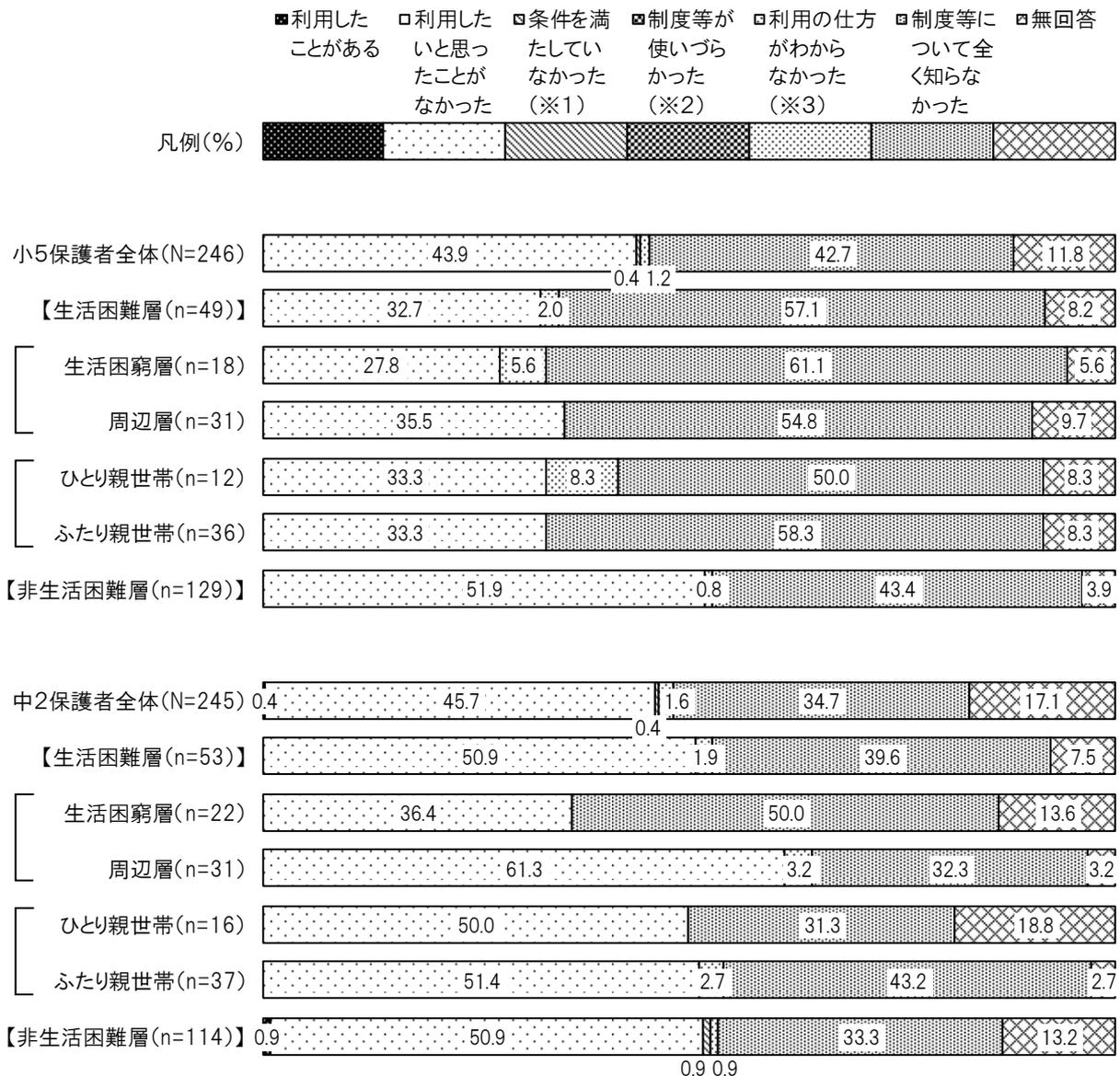


※1: 利用したかったが、条件を満たしていなかった  
 ※2: 利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった  
 ※3: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

## E フードバンクによる食料支援

フードバンクによる食料支援について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が43.9%、「制度等について全く知らなかった」が42.7%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が45.7%、「制度等について全く知らなかった」が34.7%となっている。

生活困難度別にみた「利用したいと思ったことがなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で27.8%、中学2年保護者で36.4%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。



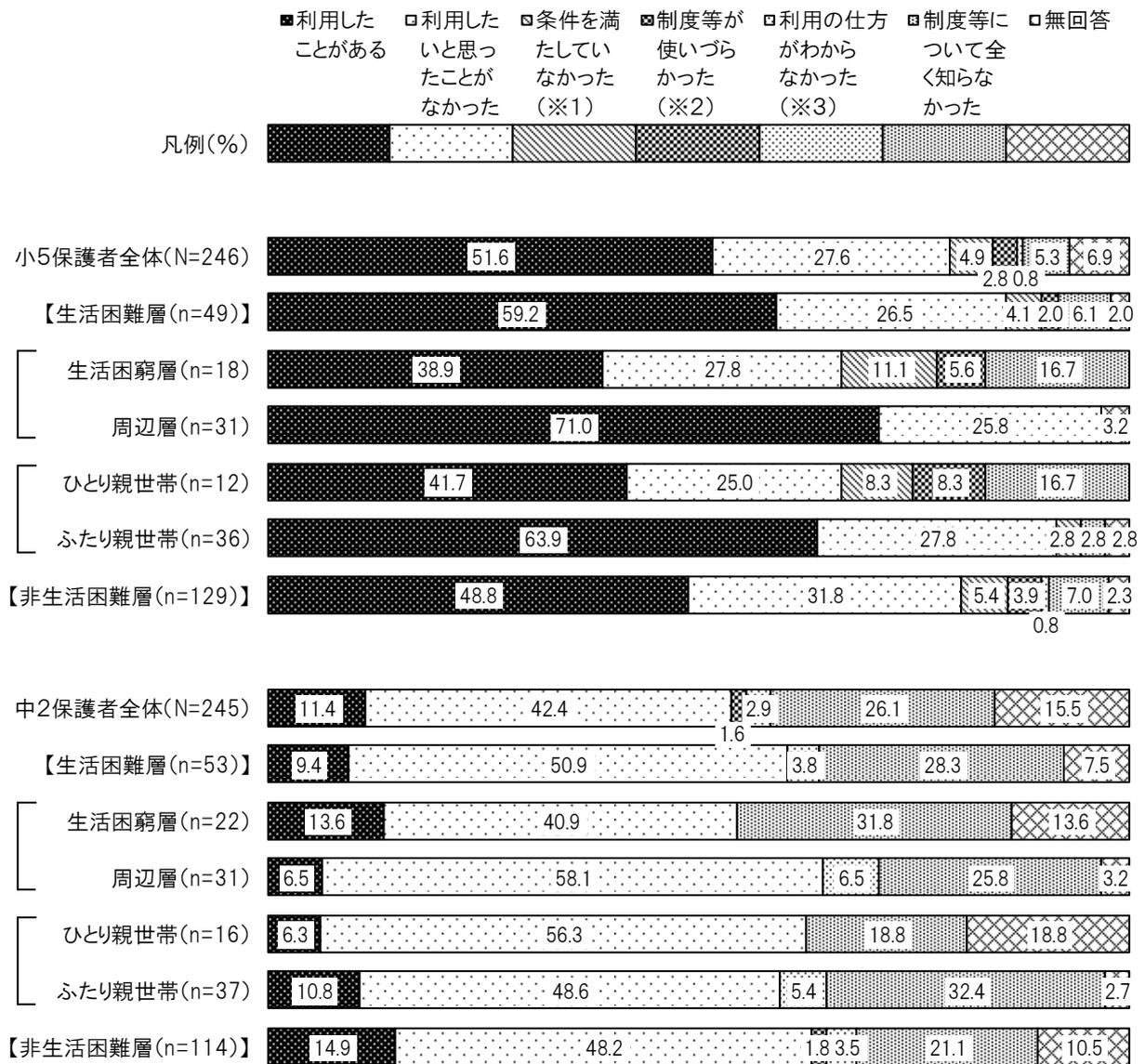
※1: 利用したかったが、条件を満たしていなかった  
 ※2: 利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった  
 ※3: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

## F 中学生以上の子供が自由に時間を過ごせる場所\*（自治振興センターなど）

子供が自由に時間を過ごせる場所について、小学5年保護者全体では「利用したことがある」が51.6%と最も高く、次いで「利用したいと思ったことがなかった」(27.6%)となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が42.4%と最も高く、次いで「制度等について全く知らなかった」(26.1%)、「利用したことがある」(11.4%)となっている。

生活困難度別にみた「利用したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で38.9%、周辺層で71.0%となっており、周辺層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のふたり親世帯で「利用したことがある」の割合がひとり親世帯を大きく上回っている。



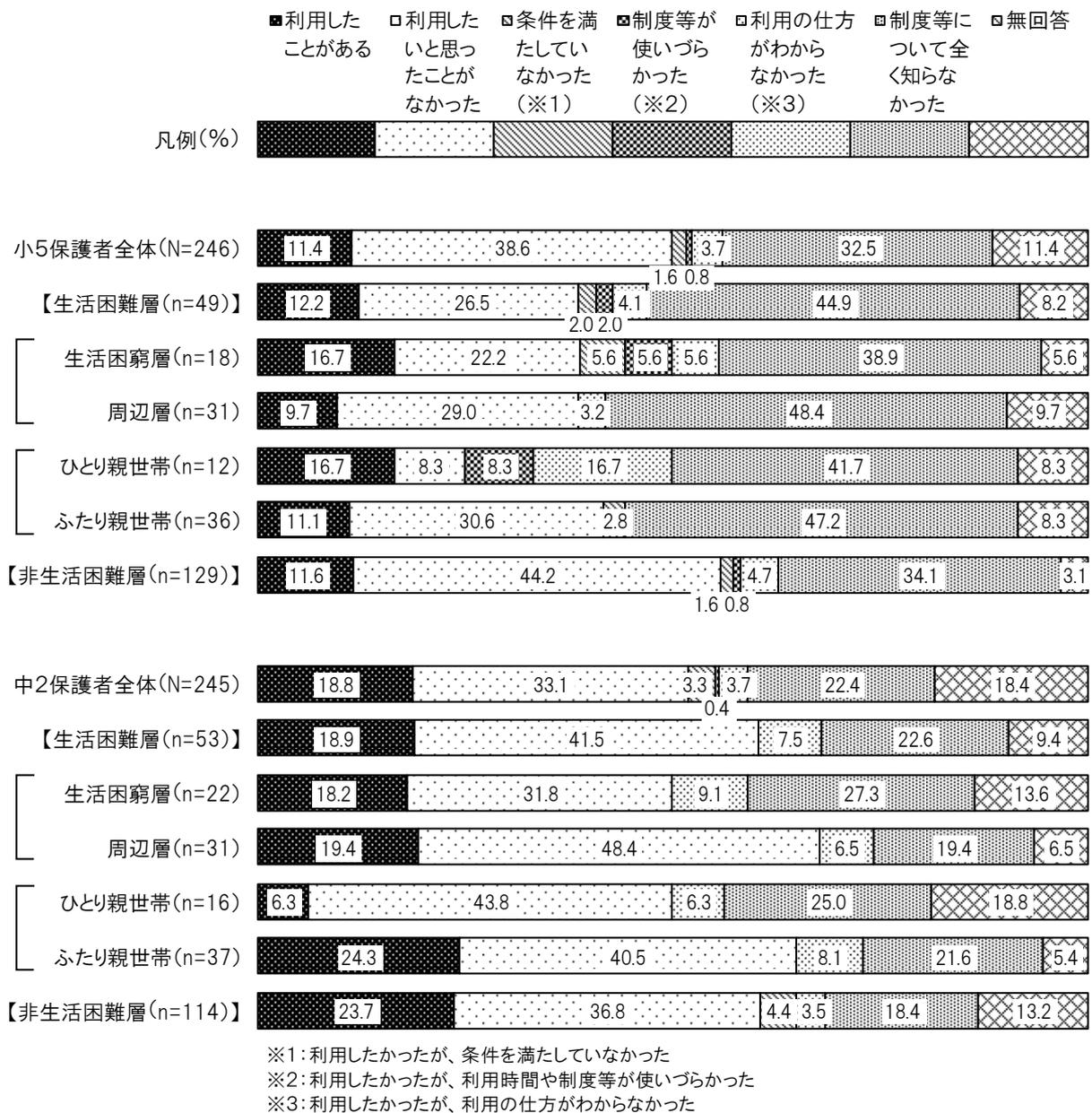
※1: 利用したかったが、条件を満たしていなかった  
 ※2: 利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった  
 ※3: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった  
 ※小学生票では「小学校高学年も利用できる放課後児童クラブなど」

## G 学校が実施する補講（学習支援）

学校が実施する補講（学習支援）について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が38.6%と最も高く、次いで「制度等について全く知らなかった」（32.5%）、「利用したことがある」（11.4%）となっている。中学2年保護者全体では、「利用したいと思ったことがなかった」が33.1%と最も高く、次いで「制度等について全く知らなかった」（22.4%）、「利用したことがある」（18.8%）となっている。

生活困難度別にみた「利用したいと思ったことがなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で22.2%、中学2年保護者で31.8%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「利用したことがある」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。

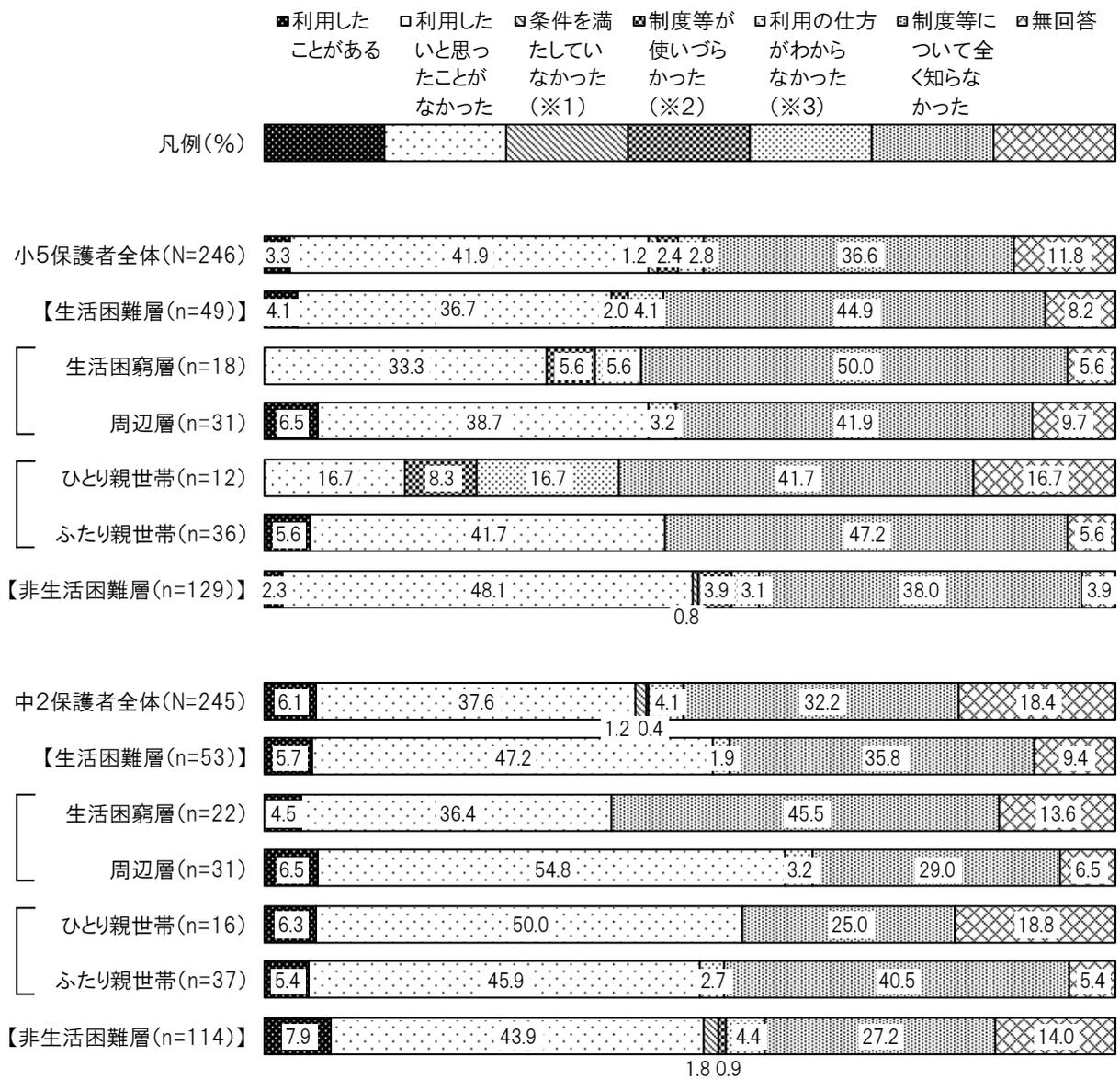


## H 学校以外が実施する学習支援

学校以外が実施する学習支援について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が41.9%、「制度等について全く知らなかった」が36.6%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が37.6%、「制度等について全く知らなかった」が32.2%となっている。

生活困難度別にみた「利用したいと思ったことがなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で33.3%、中学2年保護者で36.4%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「利用したいと思ったことがなかった」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



※1: 利用したかったが、条件を満たしていなかった  
 ※2: 利用したかったが、利用時間や制度等が使いつらかった  
 ※3: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

## 【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「利用したことがある」の割合が高い順に、「F 小学生が利用できる放課後児童クラブや、中学生以上の子供が自由に時間を過ごせる場所（自治振興センターなど）」「A 地域子育て支援センター・子育てひろば」「G 学校が実施する補講」「C ファミリー・サポート・センター」などとなっている。

問42 支援制度の利用状況/A 地域子育て支援センター・子育てひろば	回答割合(%)	回答件数
利用したことがある	40.8	20
利用したいと思ったことがなかった	22.4	11
利用しなかったが、条件を満たしていなかった	0.0	0
利用しなかったが、利用時間や制度等が使いづらかった	6.1	3
利用しなかったが、利用の仕方がわからなかった	6.1	3
制度等について全く知らなかった	16.3	8
無回答	8.2	4
全体	100.0	49

問42 支援制度の利用状況/B 子育て短期支援事業	回答割合(%)	回答件数
利用したことがある	2.0	1
利用したいと思ったことがなかった	30.6	15
利用しなかったが、条件を満たしていなかった	2.0	1
利用しなかったが、利用時間や制度等が使いづらかった	2.0	1
利用しなかったが、利用の仕方がわからなかった	4.1	2
制度等について全く知らなかった	51.0	25
無回答	8.2	4
全体	100.0	49

問42 支援制度の利用状況/C ファミリー・サポート・センター	回答割合(%)	回答件数
利用したことがある	16.3	8
利用したいと思ったことがなかった	28.6	14
利用しなかったが、条件を満たしていなかった	0.0	0
利用しなかったが、利用時間や制度等が使いづらかった	4.1	2
利用しなかったが、利用の仕方がわからなかった	0.0	0
制度等について全く知らなかった	40.8	20
無回答	10.2	5
全体	100.0	49

問42 支援制度の利用状況/D 子供食堂	回答割合(%)	回答件数
利用したことがある	0.0	0
利用したいと思ったことがなかった	24.5	12
利用しなかったが、条件を満たしていなかった	0.0	0
利用しなかったが、利用時間や制度等が使いづらかった	2.0	1
利用しなかったが、利用の仕方がわからなかった	0.0	0
制度等について全く知らなかった	65.3	32
無回答	8.2	4
全体	100.0	49

問42 支援制度の利用状況/E フードバンクによる食料支援	回答割合(%)	回答件数
利用したことがある	0.0	0
利用したいと思ったことがなかった	24.5	12
利用したかったが、条件を満たしていなかった	0.0	0
利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった	2.0	1
利用したかったが、利用の仕方がわからなかった	0.0	0
制度等について全く知らなかった	63.3	31
無回答	10.2	5
全体	100.0	49

問42 支援制度の利用状況/F 放課後児童クラブや、自治振興センターなど	回答割合(%)	回答件数
利用したことがある	46.9	23
利用したいと思ったことがなかった	20.4	10
利用したかったが、条件を満たしていなかった	2.0	1
利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった	8.2	4
利用したかったが、利用の仕方がわからなかった	0.0	0
制度等について全く知らなかった	14.3	7
無回答	8.2	4
全体	100.0	49

問42 支援制度の利用状況/G 学校が実施する補講	回答割合(%)	回答件数
利用したことがある	22.4	11
利用したいと思ったことがなかった	32.7	16
利用したかったが、条件を満たしていなかった	0.0	0
利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった	0.0	0
利用したかったが、利用の仕方がわからなかった	4.1	2
制度等について全く知らなかった	30.6	15
無回答	10.2	5
全体	100.0	49

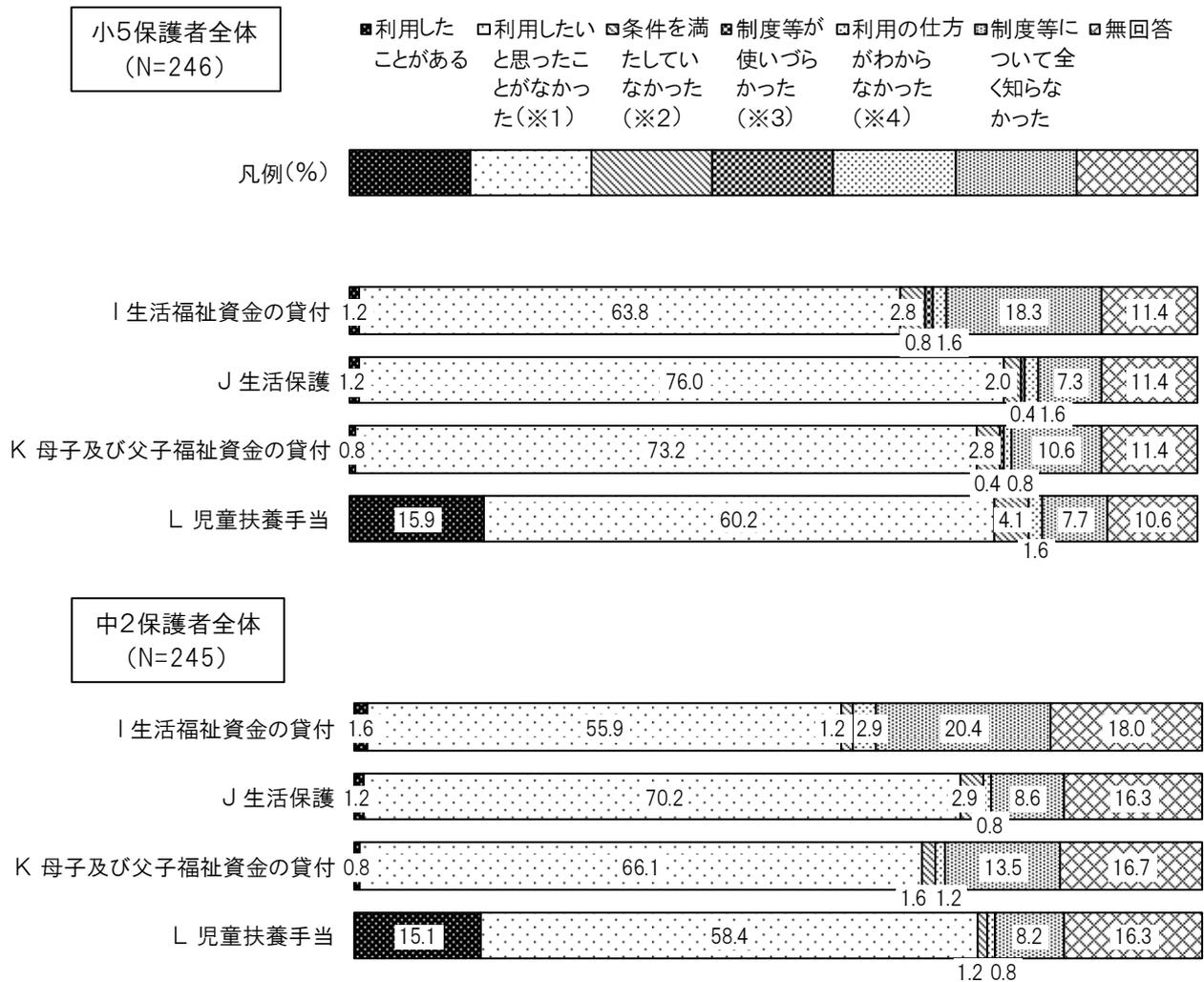
問42 支援制度の利用状況/H 学校以外が実施する学習支援	回答割合(%)	回答件数
利用したことがある	0.0	0
利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度等の対象外であった)	36.7	18
利用したかったが、条件を満たしていなかった	0.0	0
利用したかったが、制度等が使いづらかった	0.0	0
利用したかったが、利用の仕方がわからなかった	2.0	1
制度等について全く知らなかった	51.0	25
無回答	10.2	5
全体	100.0	49

### (3) 各種経済的支援制度の利用経験

保／問 45 次のI～Lの支援制度等は、これまでに利用・受給（以下「利用」という。）したことがありますか。  
 利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。  
 （それぞれ、あてはまる番号1つに○）

各種経済的支援制度の利用経験について、小学5年保護者全体の「利用したことがある」では「L 児童扶養手当」（15.9%）などがあげられる。一方、「制度等について全く知らなかった」では「I 生活福祉資金の貸付」（18.3%）、「K 母子及び父子福祉資金の貸付」（10.6%）などがあげられる。

中学2年保護者全体の「利用したことがある」では「L 児童扶養手当」（15.1%）などがあげられる。一方、「制度等について全く知らなかった」では「I 生活福祉資金の貸付」（20.4%）、「K 母子及び父子福祉資金の貸付」（13.5%）などがあげられる。



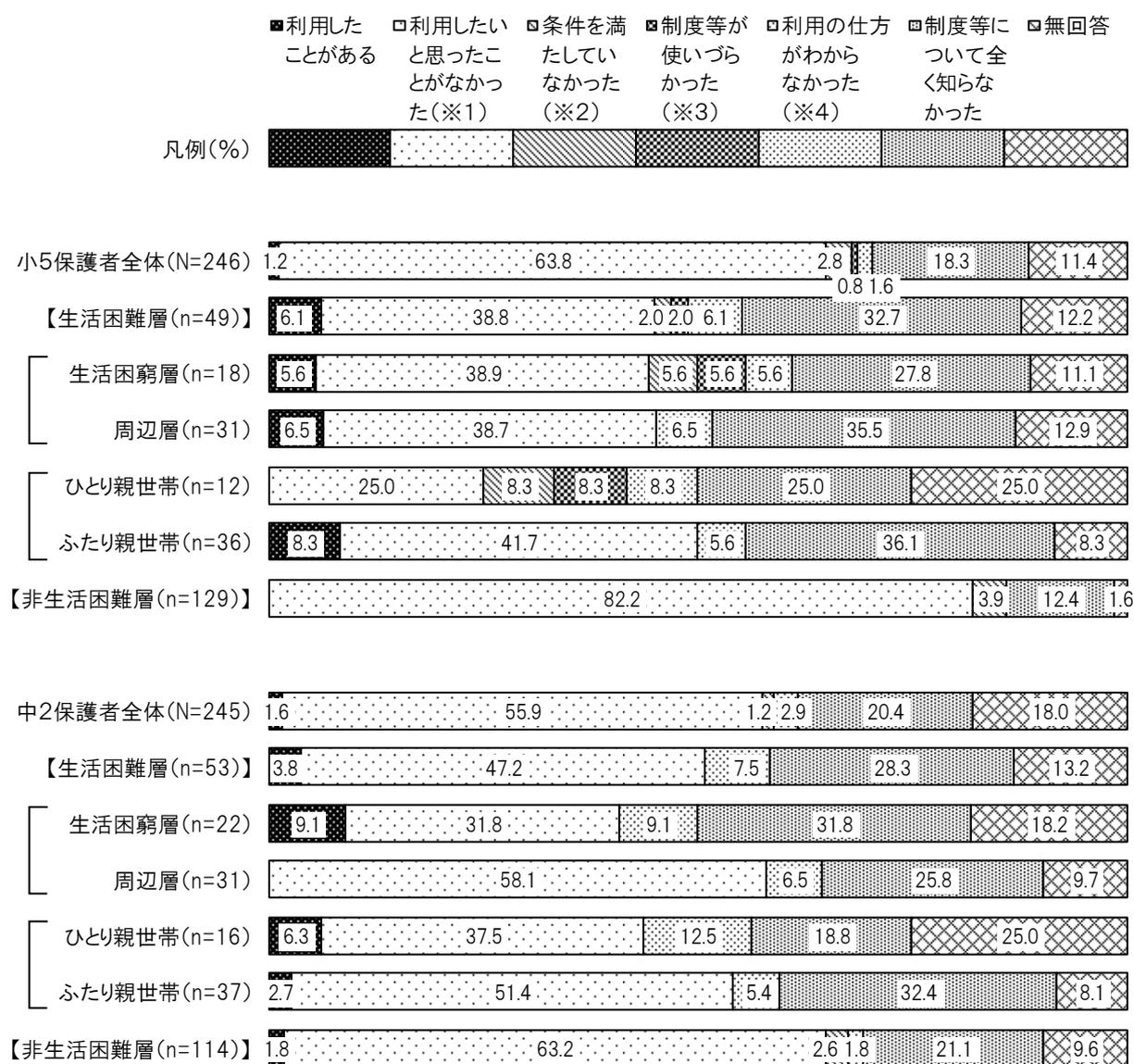
※1：利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度等の対象外であった)  
 ※2：利用したかったが、条件を満たしていなかった  
 ※3：利用したかったが、制度等が使いづらかった  
 ※4：利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

## I 生活福祉資金の貸付

生活福祉資金の貸付について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が63.8%、「制度等について全く知らなかった」が18.3%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が55.9%、「制度等について全く知らなかった」が20.4%となっている。

生活困難度別にみた「利用したいと思ったことがなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で38.9%、中学2年保護者で31.8%となっており、中学2年保護者の生活困窮層で低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「利用したいと思ったことがなかった」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



※1：利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度等の対象外であった)

※2：利用したかったが、条件を満たしていなかった

※3：利用したかったが、制度等が使いづらかった

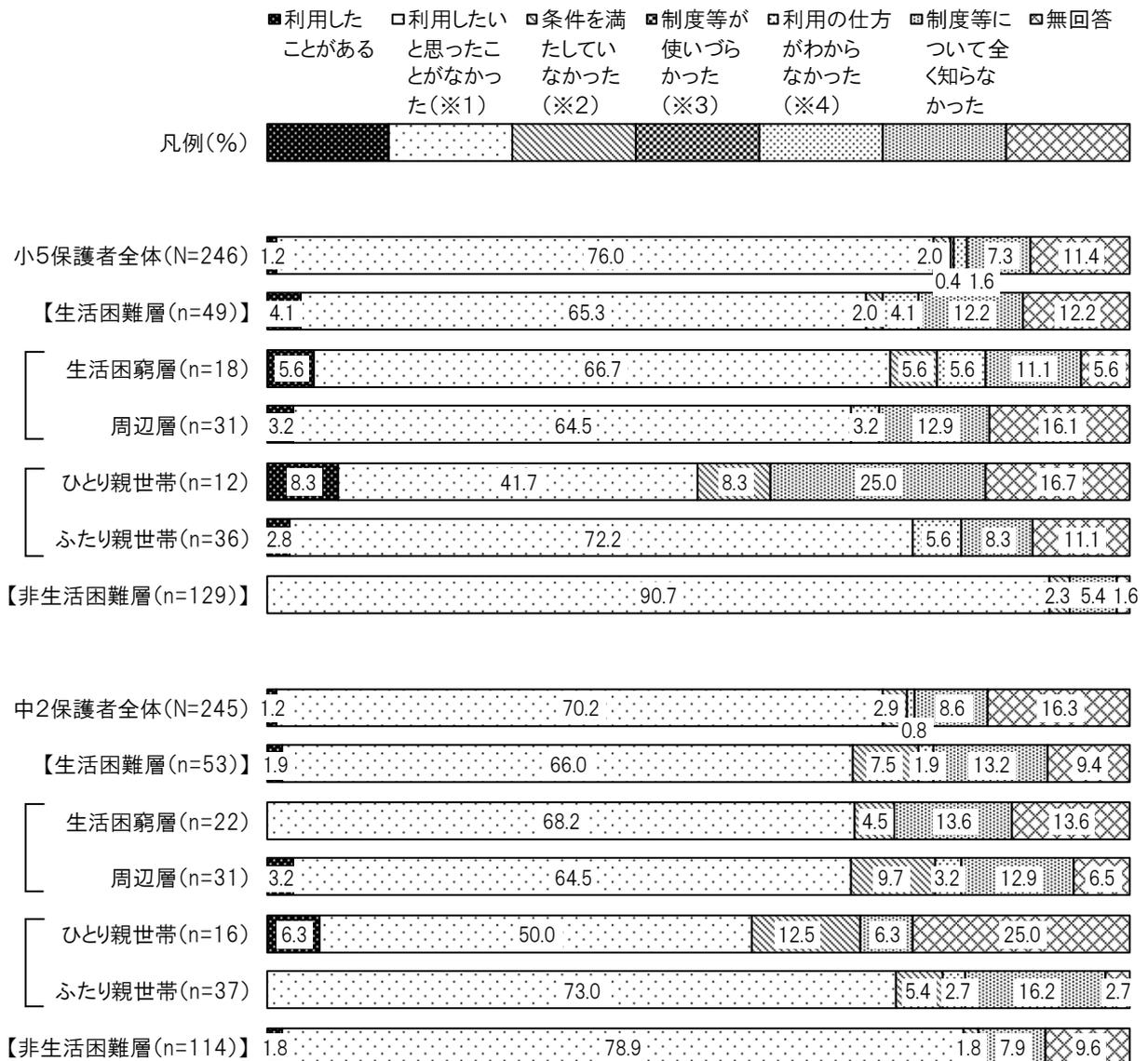
※4：利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

## J 生活保護

生活保護について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が76.0%、「制度等について全く知らなかった」が7.3%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が70.2%、「制度等について全く知らなかった」が8.6%となっている。

生活困難度別にみた「利用したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で5.6%、周辺層で3.2%、中学2年保護者の周辺層で3.2%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「利用したことがある」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



※1：利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度等の対象外であった)

※2：利用したかったが、条件を満たしていなかった

※3：利用したかったが、制度等が使いづらかった

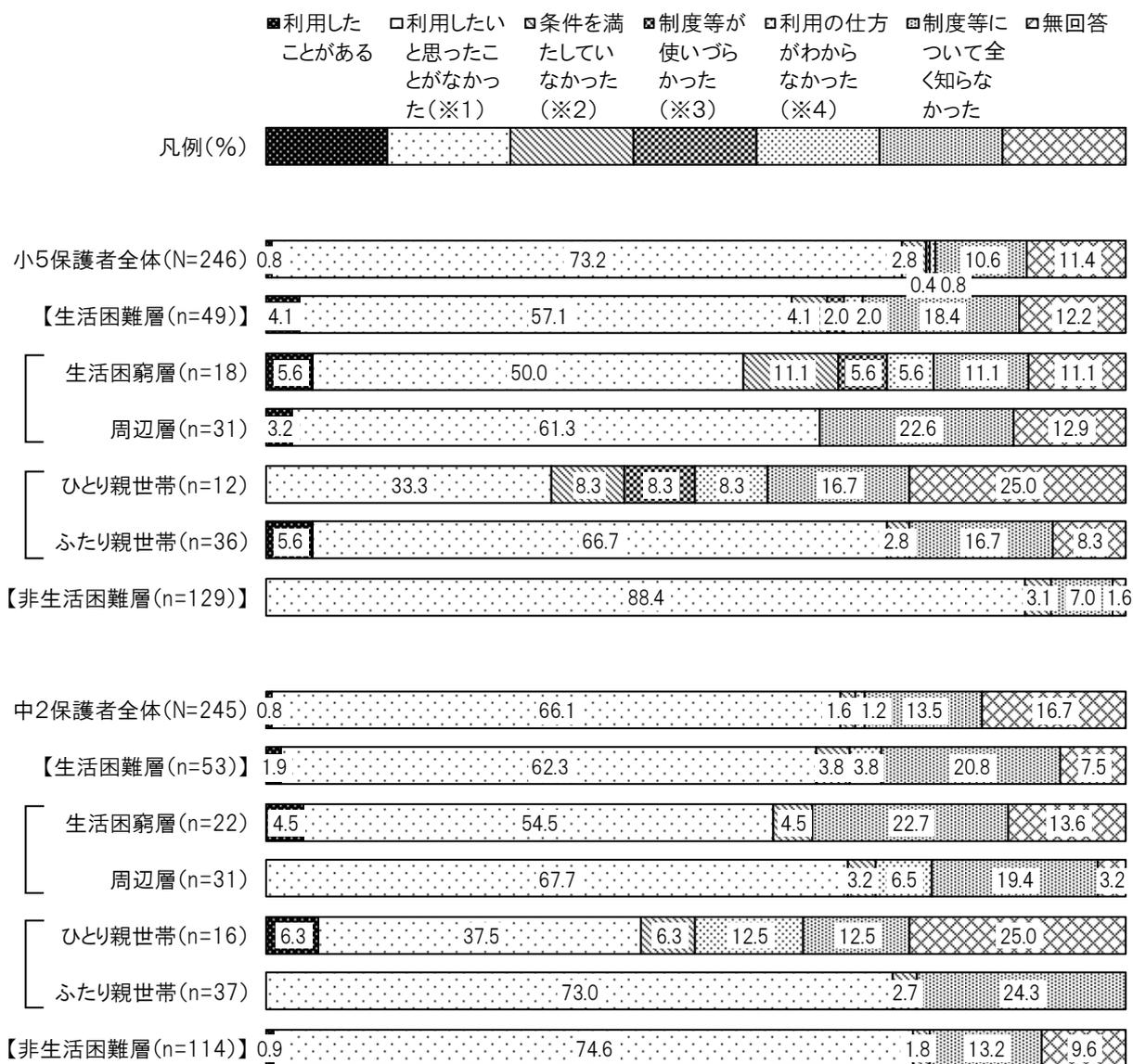
※4：利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

## K 母子及び父子福祉資金の貸付

母子及び父子福祉資金の貸付について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が73.2%、「制度等について全く知らなかった」が10.6%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が66.1%、「制度等について全く知らなかった」が13.5%となっている。

生活困難度別にみた「利用したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で5.6%、中学2年保護者で4.5%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者のひとり親世帯で「利用したいと思ったことがなかった」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



※1：利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度等の対象外であった)

※2：利用したかったが、条件を満たしていなかった

※3：利用したかったが、制度等が使いづらかった

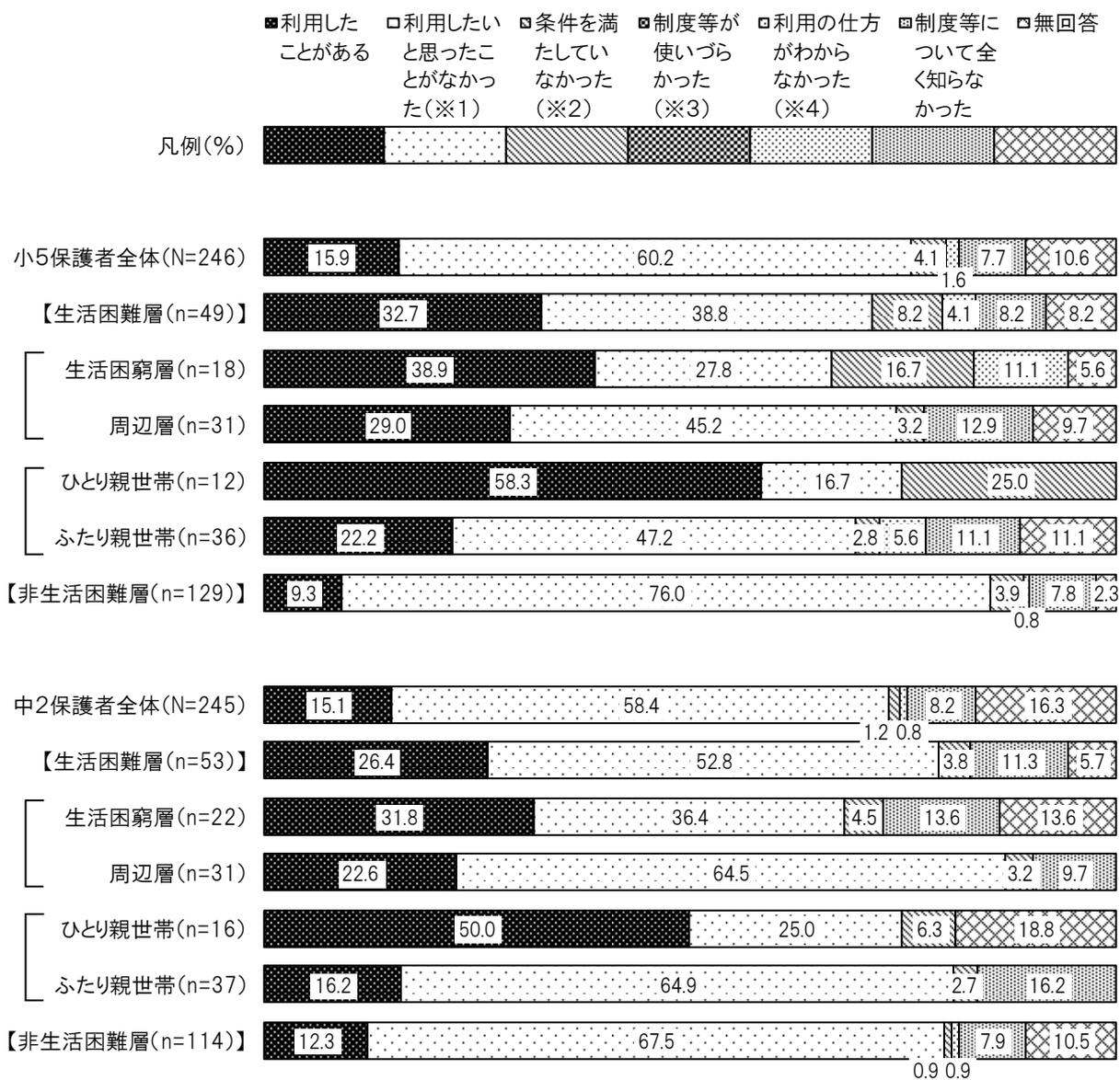
※4：利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

## L 児童扶養手当

児童扶養手当について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が60.2%、「利用したことがある」が15.9%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が58.4%、「利用したことがある」が15.1%となっている。

生活困難度別にみた「利用したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で38.9%、中学2年保護者で31.8%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「利用したことがある」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



※1: 利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度等の対象外であった)

※2: 利用したかったが、条件を満たしていなかった

※3: 利用したかったが、制度等が使いづらかった

※4: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

### 【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者において「利用したことがある」の割合は、「I 生活福祉資金の貸付」で 6.1%、「J 生活保護」で 12.2%、「K 母子及び父子福祉資金の貸付」で 4.1%となっている。

問43 支援制度の利用状況/I 生活福祉資金の貸付	回答割合(%)	回答件数
利用したことがある	6.1	3
利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度等の対象外であった)	30.6	15
利用したかったが、条件を満たしていなかった	0.0	0
利用したかったが、制度等が使いづらかった	2.0	1
利用したかったが、利用の仕方がわからなかった	2.0	1
制度等について全く知らなかった	44.9	22
無回答	14.3	7
全体	100.0	49

問43 支援制度の利用状況/J 生活保護	回答割合(%)	回答件数
利用したことがある	12.2	6
利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度等の対象外であった)	46.9	23
利用したかったが、条件を満たしていなかった	4.1	2
利用したかったが、制度等が使いづらかった	2.0	1
利用したかったが、利用の仕方がわからなかった	2.0	1
制度等について全く知らなかった	18.4	9
無回答	14.3	7
全体	100.0	49

問43 支援制度の利用状況/K 母子及び父子福祉資金の貸付	回答割合(%)	回答件数
利用したことがある	4.1	2
利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度等の対象外であった)	34.7	17
利用したかったが、条件を満たしていなかった	2.0	1
利用したかったが、制度等が使いづらかった	2.0	1
利用したかったが、利用の仕方がわからなかった	2.0	1
制度等について全く知らなかった	42.9	21
無回答	12.2	6
全体	100.0	49

児童扶養手当受給者における児童扶養手当の使い方については、「あてはまる」の割合が高い順に、「E 少しでも貯金に回すようにしている」「A 1回の支給ごとに4等分し、月々の家計に繰り入れて使っている」「C ふだんは買わないものを支給月に買ったりしている」などとなっている。

問44 児童扶養手当の使い方/A 1回の支給ごとに4等分し、月々の家計に繰り入れて使っている	回答割合(%)	回答件数
あてはまる	32.7	16
あてはまらない	40.8	20
どちらともいえない	6.1	3
無回答	20.4	10
全体	100.0	49

問44 児童扶養手当の使い方/B 月々ではなく、年単位で必要な費用を考えて、計画的に使っている	回答割合(%)	回答件数
あてはまる	22.4	11
あてはまらない	24.5	12
どちらともいえない	26.5	13
無回答	26.5	13
全体	100.0	49

問44 児童扶養手当の使い方/C ふだんは買わないものを支給月に買ったりしている	回答割合(%)	回答件数
あてはまる	24.5	12
あてはまらない	32.7	16
どちらともいえない	18.4	9
無回答	24.5	12
全体	100.0	49

問44 児童扶養手当の使い方/D 月々の支払期限を待ってもらい、支給月にまとめて支払っている	回答割合(%)	回答件数
あてはまる	16.3	8
あてはまらない	49.0	24
どちらともいえない	8.2	4
無回答	26.5	13
全体	100.0	49

問44 児童扶養手当の使い方/E 少しでも貯金に回すようにしている	回答割合(%)	回答件数
あてはまる	36.7	18
あてはまらない	28.6	14
どちらともいえない	20.4	10
無回答	14.3	7
全体	100.0	49

児童扶養手当受給者における将来的にあるとよい支援については、「生活や就学のための経済的補助」が 57.1%と最も高く、次いで「低い家賃で住める住居の提供」(44.9%)、「子供の医療費に対する支援」(42.9%)となっている。

問47 将来的にあるとよい支援	回答割合(%)	回答件数
生活や就学のための経済的補助	57.1	28
低い家賃で住める住居の提供	44.9	22
子供の医療費に対する支援	42.9	21
保護者が家にいないときに子供をあずかる場やサービスの提供	34.7	17
進路や生活などについてなんでも相談できる場所	30.6	15
地域における子供の居場所の提供	22.4	11
読み書き計算など基礎的な学習への支援	22.4	11
仲間と出会い、一緒に活動できる自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供	20.4	10
職場体験等の機会や仕事に就けるようにするための就労に関する支援	20.4	10
離婚後の子供との面会交流などの支援	6.1	3
その他	4.1	2
特になし	6.1	3
無回答	6.1	3
全体	100.0	49

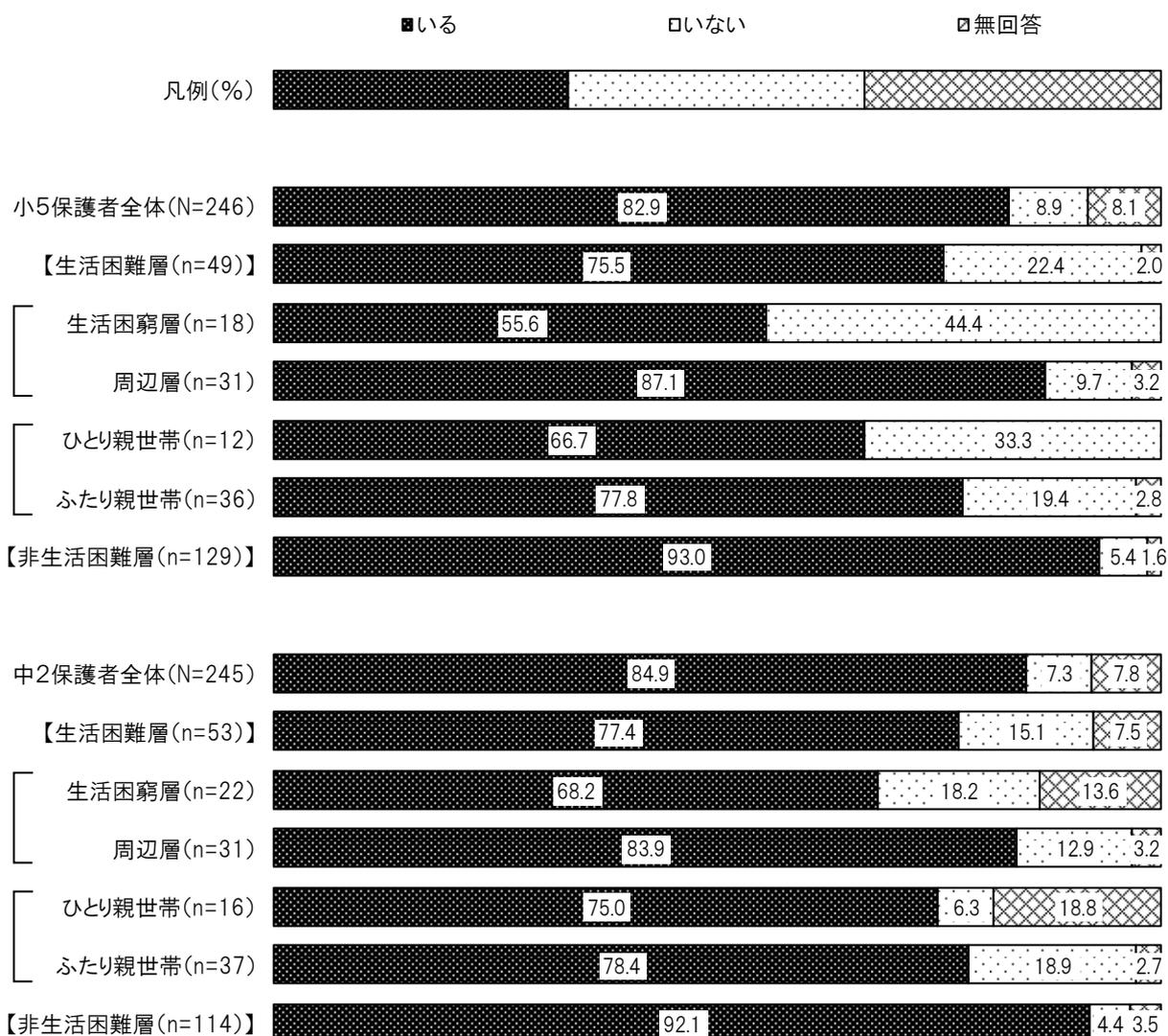
## 【9】相談

### (1) 相談相手の有無

保／問 46 あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。（あてはまる番号1つに○）

相談相手の有無については、小学5年保護者全体では「いる」が82.9%、中学2年保護者では84.9%となっている。一方、「いない」は、小学5年保護者全体では8.9%、中学2年保護者全体では7.3%となっている。

生活困難度別にみた「いる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で55.6%、中学2年保護者で68.2%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。



### 【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

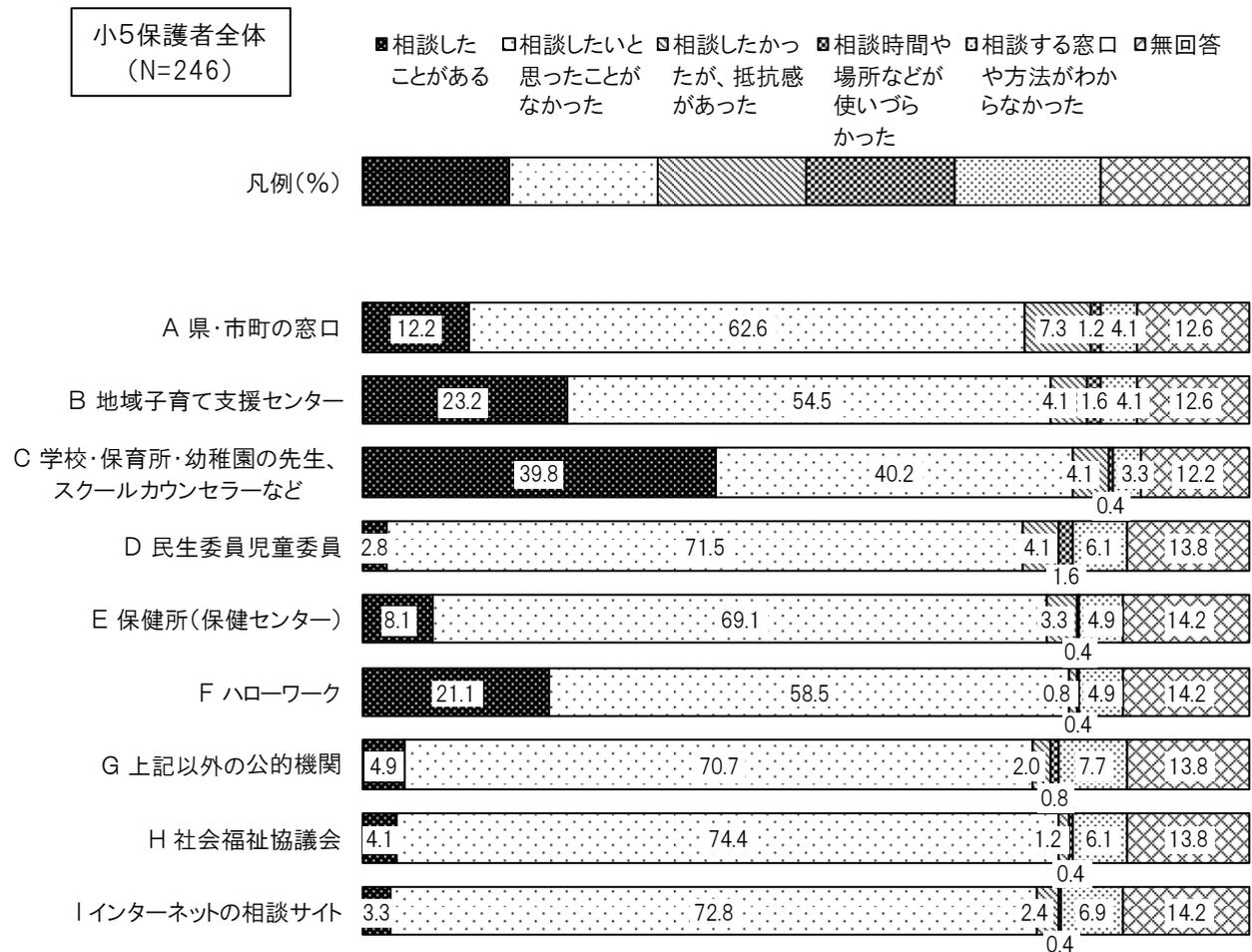
児童扶養手当受給者においては、「いる」が67.3%、「いない」が24.5%となっている。

問45 困ったときや悩みがあるときの相談相手の有無	回答割合(%)	回答件数
いる	67.3	33
いない	24.5	12
無回答	8.2	4
全体	100.0	49

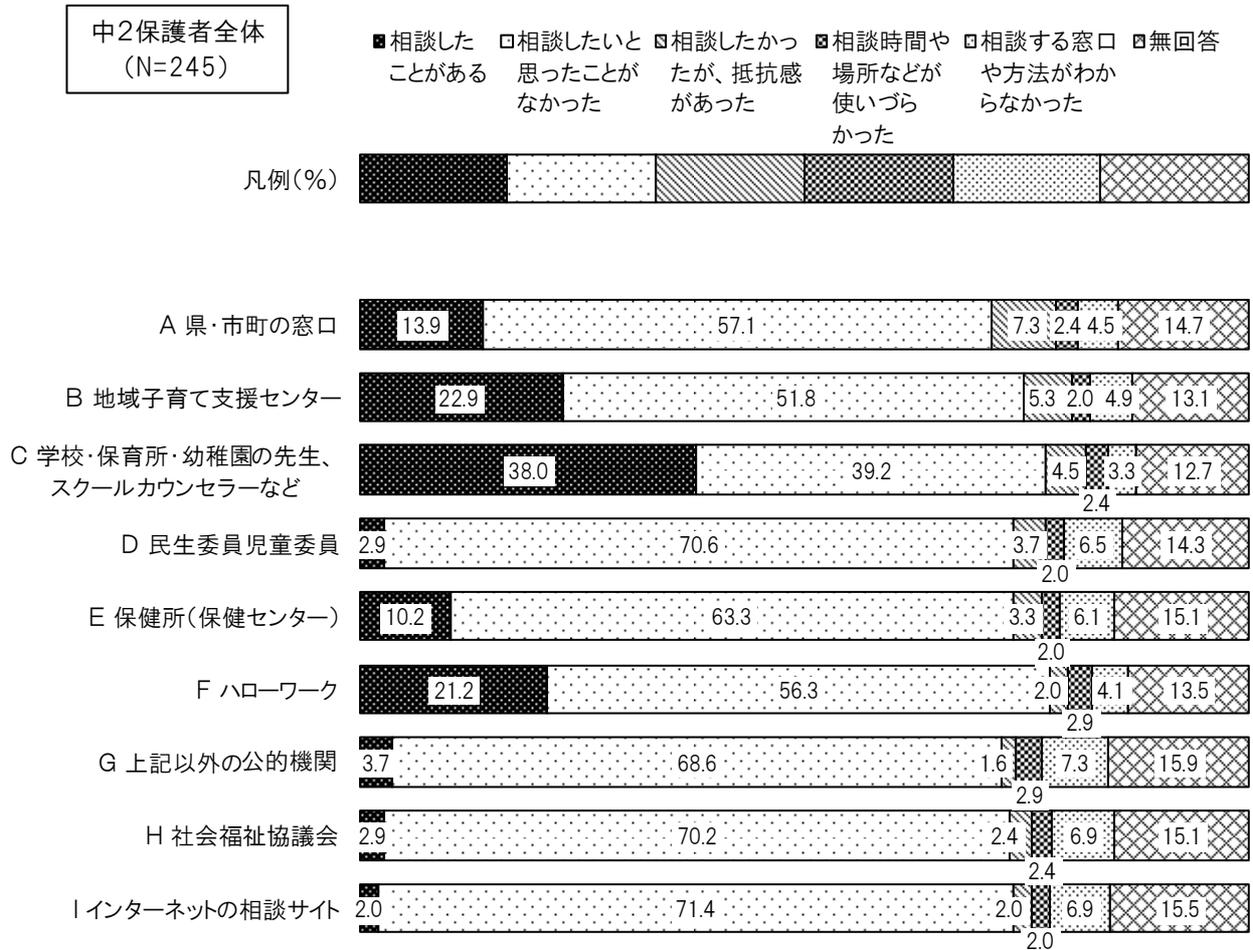
## (2) 公的相談機関の利用経験

保/問 47 あなたは、これまでに困ったときに次の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

公的相談機関の利用経験については、小学5年保護者全体では「相談したことがある」の割合が高い順に「C 学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど」(39.8%)、「B 地域子育て支援センター」(23.2%)、「F ハローワーク」(21.1%) となっている。一方、「相談する窓口や方法がわからなかった」では、「G 上記以外の公的機関」(7.7%)、「I インターネットの相談サイト」(6.9%) などがあげられる。



中学2年保護者全体では、「相談したことがある」の割合が高い順に「C 学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど」(38.0%)、「B 地域子育て支援センター」(22.9%)、「F ハローワーク」(21.2%)となっている。一方、「相談する窓口や方法がわからなかった」では、「G 上記以外の公的機関」(7.3%)、「H 社会福祉協議会」「I インターネットの相談サイト」(各6.9%)などがあげられる。

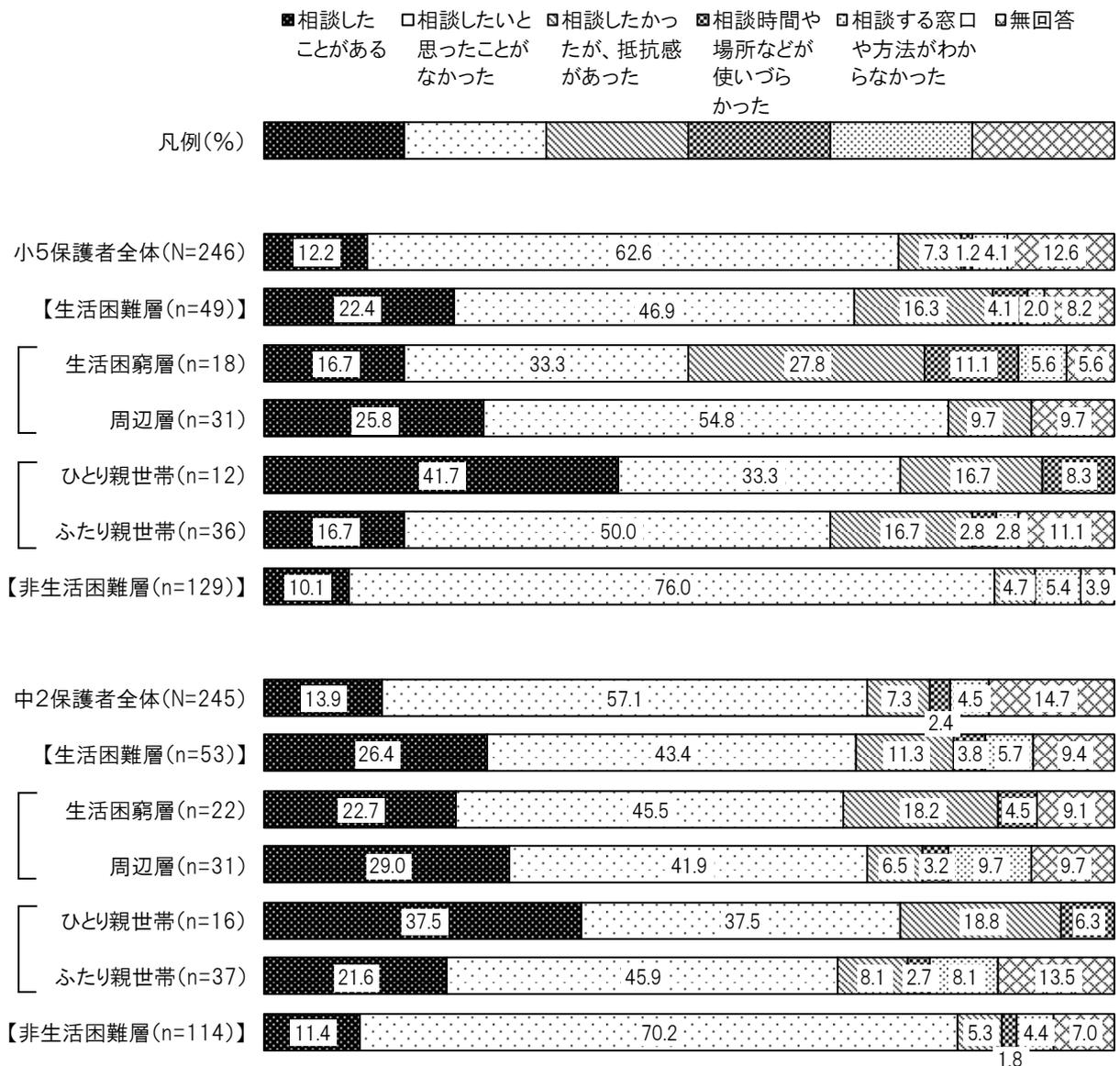


## A 県・市町の窓口

県・市町の窓口について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が62.6%、「相談したことがある」が12.2%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が57.1%、「相談したことがある」が13.9%となっている。

生活困難度別にみた「相談したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で16.7%、中学2年保護者で22.7%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

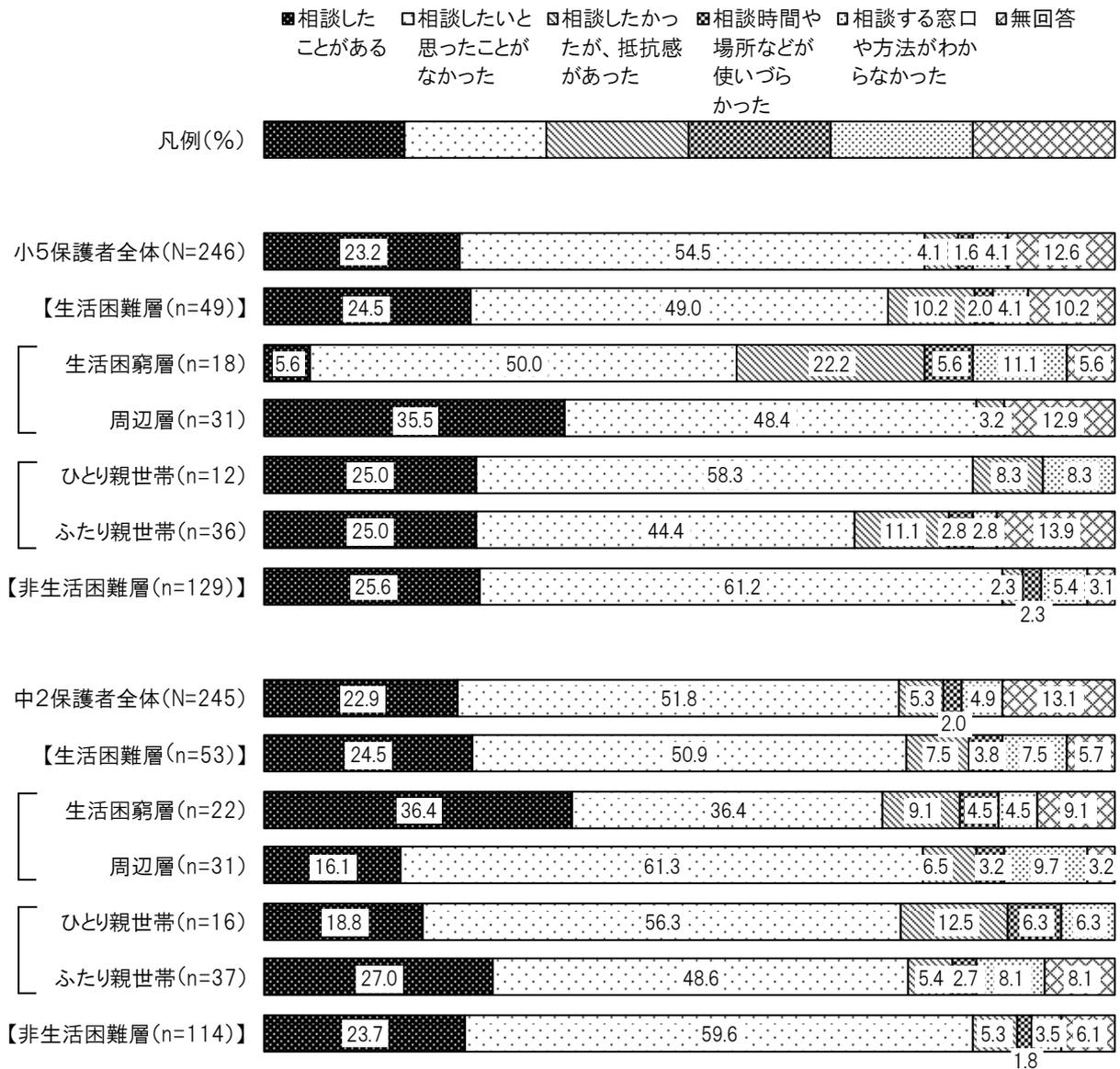
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「相談したことがある」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



## B 地域子育て支援センター

地域子育て支援センターについて、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が54.5%、「相談したことがある」が23.2%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が51.8%、「相談したことがある」が22.9%となっている。

生活困難度別にみた「相談したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で5.6%、中学2年保護者で36.4%となっており、中学2年保護者の生活困窮層で高くなっている。

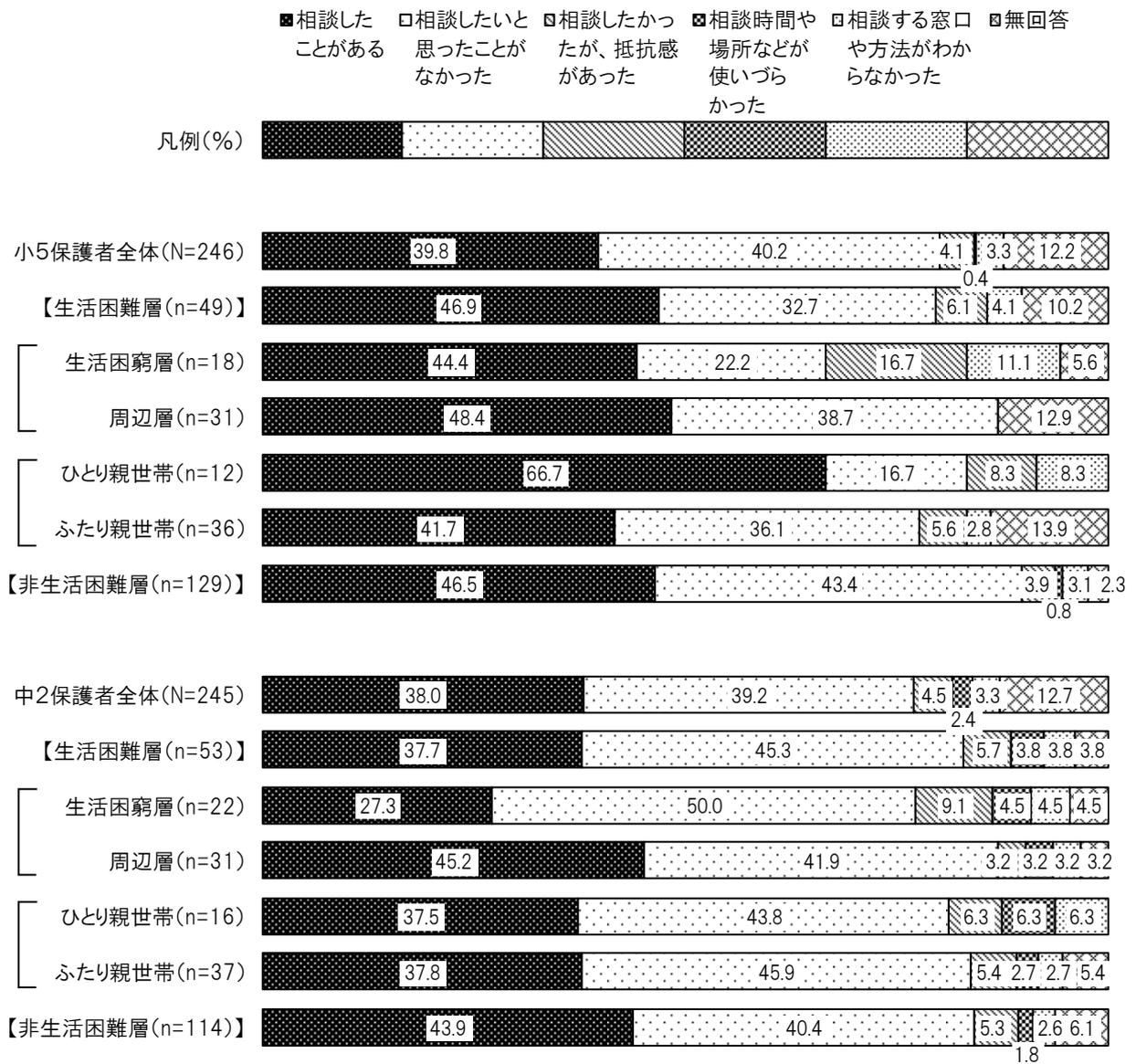


### C 学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど

学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなどについて、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が40.2%、「相談したことがある」が39.8%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が39.2%、「相談したことがある」が38.0%となっている。

生活困難度別にみた「相談したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で44.4%、中学2年保護者で27.3%となっており、中学2年保護者の生活困窮層で低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「相談したことがある」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。

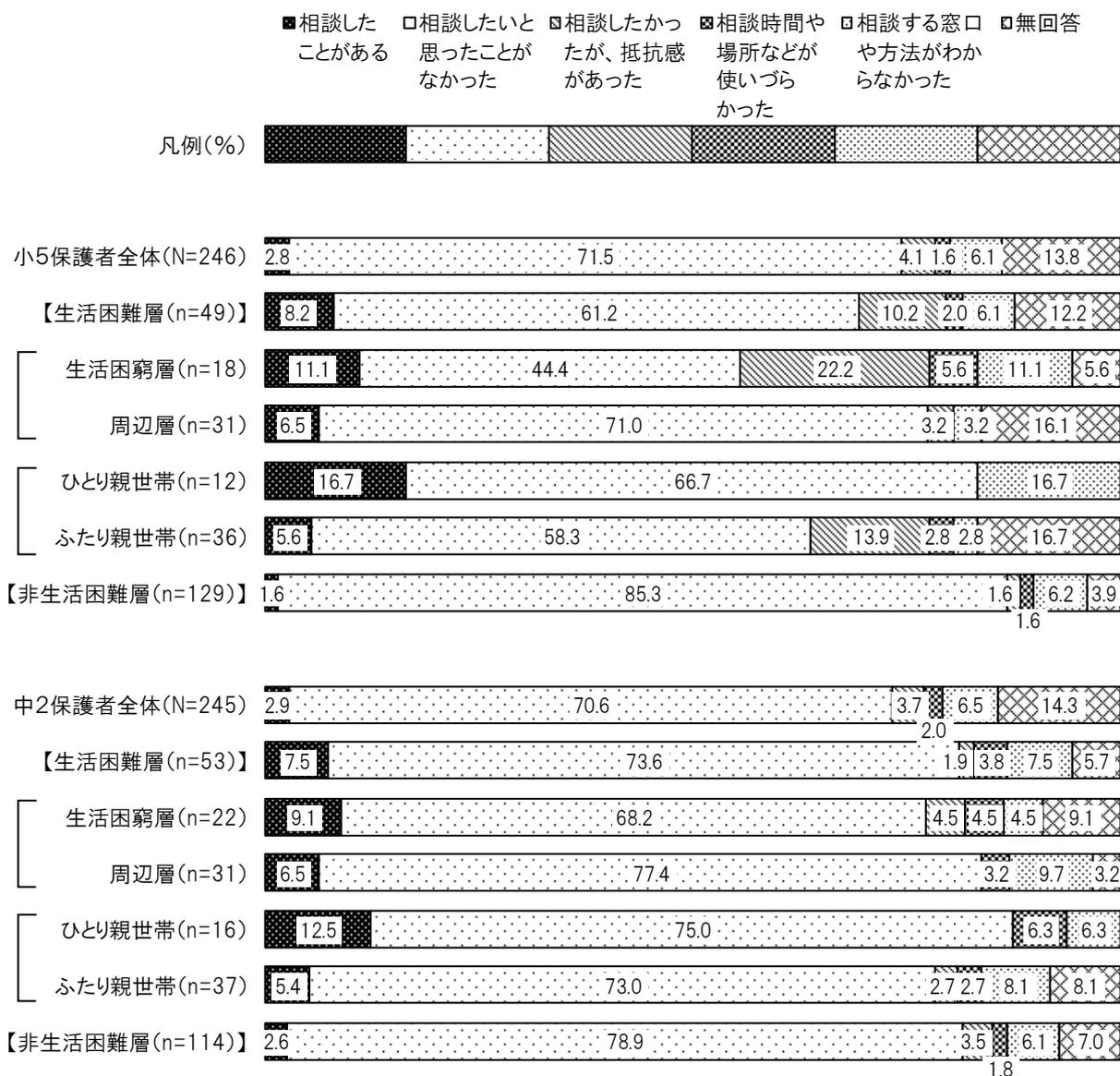


## D 民生委員児童委員

民生委員児童委員について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が71.5%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.1%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が70.6%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.5%となっている。

生活困難度別にみた「相談したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で11.1%、中学2年保護者で9.1%となっている。

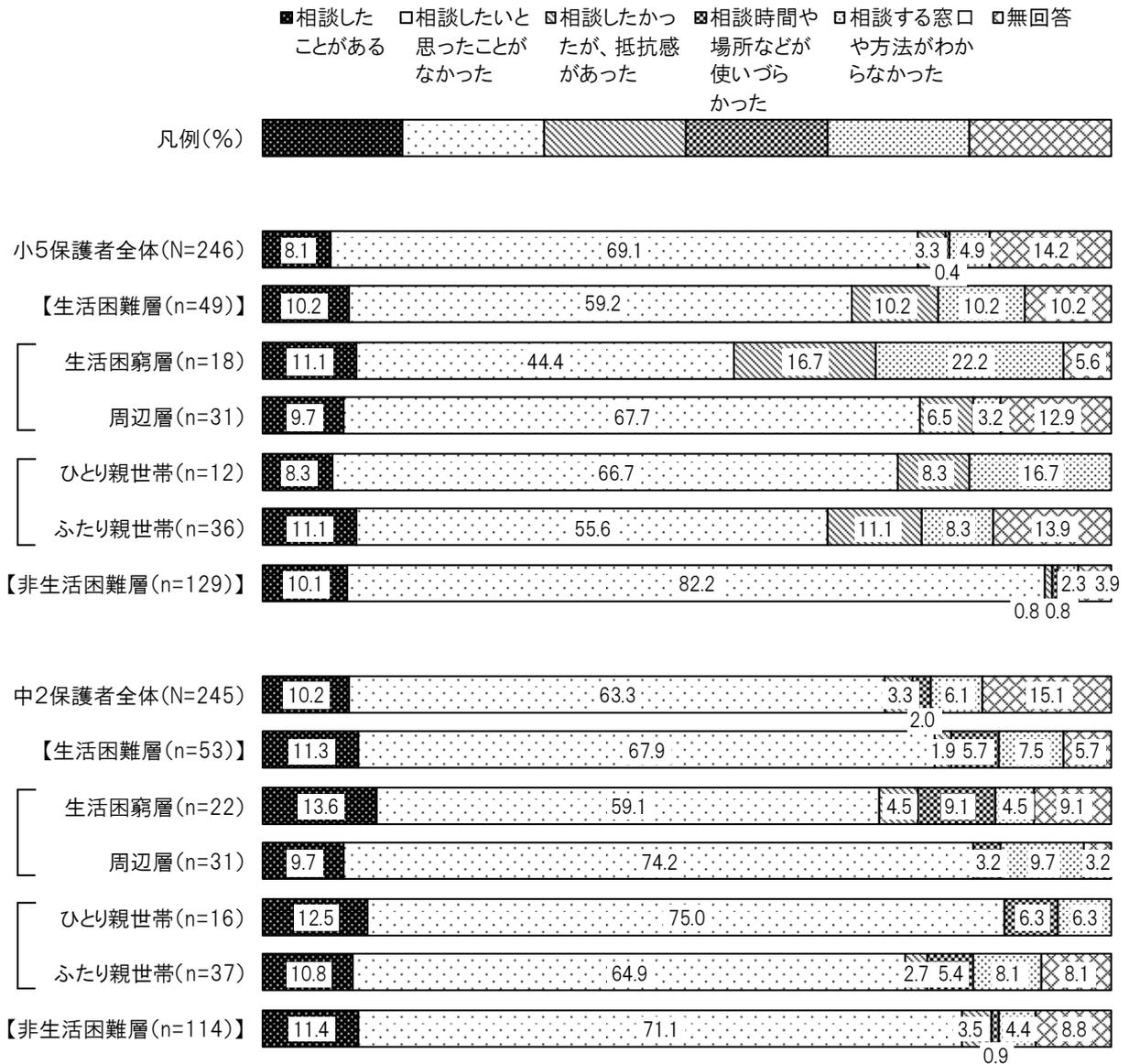
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「相談したことがある」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



## E 保健所（保健センター）

保健所（保健センター）について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が69.1%、「相談したことがある」が8.1%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が63.3%、「相談したことがある」が10.2%となっている。

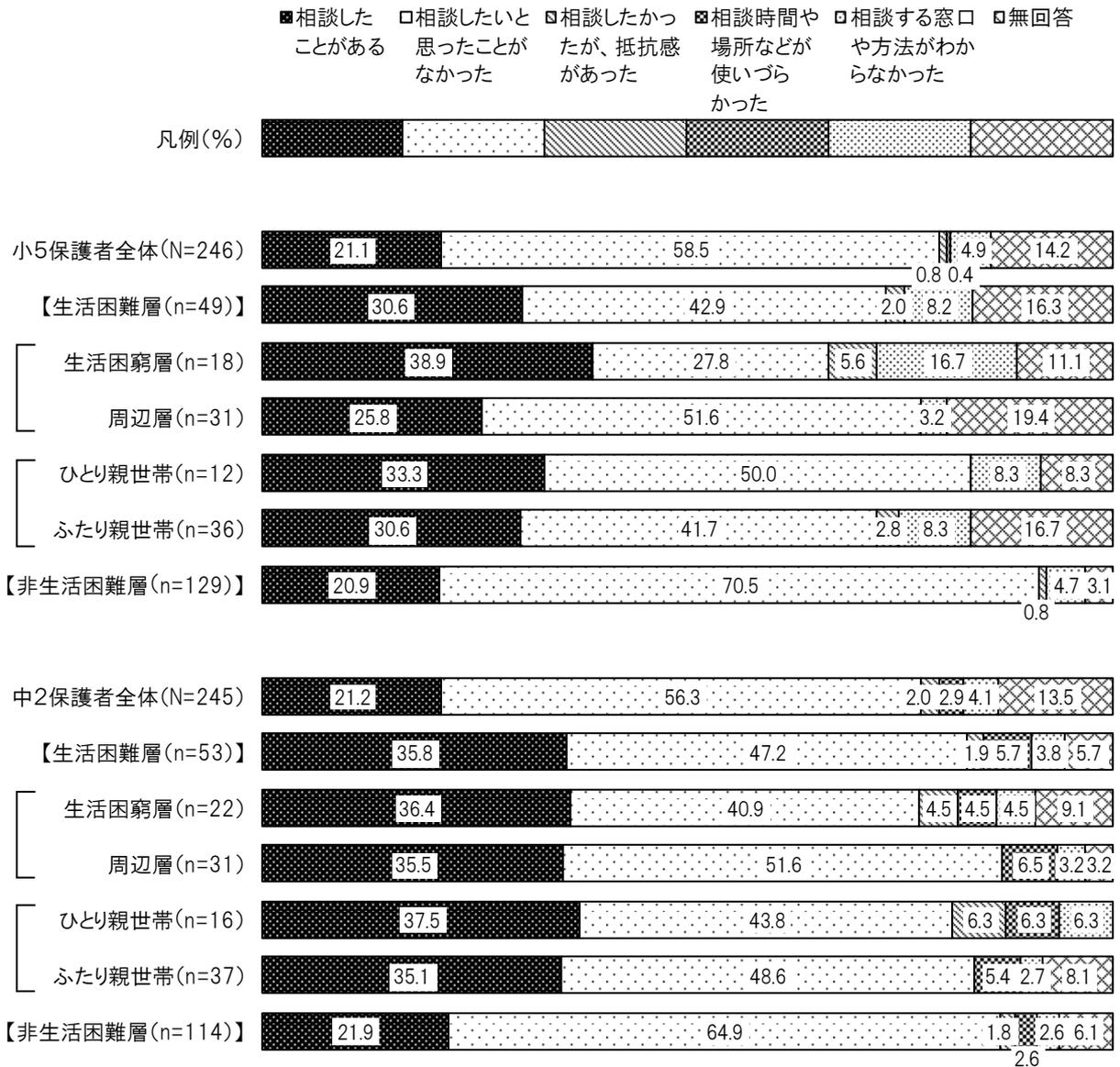
生活困難度別にみた「相談したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で11.1%、中学2年保護者で13.6%となっている。



## F ハローワーク

ハローワークについて、小学5年保護者全体では「利用したいと思っただけでなかった」が58.5%、「相談したことがある」が21.1%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思っただけでなかった」が56.3%、「相談したことがある」が21.2%となっている。

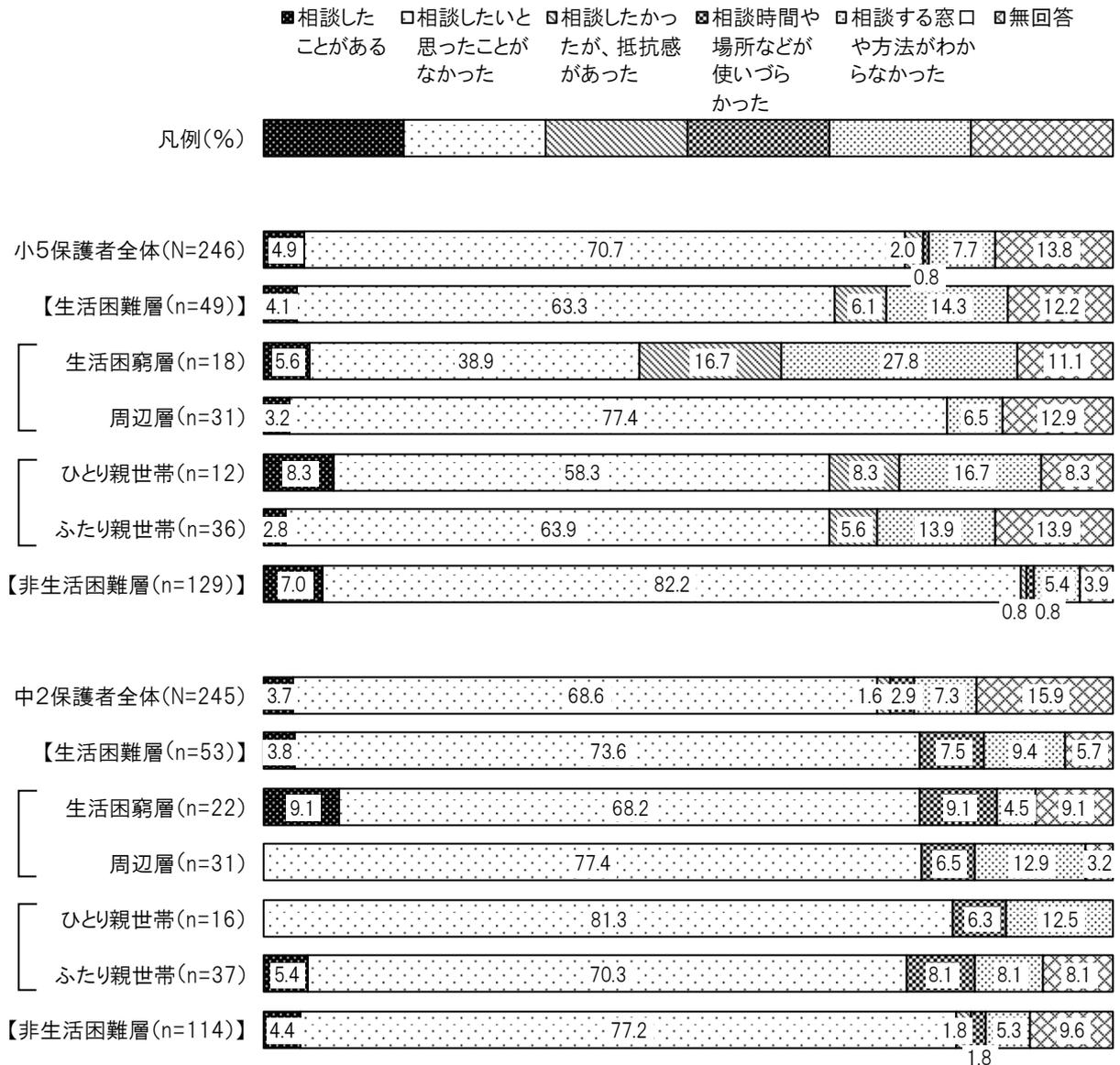
生活困難度別にみた「相談したいと思っただけでなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で27.8%、中学2年保護者で40.9%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。



## G 上記以外の公的機関

上記以外の公的機関について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が70.7%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が7.7%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が68.6%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が7.3%となっている。

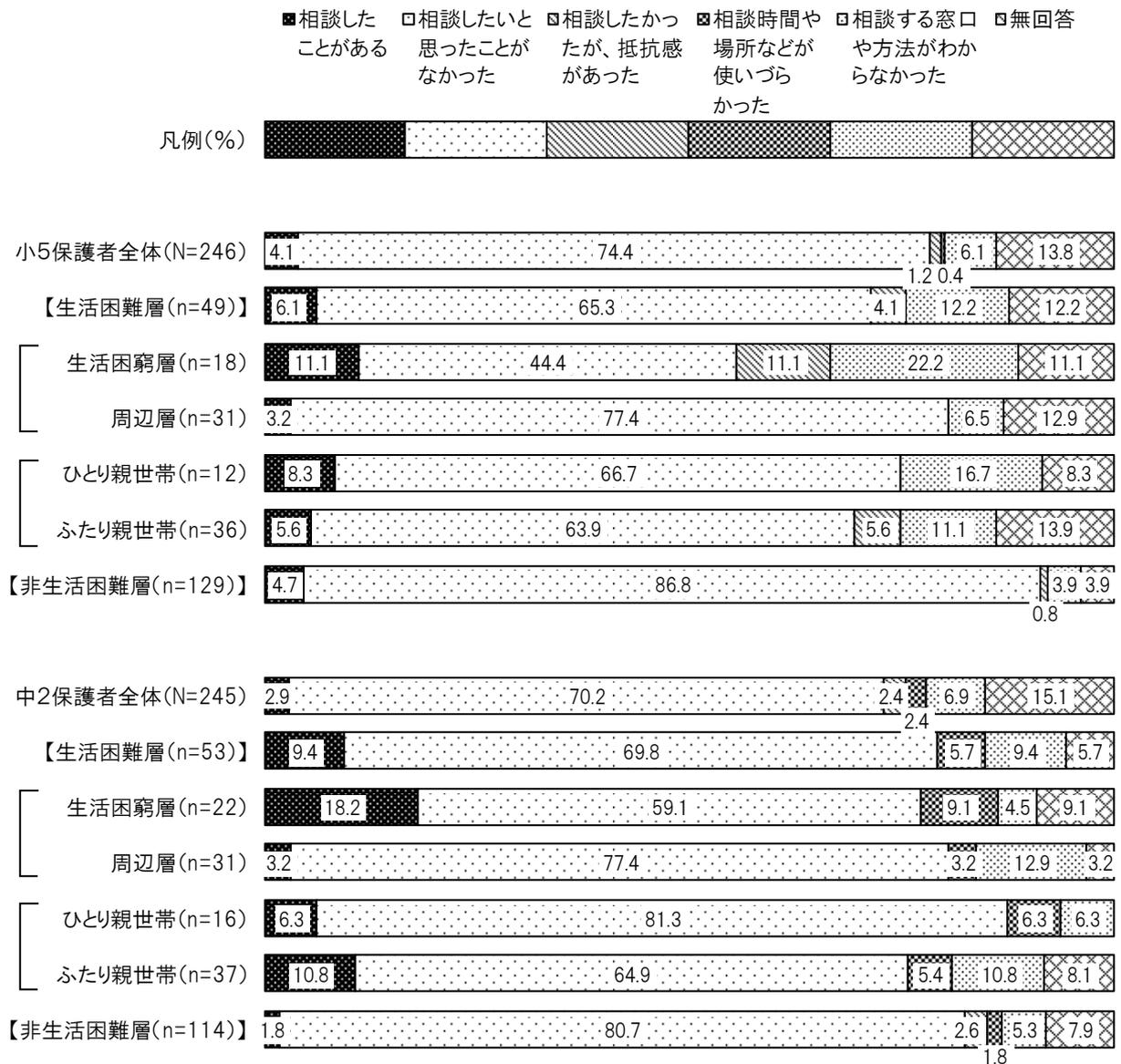
生活困難度別にみた「相談したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で5.6%、中学2年保護者で9.1%となっている。



## H 社会福祉協議会

社会福祉協議会について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が74.4%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.1%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が70.2%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.9%となっている。

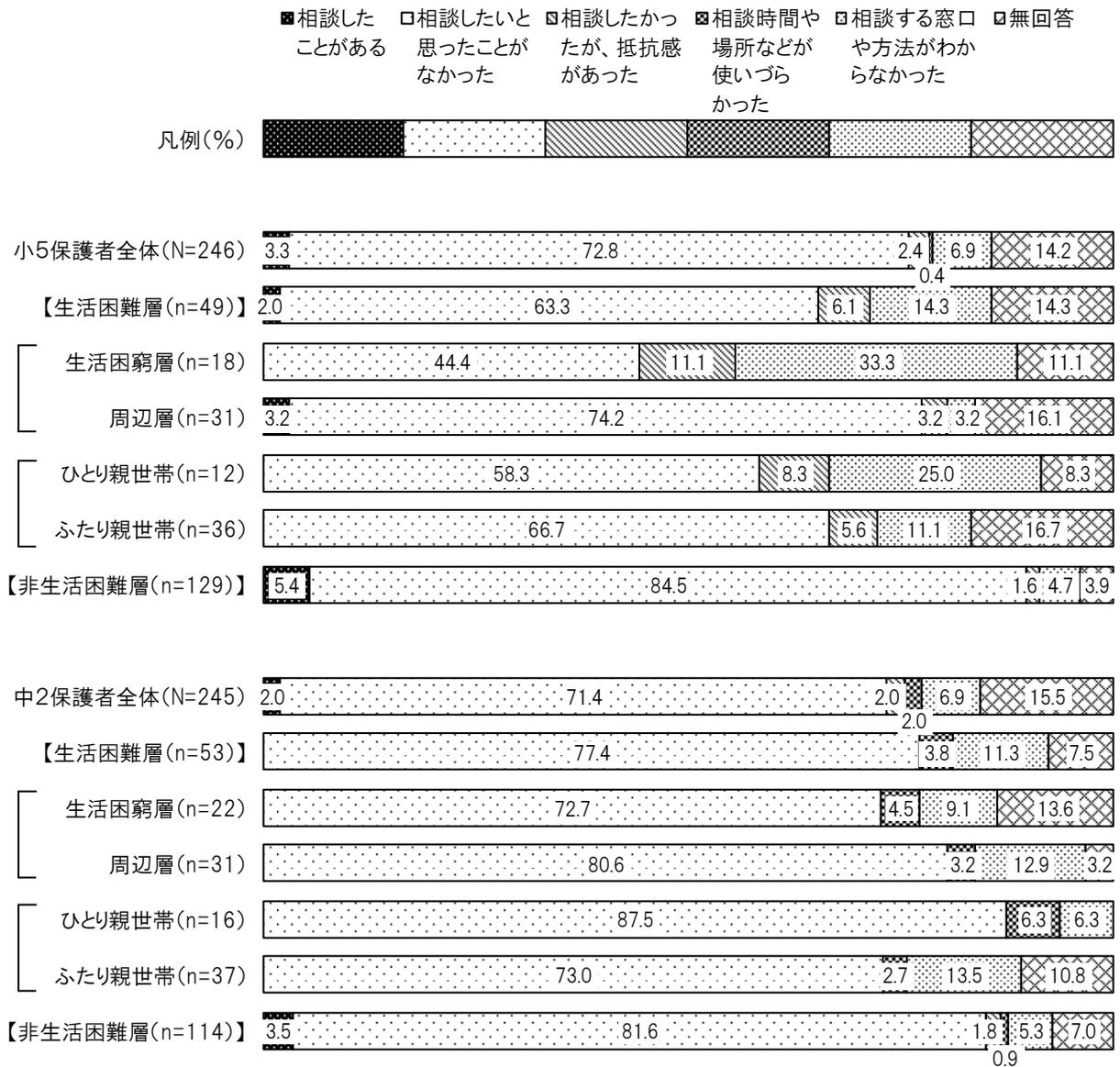
生活困難度別にみた「相談したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で11.1%、中学2年保護者で18.2%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



## Ⅰ インターネットの相談サイト

インターネットの相談サイトについて、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が72.8%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.9%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が71.4%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.9%となっている。

生活困難度別にみた「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で33.3%、中学2年保護者で9.1%となっており、小学5年保護者の生活困窮層で高くなっている。



## 【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「相談したことがある」の割合が高い順に、「C 学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど」「A 県・市町の窓口」「F ハローワーク」「B 地域子育て支援センター」などとなっている。

問46 公的機関への相談状況/A 県・市町の窓口	回答割合(%)	回答件数
相談したことがある	26.5	13
相談したいと思ったことがなかった	46.9	23
相談したかったが、抵抗感があった	8.2	4
相談時間や場所などが使いづらかった	2.0	1
相談する窓口や方法がわからなかった	6.1	3
無回答	10.2	5
全体	100.0	49

問46 公的機関への相談状況/B 地域子育て支援センター	回答割合(%)	回答件数
相談したことがある	18.4	9
相談したいと思ったことがなかった	51.0	25
相談したかったが、抵抗感があった	8.2	4
相談時間や場所などが使いづらかった	2.0	1
相談する窓口や方法がわからなかった	10.2	5
無回答	10.2	5
全体	100.0	49

問46 公的機関への相談状況/C 学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど	回答割合(%)	回答件数
相談したことがある	36.7	18
相談したいと思ったことがなかった	42.9	21
相談したかったが、抵抗感があった	2.0	1
相談時間や場所などが使いづらかった	0.0	0
相談する窓口や方法がわからなかった	8.2	4
無回答	10.2	5
全体	100.0	49

問46 公的機関への相談状況/D 民生委員児童委員	回答割合(%)	回答件数
相談したことがある	6.1	3
相談したいと思ったことがなかった	67.3	33
相談したかったが、抵抗感があった	2.0	1
相談時間や場所などが使いづらかった	4.1	2
相談する窓口や方法がわからなかった	10.2	5
無回答	10.2	5
全体	100.0	49

問46 公的機関への相談状況/E 保健所	回答割合(%)	回答件数
相談したことがある	8.2	4
相談したいと思ったことがなかった	63.3	31
相談したかったが、抵抗感があった	4.1	2
相談時間や場所などが使いづらかった	0.0	0
相談する窓口や方法がわからなかった	12.2	6
無回答	12.2	6
全体	100.0	49

問46 公的機関への相談状況/F ハローワーク	回答割合(%)	回答件数
相談したことがある	26.5	13
相談したいと思ったことがなかった	53.1	26
相談しなかったが、抵抗感があった	2.0	1
相談時間や場所などが使いづらかった	0.0	0
相談する窓口や方法がわからなかった	6.1	3
無回答	12.2	6
全体	100.0	49

問46 公的機関への相談状況/G 上記以外の公的機関	回答割合(%)	回答件数
相談したことがある	6.1	3
相談したいと思ったことがなかった	65.3	32
相談しなかったが、抵抗感があった	0.0	0
相談時間や場所などが使いづらかった	0.0	0
相談する窓口や方法がわからなかった	18.4	9
無回答	10.2	5
全体	100.0	49

問46 公的機関への相談状況/H 社会福祉協議会	回答割合(%)	回答件数
相談したことがある	4.1	2
相談したいと思ったことがなかった	65.3	32
相談しなかったが、抵抗感があった	0.0	0
相談時間や場所などが使いづらかった	0.0	0
相談する窓口や方法がわからなかった	18.4	9
無回答	12.2	6
全体	100.0	49

問46 公的機関への相談状況/I インターネットの相談サイト	回答割合(%)	回答件数
相談したことがある	10.2	5
相談したいと思ったことがなかった	65.3	32
相談しなかったが、抵抗感があった	0.0	0
相談時間や場所などが使いづらかった	0.0	0
相談する窓口や方法がわからなかった	12.2	6
無回答	12.2	6
全体	100.0	49